

プリンタードライバー

操作手順書



使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、性能改善のため、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows 8®、Windows 7®、Windows Vista®、Windows XP®、Windows Server®、Word®、および Powerpoint®は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。KPDFL は、Kyocera Corporation の商標です。PCL®は、Hewlett-Packard Company の商標です。TrueType®と Mac OS®は、Apple Inc. の登録商標です。Adobe®、Acrobat®、Adobe Reader®、Photoshop®および PostScript®は Adobe Systems, Incorporated の商標です。UNIX®は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国またはその他の国における商標です。

本書で使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する各企業の登録商標または商標です。

本書で説明されている操作は、Windows 7 の印刷環境での操作を例としています。操作方法は Microsoft Windows 8、Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および Windows Server 2012 環境で基本的に同じです。

本書は 6.0 ドライバー向けに作成されたものです。

目次

1 インストール

ドライバーのインストール準備	1-1
インストール方法の選択	1-2
ユーティリティのインストール	1-2
ドライバーコンポーネントのアップグレード	1-2
デフォルト両面印刷（ヨーロッパ地域）	1-3
高速モード	1-3
[高速モード]でのインストール	1-3
カスタムインストール	1-4
[検索]からのネットワーク接続時のインストール	1-5
[検索]からのUSB接続時のインストール	1-6
[ユーザー選択]からのネットワーク接続時のインストール	1-7
[ユーザー選択]からのUSB接続時のインストール	1-8
パラレル接続時のカスタムモードでのインストール	1-10
プリンタードライバーオプション	1-11
プリンタードライバーオプションのインストール	1-11
プリンターの追加ウィザード	1-11
Windows 8でのプリンタードライバーのインストール	1-11
Windows 7およびWindows Vistaでのプリンタードライバーのインストール	1-12
Windows XPでのプリンタードライバーのインストール	1-12
プリンタードライバーの設定について	1-13
デフォルトのドライバー設定の変更	1-13

2 ドライバーの概要

オーバービュー	2-1
印刷設定でページ記述言語 (PDL) を選択する	2-1
設定リスト	2-2
印刷プレビュー	2-2
印刷ジョブのプレビュー	2-2
Kyocera ロゴ	2-3
バージョン情報の表示	2-3
プラグイン情報の表示	2-3

3 デバイス設定

デバイス設定へのアクセス	3-1
デバイスオプション	3-1
オプションの設定	3-1
パンチオプションの設定	3-2
バーチャルメールボックスの設定	3-2
ユーザーボックスの設定	3-3
自動設定	3-4
自動設定の有効化	3-4
メモリー	3-5
メモリーの設定	3-5
RAMディスク	3-5

RAMディスクの設定	3-5
管理者設定	3-6
一般	3-6
ロック設定	3-10
ユーザー管理	3-11
部門管理	3-14
Policy Manager	3-15
ユーザー設定	3-17
ユーザー登録	3-17
単位	3-18
PDL (ページ記述言語)	3-18
PDLオプション	3-19
PDF	3-21
XPS ドライバー	3-23
互換性設定	3-24
給紙方法の設定	3-24
フェイスアップ出力時に逆順出力しない	3-24
ドライバーの部単位設定を優先する	3-25
給紙元リストと用紙種類リストを統合する	3-25
ネットワークポートでの手動両面印刷を有効にする	3-25
プラグインの削除	3-25

4 簡単設定

簡単設定オプション	4-1
印刷の向き	4-1
カラー	4-1
部単位印刷	4-1
両面印刷	4-2
手動両面印刷	4-2
ページ集約	4-2
エコプリント	4-2
ステープル	4-3
パンチ	4-3
簡単設定の編集	4-3
プロファイル	4-4
プロファイルの選択	4-4
プロファイルの保存	4-4
プロファイルの編集	4-5
プロファイルのインポート	4-6
プロファイルのエクスポート	4-6
アプリケーション別の印刷設定	4-6

5 基本設定

出力用紙サイズと原稿サイズ	5-1
カスタム用紙サイズの作成	5-1
カスタム用紙サイズを使用して印刷	5-2
給紙元	5-2
部数	5-2
カーボンコピー	5-2
カーボンコピーの印刷	5-2
部単位印刷	5-3
文書の部単位印刷	5-3
印刷の向き	5-3
用紙種類	5-4
排紙先	5-4
カラー	5-4

エコプリント	5-4
両面印刷	5-5
両面印刷モードで印刷	5-5
手動両面印刷	5-5
手動両面印刷での印刷	5-5

6 レイアウト

ページ集約	6-1
ページ集約印刷	6-1
変倍	6-1
ページ内での変倍の設定	6-2
とじしろ	6-2
とじしろの作成	6-2
全面印刷	6-2
全面印刷での印刷	6-3
ポスター印刷	6-3
ポスター印刷	6-4
ブックレット	6-5
ブックレット印刷	6-5

7 仕上げ

仕分け	7-1
振り分け	7-1
回転ソート	7-2
3つ折り	7-2
3つ折り印刷	7-2
2つ折り	7-3
2つ折り印刷	7-3
とじ指定	7-3
とじ指定の組み合わせ	7-4
とじ指定の位置	7-4
カスタムとじ方向設定	7-4
とじ指定の設定	7-4
とじしろ	7-5
とじしろの作成	7-5
ステープル	7-6
文書のステープル	7-6
パンチ	7-7
印刷ジョブの実行時にパンチ穴をあける	7-7

8 印刷品質

印刷品質とカスタム品質	8-1
印刷品質の選択	8-1
エッジ調整	8-2
エッジ調整値の設定	8-2
フォント	8-2
フォント詳細設定	8-3
フォントの代替	8-4
プリンターフォントを使用しない	8-4
半速モード	8-5
グラフィック	8-5
パターンスケールリング	8-5
細線化	8-6
ハーフトーンスクリーン	8-6
オプション	8-8

イメージデータ方式	8-8
CIE オプション	8-8
画像処理オプション	8-8
光沢モード	8-9
エコプリント	8-9
エコプリントの選択	8-9
カラー	8-10
色再現モード	8-10
色合わせ	8-11
色合わせの選択	8-12
デフォルトカラープロファイルの設定	8-12
色調整	8-13
カスタム色調整の選択	8-14
HSL (色相、彩度、明るさ) の調整	8-14
カラーバランスの調整	8-14
白黒印刷のバランス調整	8-15
白黒設定の調整	8-15
色変換処理	8-16
テキストと図の効果	8-16

9 表紙/合紙

表紙付け	9-1
表紙付けオプション	9-1
表紙の印刷	9-4
OHP 合紙	9-4
OHPフィルム間への合紙の挿入	9-5
合紙	9-5
合紙印刷の組み合わせ	9-5
合紙印刷	9-6
インデックス紙	9-7
インデックス紙のオプション	9-7
インデックス紙の挿入	9-9

10 ジョブ保存

ジョブ拡張機能	10-1
一時保存	10-1
一時印刷ジョブの保存	10-1
恒久保存	10-2
恒久プリントジョブの保管	10-2
文書にバーコードを追加	10-2
バーチャルメールボックス	10-3
バーチャルメールボックスへのジョブの保存	10-3
ユーザーボックス	10-4
ユーザーボックスへのジョブの保存	10-4
クイックコピー	10-5
クイックコピージョブの印刷	10-5
試し刷り後、保留	10-5
試し刷り後、保留ジョブの印刷	10-6
プライベートプリント	10-6
プライベートプリントジョブの保管	10-7
ジョブ保留	10-7
ジョブ保留ジョブの保管	10-8
ジョブ結合ボックス	10-8
ジョブ結合ボックスへのジョブの保存	10-8
フォームギャラリー	10-9
フォーム集へのイメージの保存	10-9

ジョブ名	10-9
アプリケーション名をジョブ名に使用しない	10-9
上書きモード	10-10
ジョブ名の選択	10-10
ジョブオプション	10-11

11 拡張機能

プロログ/エピログ	11-1
プロログ/エピログファイルの選択	11-1
プロログ/エピログファイルの編集	11-1
プロログ/エピログファイルの削除	11-1
プロログ/エピログファイルの挿入	11-2
プロログ/エピログファイルの挿入解除	11-2
挿入箇所の指定	11-2
ウォーターマーク	11-3
ウォーターマークの追加または編集	11-3
ウォーターマークのページ選択	11-5
セキュリティ・ウォーターマーク	11-5
セキュリティ・ウォーターマークの追加または編集	11-6
セキュリティ・ウォーターマークのパターン補正	11-7
セキュリティ・ウォーターマークのページ選択	11-8
簡単色調整	11-8
RGB 色の印刷向け最適化	11-9
ステータスマニター	11-10
ステータスマニターオプションの選択	11-10
ステータスマニターの設定	11-11
EMFスプール	11-12
クライアントプロファイルの有効化	11-12

1 インストール

プリンタードライバーは、プリンターと PC 間の通信を制御するアプリケーションです。インストールが完了したら、プリンターの**【プロパティ】**および**【印刷設定】**画面でプリンタードライバーの設定を行います。

選択できる項目は、プリントシステムのモデルまたはオプションデバイスによって異なります。

参考: Windows にプリンタードライバーをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザーでログインする必要があります。

ドライバーのインストール準備

このセクションでは、プリンタードライバーをインストールする前の準備、およびオペレーティングシステムごとのインストール手順について説明します。

Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の場合、プリントシステムが USB で接続され、認証ドライバーが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバーは Microsoft Windows Update からインストールできます。ドライバーの拡張機能を利用できるように、提供されているインストールディスクからのドライバーのインストールを続行することをお勧めします。Windows で、インストール中に **【新しいハードウェアの検出ウィザード】** ダイアログボックスが開いた場合は、**【キャンセル】** をクリックします。

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、または Windows Server 2008 の場合は、**【ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません】** という警告ダイアログボックスが表示されたら、**【このドライバーソフトウェアをインストールします】** をクリックします。Windows XP または Windows Server 2003 の場合は、**【ハードウェアのインストール】** 警告ダイアログボックスが表示されたら、**【続行】** をクリックします。

- 1 PC とプリンターの電源を入れます。
- 2 **【Product Library】** をディスクドライブに入れます。 **【メインメニュー】** が開きます。

参考: **【Product Library】** をディスクドライブに入れても起動しない場合、Windows Explorer を使用して、ローカルドライブの **【Setup.exe】** をダブルクリックすると起動します。

- 3 **【使用許諾を表示】** をクリックして、使用許諾契約書を読みます。
- 4 **【同意する】** をクリックして、次に進みます。

- 5 インストールを開始するには、**[ソフトウェアのインストール]**をクリックします。

参考: インストール中に **[Windows セキュリティ]** 警告ダイアログボックスが表示された場合は、**[このドライバーソフトウェアをインストールします]** をクリックします。

- 6 複数のインストール方法を示す **[インストーラー]** が表示されます。

インストール方法の選択

プリントシステムが、USB またはネットワークで接続している場合は、**[高速モード]** を選択でき、インストールウィザードがプリンターを検索します。ネットワーク、USB、またはパラレルで接続している場合は、**[カスタムモード]** を選択できます。その場合は、手動でプリンタードライバーとユーティリティを指定するか、インストールウィザードを使用してプリンターを検索します。

高速モードインストール

[\[高速モード\]でのインストール ... p. 1-3](#)

カスタムモードインストール

[\[検索\]からのネットワーク接続時のインストール ... p. 1-5](#)

[\[検索\]からの USB 接続時のインストール ... p. 1-6](#)

[\[ユーザー選択\]からのネットワーク接続時のインストール ... p. 1-7](#)

[\[ユーザー選択\]からの USB 接続時のインストール ... p. 1-8](#)

[パラレル接続時のカスタムモードでのインストール ... p. 1-10](#)

ユーティリティのインストール

[インストール方法] ページで、**[ユーティリティ]** をクリックして、ユーティリティをインストールします。インストールするユーティリティは、**[カスタムインストール]** 手順からも選択することができます。

ドライバーコンポーネントのアップグレード

インストールウィザードで古いドライバーまたはユーティリティコンポーネントが検出された場合、**[ソフトウェアコンポーネントのアップグレード]** ページが表示されます。

- 1 アップグレードするコンポーネントを選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 2 アップグレードの設定を確認します。**[アップグレード]** をクリックして、アップグレードを開始します。
- 3 アップグレードが完了したら、**[次へ]** をクリックします。**[インストール方法]** のページが表示されます。

デフォルト両面印刷（ヨーロッパ地域）

両面印刷モードを使用して1枚の用紙の両面に印刷すると、用紙の消費量が削減し、環境資源の保護につながります。両面印刷モードは購入する用紙の量が減ることにより、経費の削減にもなります。両面印刷機能が提供されているプリンターでは、デフォルト設定で両面印刷を使用することをお勧めします。この設定は、ヨーロッパ限定のプリンタードライバーをインストールする際に行えます。

[インストーラー]で[高速モード]または[カスタムモード]をクリックした後、オペレーティングシステムのロケールが[EU]、タイムゾーンが[GMT 0]、[GMT +1]、または[GMT +2]になっている場合、資源とエネルギーの保護についてのメッセージが表示されます。メッセージを確認し、[OK]をクリックします。

インストール完了後、[両面印刷を有効にする]チェックボックスが[終了]ページに表示されます。ドライバーを自動的に両面印刷モードにするには、チェックボックスを選択してください。デフォルト以外の設定は、あとでドライバーの[簡単設定]または[基本設定]タブでオプションを選択して設定できます。

高速モード

[高速モード]は、USBまたはネットワーク接続用のドライバーインストールの場合にのみ利用することができます。インストールウィザードにより、USBまたはネットワークケーブルで接続されているプリンターが検索されます。[カスタムモード]では、プリンタードライバーとユーティリティを選択したり、ポートを指定することができます。

[高速モード]でのインストール

このセクションでは、Windows オペレーティングシステム上でドライバーソフトウェアを高速でインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのプリンターと PC の電源が入っていて、USB ケーブル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。

参考: Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の場合、プリントシステムが USB で接続され、認証ドライバーが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバーは Microsoft Windows Update からインストールできます。KX ドライバーの拡張機能を利用できるように、Product Library からのドライバーのインストールを続行することをお勧めします。Windows で、インストール中に[新しいハードウェアの検出ウィザード]ダイアログボックスが開いた場合は、[キャンセル]をクリックします。

- 2 [インストール方法] ページで、[高速モード]を選択します。

- 3 [プリントシステムを検索] ページが開き、プリントシステムを検索します。

[検索]でプリントシステムを検出したら、リストからモデルを選択し、[次へ]をクリックします。

[検索]で目的のプリントシステムが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。USB またはネットワークケーブルを取り外し、再度挿入してそれが適切に接続されているか確認します。[更新]をクリックして、再度プリントシステムを検索します。システムでまだプリントシステムが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用するように設定することもできます。インストールウィザードの表示がま

だ IP アドレスになっている場合は、システム管理者にお問い合わせください。(USB 接続は利用できません。)

IP アドレス、ホスト名、プリンター機種、お問い合わせ、場所、シリアル番号の詳細をダイアログボックスで確認したい場合は、**[情報]** をクリックします。**[OK]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。(USB 接続時は利用できません。)

- 4** **[インストール設定]** ページで、プリントシステムに名前を付けることができます。

参考: USB での初回接続時は、**[インストール設定]** 画面は表示されません。

また、このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、**[次へ]** をクリックします。

- 5** **[設定の確認]** ページで、設定内容が正しければ、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。

- 6** **[インストールが完了しました]** 画面が表示され、次のドライバーオプションが表示されます。

[テストページを印刷]

このオプションを選択すると、プリンターとの接続状態を検証して、インストールしたドライバーコンポーネントからテストページを印刷します。

[ステータスマニターを有効にする]

[ステータスマニター] は、印刷時にお使いの PC 画面に、プリントシステムの状況が表示されます。プリンタードライバーの **[拡張機能]** タブにも、**[ステータスマニター]** ボタンは表示されます。

[簡単設定タブを表示する]

この機能は、よく使用する印刷設定をグループプロファイルとして定義しておき、印刷時に簡単に呼び出せるようにします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** でも表示されます。

[デバイス設定]

[デバイス設定] チェックボックスを選択すると **[デバイス設定]** が開き、プリントシステムに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。(**[デバイス設定]** チェックボックスは、ネットワーク接続の Windows XP でのみ表示されます。)

インストールが正常に終了したら、**[終了]** をクリックして **[プリンターのインストール]** ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

[終了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PC を再起動してください。

カスタムインストール

[カスタムモード] は、USB、パラレル、またはネットワーク接続でのドライバーのインストーラーに適用されます。インストールウィザードは、USB またはネットワークケーブルで接続されている、電源の入ったプリンターを検出できます。利用可能なドライバーの中から目的のドライバーを手動で選択するこ

ともできます。プリンターポート、フォント、インストールするユーティリティーを指定することができます。

KX XPS ドライバーは、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista、または Windows Server 2008 でのみ利用できます。XPS ドライバーについては、デバイス設定の章を参照してください。この説明書では、ミニドライバーの機能について説明はしません。

[検索]からのネットワーク接続時のインストール

このセクションでは、ネットワークに接続しているプリントシステムのドライバーソフトウェアを、Windows にカスタムインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのプリンターと PC が、ネットワークに接続していることを確認してください。
- 2 **[インストール方法]** ページで、**[カスタムモード]** を選択します。
- 3 **[プリントシステムを検索]** ページが開き、プリントシステムを検索します。**[検索]** ボタンが自動的に選択されています。モデルのリストが表示されます。**[次へ]** をクリックします。
[検索] で目的のプリントシステムが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。ネットワークケーブルを取り外し、再度挿入してそれらが適切に接続されているか確認します。**[更新]** をクリックして、再度プリンターを検索します。システムでまだプリントシステムが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 4 **[カスタムインストール]** ページで**[ドライバー]** および**[ユーティリティー]** タブからインストールするドライバーとユーティリティーを選択し、インストールしないものはオフにします。**[次へ]** をクリックします。
[ユーティリティー] タブでユーティリティーのみを選択する場合、**[設定の確認]** ページに進みます。
- 5 **[インストール設定]** ページで、プリントシステムに名前を付けることができます。また、このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することもできます。必要な項目を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 6 **[設定の確認]** ページで、設定内容が正しいことを確認し、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。
- 7 **[インストールが完了しました]** 画面が表示され、次のドライバーオプションが表示されます。
 - [テストページを印刷]**
この機能はプリンターとの接続状態を検証して、インストールされているドライバーコンポーネントの一覧を印刷出力します。
 - [ステータスマニターを有効にする]**
お使いの PC 画面の**[ステータスマニター]**には、印刷時のプリントシステムの状況が表示されます。**[拡張機能]** タブに、**[ステータスマニター]** ボタンが表示されます。
 - [簡単設定タブを表示する]**

よく使用する印刷設定をグループでプロファイルとして定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することができます。[簡単設定タブを表示する] オプションは、[デバイス設定] の [管理者設定] でも表示されます。

[デバイス設定]

[デバイス設定] チェックボックスを選択すると [デバイス設定] が開き、プリントシステムに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。([デバイス設定] チェックボックスは、Windows XP でのみ表示されます。)

インストールが正常に終了したら、[終了] をクリックして [プリンターのインストール] ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

[終了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PC を再起動してください。

[検索] からの USB 接続時のインストール

このセクションでは、USB で接続しているプリントシステムのドライバーソフトウェアを、Windows にカスタムインストールする手順について説明します。[検索] を選択すると、ドライバーのインストールの対象となるプリントシステムが自動的に検出されます。USB 接続時は、この方法でインストールを行うことをお勧めします。

- 1 お使いのプリンターと PC が、USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

参考: Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の場合、認証ドライバーが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバーは Microsoft Windows Update からインストールできます。KX ドライバーの拡張機能を利用できるように、Product Library からのドライバーのインストールを続行することをお勧めします。

- 2 [インストール方法] ページで、[カスタムモード] を選択します。
- 3 [プリントシステムを検索] ページが開き、プリントシステムを検索します。[検索] ボタンが自動的に選択されています。
デバイスを選択して、[次へ] をクリックします。
[検索] で目的のプリンターが見つからなかった場合、メッセージが表示されます。USB ケーブルを取り外し、再度挿入してそれらが適切に接続されていることを確認します。[更新] をクリックして、再度プリンターを検索します。システムでまだプリントシステムが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 4 [カスタムインストール] ページで [ドライバー] および [ユーティリティ] タブからインストールするドライバーとユーティリティを選択し、インストールしないものはオフにします。[次へ] をクリックします。
[ユーティリティ] タブでユーティリティのみを選択する場合、[設定の確認] ページに進みます。

- 5** **[インストール設定]** ページで、プリンターに名前を付けることができます。

参考: USB での初回接続時は、**[インストール設定]** 画面は表示されません。

このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することもできます。必要な項目を選択し、**[次へ]** をクリックします。

- 6** **[設定の確認]** ページで、設定内容を確認して、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。

- 7** **[インストールが完了しました]** 画面が表示され、次のドライバーオプションが表示されます。

[テストページを印刷]

このオプションを選択すると、プリンターとの接続状態を検証して、インストールしたドライバーコンポーネントからテストページを印刷します。

[ステータスマニターを有効にする]

お使いの PC 画面の **[ステータスマニター]** には、印刷時のプリントシステムの状況が表示されます。**[拡張機能]** タブに、**[ステータスマニター]** ボタンが表示されます。

[簡単設定タブを表示する]

よく使用する印刷設定をグループでプロファイルとして定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することができます。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** でも表示されます。

インストールが正常に終了したら、**[終了]** をクリックして **[プリンターのインストール]** ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

[終了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PC を再起動してください。

[ユーザー選択] からのネットワーク接続時のインストール

このセクションでは、ネットワークに接続したプリントシステムのドライバーソフトウェアを、Windows にカスタムインストールする手順について説明します。

- 1** お使いのプリンターと PC が、ネットワークに接続していることを確認してください。
- 2** **[インストール方法]** ページで、**[カスタムモード]** を選択します。
- 3** **[プリントシステムを検索]** ページが開き、プリントシステムを検索します。**[検索]** ボタンが自動的に選択されます。**[ユーザー選択]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 4** **[プリントシステム]** ページが表示されます。リストからプリントシステムモデルを選択し、**[次へ]** をクリックします。ドライバーモデルが 1 つだけの場合、このページは表示されません。次のステップに進みます。

- 5 **[プリンターポート]** ページで、お使いのプリンターに接続されているポートを選択するか、**[ポートの追加]** をクリックしてシステムに接続されているポートを追加します。**[次へ]** をクリックします。
- 6 **[カスタムインストール]** ページで **[ドライバー]** および **[ユーティリティ]** タブからインストールするドライバーとユーティリティを選択し、インストールしないものはオフにします。**[次へ]** をクリックします。
[ユーティリティ] タブでユーティリティのみを選択する場合、**[設定の確認]** ページに進みます。
- 7 **[インストール設定]** ページで、プリントシステムに名前を付けることができます。このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することもできます。必要な項目を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 8 **[設定の確認]** ページで、設定内容を確認して、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。
- 9 **[インストールが完了しました]** 画面が表示され、次のドライバーオプションが表示されます。

[テストページを印刷]

このオプションを選択すると、プリンターとの接続状態を検証して、インストールしたドライバーコンポーネントからテストページを印刷します。

[ステータスマニターを有効にする]

お使いの PC 画面の **[ステータスマニター]** には、印刷時のプリントシステムの状況が表示されます。**[拡張機能]** タブに、**[ステータスマニター]** ボタンが表示されます。

[簡単設定タブを表示する]

よく使用する印刷設定をグループでプロファイルとして定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することができます。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** でも表示されます。

[デバイス設定]

[デバイス設定] チェックボックスを選択すると **[デバイス設定]** が開き、プリンターに合わせてインストールされているオプションを選択することができます。(**[デバイス設定]** チェックボックスは、Windows XP でのみ表示されます。)

インストールが正常に終了したら、**[終了]** をクリックして **[プリンターのインストール]** ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

[終了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PC を再起動してください。

[ユーザー選択] からの USB 接続時のインストール

このセクションでは、USB で接続されたプリントシステムのドライバーソフトウェアを、Windows にカスタムインストールする手順について説明します。**[ユーザー選択]** を選択して、インストールするプリントシステムとプリンターポートを手動で選択します。

プリントシステムが USB ポートに接続され、USB ケーブルの抜き差しがよく行われる環境では、**【カスタムモード】**の**【ユーザー選択】**からのインストールはお勧めしません。**【検索】**機能は、より信頼のおけるインストールパスを提供します。

- 1 お使いのプリンターと PC が、USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

参考: Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の場合、認証ドライバーが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバーは Microsoft Windows Update からインストールできます。USB 接続には、信頼できるインストールを保証するため、検索を使った**【カスタムモード】**をお勧めします。

- 2 **【インストール方法】** ページで、**【カスタムモード】** を選択します。
- 3 **【プリントシステムを検索】** ページが開き、プリントシステムを検索します。**【検索】** ボタンが自動的に選択されます。**【ユーザー選択】** を選択し、**【次へ】** をクリックします。
- 4 **【プリントシステム】** ページが表示されます。リストからプリントシステムを選択し、**【次へ】** をクリックします。
- 5 **【プリンターポート】** ページで、プリントシステムに現在接続されているポートを選択します。**【次へ】** をクリックします。
- 6 **【カスタムインストール】** ページで**【ドライバー】** および**【ユーティリティ】** タブからインストールするドライバーとユーティリティを選択し、インストールしないものはオフにします。**【次へ】** をクリックします。
【ユーティリティ】 タブでユーティリティのみを選択する場合、**【設定の確認】** ページに進みます。
- 7 **【インストール設定】** ページで、プリントシステムに名前を付けることができます。
このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することもできます。必要な項目を選択し、**【次へ】** をクリックします。
- 8 **【設定の確認】** ページで、設定内容を確認して、**【インストール】** をクリックします。設定を訂正する場合は、**【戻る】** をクリックします。
- 9 **【インストールが完了しました】** 画面が表示され、次のドライバーオプションが表示されます。

【テストページを印刷】

このオプションを選択すると、プリンターとの接続状態を検証して、インストールしたドライバーコンポーネントからテストページを印刷します。

【ステータスマニターを有効にする】

お使いの PC 画面の**【ステータスマニター】**には、印刷時のプリントシステムの状況が表示されます。**【拡張機能】** タブには、**【ステータスマニター】** ボタンが表示されます。

【簡単設定タブを表示する】

よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループで定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することができます。【簡単設定タブを表示する】オプションは、【デバイス設定】の【管理者設定】でも表示されます。

インストールが正常に終了したら、【終了】をクリックして【プリンターのインストール】ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

【終了】をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PCを再起動してください。

パラレル接続時のカスタムモードでのインストール

このセクションでは、プリントシステムとパラレル接続されているPCに、プリンタードライバーをカスタムインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのプリンターとPCの電源がオンになっており、パラレルケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2 【インストール方法】ページで、【カスタムモード】を選択します。
- 3 【プリントシステムを検索】ページで、【ユーザー選択】オプションを選択し、【次へ】をクリックします。
- 4 【プリントシステム】ページで、モデルを選択します。【次へ】をクリックします。
- 5 【プリンターポート】ページで、お使いのプリンターに接続されているローカルポートを選択します。【次へ】をクリックします。
- 6 【カスタムインストール】ページで【ドライバー】および【ユーティリティ】タブからインストールするドライバーとユーティリティを選択し、インストールしないものはオフにします。【次へ】をクリックします。
- 7 【インストール設定】ページで、プリンターに名前を付けることができます。この名前は、Windowsの【プリンターとFAX】、およびアプリケーションのプリンターリストに表示されます。また、このプリンターを他のユーザーと共有したり、デフォルトのプリンターとして設定することも可能です。必要な項目を選択し、【次へ】をクリックします。
- 8 【設定の確認】ページで、設定内容が正しいことを確認し、【インストール】をクリックします。設定を訂正する場合は、【戻る】をクリックします。
- 9 【インストールが完了しました】画面が表示され、以下のドライバーオプションが表示されます。

【テストページを印刷】

この機能はプリンターとの接続状態を検証して、インストールされているドライバーコンポーネントの一覧を印刷出力します。

【簡単設定タブを表示する】

この機能は、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。【簡単

設定タブを表示する オプションは、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** でも表示されます。

インストールが正常に終了したら、**[終了]** をクリックして**[プリンターのインストール]** ウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。

[完了] をクリックして、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリンターのインストールが完了しました。必要に応じて、PC を再起動してください。

プリンタードライバーオプション

追加コンポーネントをインストールすることにより、プリンタードライバーの機能を拡張することができます。

XPSドライバーは、**[共通プロファイル]**のみインストールできます。

プリンタードライバーオプションのインストール

- 1 **[Product Library]** のメニュー > **[拡張ツール]** メニューで、**[プリンタードライバーオプション]** を選択します。
- 2 追加コンポーネントをインストールするプリンターを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 3 以降の **[選択]** 画面で必要なコンポーネントを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[設定の確認]** 画面で、設定表示が正しければ、**[インストール]** をクリックします。設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。
- 5 **[プリンターコンポーネントのインストールが完了しました。]** 画面が開きます。**[終了]** をクリックします。
プリンターと追加コンポーネントのインストールが完了した後、PC の再起動の指示が表示された場合は、PC を再起動してください。

プリンターの追加ウィザード

[プリンターの追加] ウィザードでは、プリンターのインストール手順が一連のページにウィザード形式で表示されます。各ページで選択や決定を行い、インストールを完了してください。

Windows 8 でのプリンタードライバーのインストール

このセクションでは、**[プリンターの追加]** ウィザードを使用して、Windows 8 にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

- 1 **[コントロールパネル]** を開き、**[デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。
- 2 **[プリンターの追加]** をクリックします。

- 3 **【プリンターの追加ウィザード】**が開きます。リスト内のプリンターを選択するか、**【探しているプリンターはこの一覧にありません】**をクリックして他の方法で目的のプリンターを指定します。各ページの指示に従い**【次へ】**をクリックして、次のページに進みます。
- 4 選択したプリンターが正常に追加されたというメッセージが表示されます。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。**【デフォルトのプリンターに設定】**をクリックして、印刷ジョブを自動的にこのプリンターに送信するように設定します。新しくインストールしたプリンターからテスト印刷を行う場合は、**【テストページの印刷】**をクリックします。**【プリンターの追加ウィザード】**を閉じるには、**【終了】**をクリックします。

Windows 7 および Windows Vista でのプリンタードライバーのインストール

このセクションでは、**【プリンターの追加】**ウィザードを使用して、Windows 7 および Windows Vista にプリンタードライバーをインストールする手順について説明します。

- 1 **【スタート】**をクリックして**【デバイスとプリンター】**(Windows 7)をクリックするか、**【コントロールパネル】**を選択し、**【プリンター】**(Windows Vista)をクリックします。
- 2 **【プリンターの追加】**をクリックします。
- 3 **【プリンターの追加】**ウィンドウが開きます。**【ローカルプリンターの追加】**または**【ネットワーク、ワイヤレス、または Bluetooth プリンターの追加】**のいずれかをクリックします。各ページの指示に従い、**【次へ】**をクリックして次のページに進みます。

参考: **【ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません】**警告ダイアログボックスが表示されたら、**【このドライバーソフトウェアをインストールします】**をクリックします。

- 4 ウィザードの最後のページに、選択したプリンターが正常に追加されたというメッセージが表示されます。これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。新たにインストールしたプリンターからテスト印刷を行いたい場合は、**【テストページの印刷】**をクリックします。**【プリンターの追加ウィザード】**を閉じるには、**【終了】**をクリックします。

Windows XP でのプリンタードライバーのインストール

このセクションでは、**【プリンターの追加】**ウィザードを使用して、Windows XP にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

- 1 **【スタート】**>**【プリンターとFAX】**をクリックします。
- 2 **【プリンターの追加】**をクリックします。

- 3 **【プリンターの追加ウィザード】**が開きます。各ページの指示に従い、**【次へ】**をクリックして次のページに進みます。

参考: **【新しいハードウェアの検出ウィザード】** ページが開いた場合は、**【キャンセル】**をクリックします。**【ハードウェアのインストール】** 警告ダイアログボックスが開いたら、**【続行】**をクリックします。

- 4 **【プリンターの追加ウィザードの完了】** ページで、プリンタードライバーのインストールは完了です。**【プリンターの追加ウィザード】** を閉じるには、**【終了】** をクリックします。必要に応じて、PC を再起動してください。

プリンタードライバーの設定について

プリンタードライバーの設定は、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスまたは **【コントロールパネル】** から行えます。アプリケーションから行った設定は、そのアプリケーションが終了するまで有効です。**【コントロールパネル】** から設定を行うと、デフォルト設定としてすべてのアプリケーションに適用されます。

デフォルトのドライバー設定の変更

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 8 および Windows Server 2012: **【コントロールパネル】**を開き、**【デバイスとプリンターの表示】** をクリックします。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2 : **【スタート】** をクリックし、**【デバイスとプリンター】** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **【コントロールパネル】** をクリックしてから **【プリンター】** をクリックまたはダブルクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **【スタート】** > **【プリンターとFAX】** をクリックします。
- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックし、**【印刷設定】** をクリックします。
- 3 **【印刷設定】** ダイアログボックスで、各タブで設定したい項目を変更します。
- 4 **【OK】** をクリックして、設定内容を保存します。

2 ドライバーの概要

[印刷設定] ダイアログボックスの下側にあるオーバービューや設定リストには、ドライバーで設定されている内容が表示されます。ドライバーの設定を行うと、オーバービューと設定リストに反映されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]** を選択して印刷ジョブを確認することができます。

コンピュータの縦方向の画面解像度が 864 ピクセル以下の場合、プリンタードライバーの設定画面下側は表示されません。この場合は、現在の PDL を示すボタンは左下、**[印刷プレビュー]** チェックボックスは右下に表示されません。

オーバービュー

[印刷設定] ダイアログボックスの下側に、オーバービューが表示されます。画像ごとに異なるドライバー設定が表示されます。ドライバー設定が選択されると画像が自動で変更されますが、左側のタブをクリックして画像を変更することもできます。

プリントシステムの画像には、ほとんどの接続されているデバイスが表示されます。**[給紙元]**や**[排紙先]**として選択されているデバイスが緑で強調表示されます。一部の機種では、**[ジョブ保存]**タブでジョブ保留オプションが選択されている場合、ハードディスクアイコンが表示されます。

ページイメージは、**[簡単設定]**タブ、**[基本設定]**タブ、**[レイアウト]**タブ、**[仕上げ]**タブでのページ設定にしたがって更新されます。

カラー画像には、カラー機種のカラー設定が表示されます。モノクロ機種または**[白黒]**が選択されているカラー機種の場合、画像には、グレースケール設定が表示されます。

すべての画像に、現在のページ記述言語 (PDL) が表示されます。**[印刷設定]**のすべてのタブから PDL を一時的に変更し、ドライバーの機能を有効にできます。

オーバービューは汎用カラードライバーや汎用モノドライバーでは使用できません。

印刷設定でページ記述言語 (PDL) を選択する

[印刷設定] のすべてのタブから PDL を一時的に変更し、ドライバーの機能を有効にできます。

- 1 オーバービューエリアで、**[PDL]** ボタンをクリックします。
- 2 **[PDL設定]** ダイアログボックスで、**[PDL設定]** リストから使用するページ記述言語を選択します。
- 3 **[GDI 互換モード]** を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できます。

- 4 **[KPDL]**または**[PDF]**、あるいは機種によっては**[PCL XL]**に設定されている場合は、**[詳細設定]**をクリックします。

[PCL XL]を選択すると、**[詳細設定]**をクリックして**[PCL XL 詳細設定]**ダイアログボックスを開き、**[白紙を印刷しない]**、**[スマート両面印刷]**、**[印字領域互換]**、および**[メディアタイプで自動切替えしない]**を選択することができます。

[KPDL]を選択すると、**[詳細設定]**をクリックして、**[KPDL 詳細設定]**ダイアログボックスを開き、**[パススルーモード]**と**[スマート両面印刷]**を選択することができます。ただし、**[パススルーモード]**を選択した場合、**[拡張機能]**タブの**[EMFスプール]**を使用することはできません。

[PDF]の場合、**[詳細設定]**をクリックすると、**[PDF の設定]**ダイアログボックスが開きます。

- 5 **[PDL設定]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。

設定リスト

画面下側にある設定リストには、ドライバーの機能（一部機能を除く）の現在の設定が表示されます。スクロールダウンすると、すべてのドライバータブの機能を確認できます。各オプションが選択されると、現在選択されているオプションがツリービューに表示されます。マイナス (-) またはプラス (+) をクリックして詳細の表示/非表示を切り替えられます。

設定リストは汎用カラードライバーや汎用モノドライバーでは使用できません。

印刷プレビュー

画面下側に、**[印刷プレビュー]**チェックボックスが表示されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]**を選択して印刷イメージを確認することができます。プレビューには、テキストとイメージのほか、設定によっては**[ウォーターマーク]**または**[セキュリティーウォーターマーク]**が表示されます。プレビューで問題が無いことを確認して印刷を行います。設定を変更して印刷したい場合には、キャンセルすることができます。

印刷ジョブのプレビュー

- 1 アプリケーションの印刷設定でドライバーの設定をするか、プロファイルを選択します。
- 2 任意のタブで**[印刷プレビュー]**を選択します。
- 3 **[印刷設定]** および **[印刷]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。
- 4 **[印刷プレビュー]** ダイアログボックスが表示されたら、必要に応じて次の作業を実行します。

複数ページがある場合は、矢印ボタンをクリックして前後のページも確認できます。

プレビューを閉じて印刷前にドライバー設定を変更する場合は、**[X]** ボタンをクリックします。

プレビューに問題がなければ、**[印刷 (プリンターアイコン)]** ボタンをクリックし、ジョブを印刷します。

Kyocera ロゴ

[印刷設定] 画面または [デバイス設定] 画面下部には、[Kyocera] ロゴが表示されます。ロゴをクリックすると、ドライバーのバージョンとドライバープラグイン情報を表示した[バージョン情報]ダイアログボックスが開きます。

バージョン情報の表示

[デバイス設定] またはいずれかのタブで、[Kyocera] ロゴ > [詳細バージョン] をクリックすると、次のドライバー情報が表示されます。

[ファイル名]

[詳細バージョン]

[説明]

[日付]

[製造元]

[コメント]

著作権情報を表示するには、[使用条件] をクリックします。

[OK] をクリックして、[詳細バージョン]ダイアログボックスを閉じます。

プラグイン情報の表示

プラグインはプリンタードライバーと統合して、ドライバーの機能を拡張します。

[デバイス設定] またはいずれかのタブで、[Kyocera] ロゴ > [プラグイン] をクリックすると、次のプラグイン情報が表示されます。

[モジュール]

[説明]

[詳細バージョン]

[OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

3 デバイス設定

[デバイス設定]では、インストールされているプリントシステムのオプションを選択し、プリンタードライバーで関連機能を利用できるようにします。さらに、ドライバーのメモリー設定を、プリンターにインストールされたメモリーと合わせることができると、ドライバーはフォントのダウンロードをより効率的に管理できるようになります。また、**[管理者]**設定、**[ユーザー]**設定、**[PDL(ページ記述言語)]**設定、**[互換性]**設定も選択可能です。(選択内容は、プリントシステムの機種およびオプション機器によって異なります。)

デバイス設定へのアクセス

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]**を開き、**[デバイスとプリンターの表示]**をクリックします。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]**をクリックし、**[デバイスとプリンター]**をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[コントロールパネル]**をクリックしてから**[プリンター]**をクリックまたはダブルクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **[スタート]**>**[プリンターとFAX]**をクリックします。
- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックします。

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Server 2008 R2: **[プリンターのプロパティ]**をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、および Windows Server 2003: **[プロパティ]**をクリックします。
- 3 **[デバイス設定]**をクリックします。

デバイスオプション

オプション機器の追加を行うと、給紙元や仕上げ、ジョブ拡張機能などでプリントシステムの機能を拡張することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

オプションの設定

- 1 **[デバイス設定]**>**[使用できるオプション]**で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。
- 2 **[プロパティ]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。

パンチオプションの設定

[仕上げ] タブで **[パンチ]** オプションを使用する前に、**[デバイス設定]** でパンチオプションを設定しておく必要があります。

- 1 **[デバイス設定]** タブ > **[使用できるオプション]** で、パンチに対応するフィニッシャーを選択します。すでに選択してある場合は、青色の文字をダブルクリックします。
- 2 装着されているパンチユニットに応じて、オプションを1つ選択します。
 - [なし]**
[仕上げ] タブでは、パンチオプションは使用できません。
 - [2穴]**
[仕上げ] タブで、2穴のパンチオプションを使用できます (センチ仕様)。
 - [2 および 3穴]**
[仕上げ] タブで、2穴および3穴のオプションを使用できます (インチ仕様)。
 - [2 および 4穴]**
[仕上げ] タブで、2穴および4穴のパンチオプションを使用できます (インチ仕様/センチ仕様)。
- 3 **[パンチユニット設定]** および **[プロパティ]** で **[OK]** をクリックします。

バーチャルメールボックスの設定

[ジョブ保存] タブの **[バーチャルメールボックス]** 機能を使用するためには、**[デバイス設定]** タブのバーチャルメールボックスを設定する必要があります。また、ハードディスクをプリントシステムにインストールする必要があります。 **[バーチャルメールボックス]** にジョブを送信した後、プリントシステムの操作パネルから印刷できます。

- 1 **[デバイスの設定]** タブの **[使用できるオプション]** で、**[ハードディスク]** を選択します。すでに選択されている場合は、青色の文字をダブルクリックします。 **[RAM ディスクサイズ]** が選択されている場合は、チェックボックスをオフにします。
- 2 **[ハードディスク設定]** ダイアログボックスで、**[新規]** をクリックします。新しい **[メールボックス名]** および **[メールボックス番号]** が表示されます。
- 3 必要に応じて、**[メールボックス名]** および **[メールボックス番号]** ボックスの番号および名前を変更できます。番号は1から255までの整数、名前は最大31文字以内である必要があります。
- 4 **[ハードディスク設定]** および **[プロパティ]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

印刷中に新しいメールボックス名が **[バーチャルメールボックス選択]** ダイアログボックスに表示されます。

バーチャルメールボックスを削除するには、**[定義されたメールボックス]** リストからボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。

バーチャルメールボックスリストをインポートするには、**[インポート]** をクリックして有効なバーチャルメールボックスリストファイル (.CSV) を参照します。

[エクスポート] をクリックすると、PC またはネットワーク内の現在のバーチャルメールボックスリスト (.CSV) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバでインポートできます。

ユーザーボックスの設定

[ジョブ保存] タブの **[ユーザーボックス]** 機能を使用するには、まず **[デバイス設定]** タブでユーザーボックスを作成します。最大 1000 個のユーザーボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。各ユーザーボックスはユーザーごとに割り当てることができ、保存されたジョブをプリントシステムの操作パネルから印刷することができます。機種によっては、**[SSD]** は **[デバイスオプション]** リストに **[ハードディスク]** の変わりに表示されます。

- 1 **[デバイスの設定]** > **[デバイスオプション]** で、**[ハードディスク]** または **[SSD]** を選択します。すでに選択されている場合は、青色のテキストをダブルクリックします。必要に応じて、**[RAMディスク]** のチェックボックスをオフにします。
- 2 **[ハードディスク設定]** または **[SSD 設定]** ダイアログボックスで、**[追加]** をクリックします。
- 3 **[定義されたユーザーボックス]** リストに、新しい **[ボックス番号]** と **[ボックス名称]** が表示されます。必要に応じて、**[ボックス番号]** および **[ボックス名称]** で、ボックス番号とボックス名称を変更します。番号は 1 から 1000 までの整数、名前は最大 32 文字以内であることが必要です。また、ユーザー名は 20 文字以内で入力してください。
- 4 ボックスを複数のユーザーが使用する場合は **[共有ボックス]** を選択します。

参考: 機種によっては **[共有ボックス]** がデフォルトで選択されています。

チェックボックスがオン: すべてのネットワークユーザーが、ボックスにジョブを保存できます。

チェックボックスがオフ: ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけが、ボックスにジョブを保存できます。

- 5 印刷を開始する前にユーザーに共有ボックスのパスワードの入力を求めるには、**[パスワードの確認]** をオンにして、最大 16 文字のパスワードを入力します。
- 6 **[ハードディスク設定]** または **[SSD 設定]** そして **[プロパティ]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

印刷中は **[ユーザーボックス]** ダイアログボックスに新しいユーザーボックスが表示されます。

ユーザーボックスを削除するには、**[定義されたユーザーボックス]** リストからボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。

ユーザーボックスリストをインポートするには、**[インポート]** をクリックして有効なユーザーボックスリストファイル (.CSV または .KXU) を参照します。

[エクスポート] をクリックすると、PC またはネットワーク内の現在のユーザーボックスリスト (CSV または .KXU) を保存できます。保存されたリストは、他のプリンタードライバーにインポートできます。

自動設定

[自動設定] は、プリントシステムがネットワーク経由で接続されている場合、装着されているオプションデバイスを自動的に検出します。**[自動設定]** は、プリントシステム本体のオプションデバイス（入力デバイス、出力デバイスなど）や、RAM ディスク容量、ストレージデバイスの容量などを検出します。TCP/IP または WSD ポートが選択されている場合、**[自動設定]** ボタンが **[デバイス設定]** に表示されます。**[自動設定]** は、**[デバイスオプション]** のリストや、**[メモリー]**、**[RAM ディスク]**、オーバービューイメージを更新して、プリントシステムとプリンタードライバーの設定を自動的に一致させます。一部の機種では、プリントシステムで設定されたカスタム用紙種類は、すべてのドライバーの用紙種類リストで更新されます。**[自動設定]** は OS ごとに動作が異なります。

[自動設定] を使用しても、装着されているすべてのデバイスが検出されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、**[デバイス設定]** で **[OK]** をクリックします。

参考: Windows XP Service Pack 2 では、Windows のファイアウォールはデフォルトで **[オン]** に設定されています。プリンターと PC 間の通信を許可するように、設定を変更することもできます。Windows の **[セキュリティの警告]** ダイアログボックスで、**[禁止の解除]** をクリックします。

[サイレント自動設定]

[サイレント自動設定] 機能を選択すると、ドライバーは 10 分おきにプリントシステムをチェックし、追加デバイスやメモリーに変更がないかを確認します。変更が検出されると、ドライバーは自動的に新しい設定に更新されます。**[サイレント自動設定]** は、プリンタードライバーが Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 稼働のシステムにインストールされている場合にのみ、利用可能となります。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

自動設定の有効化

[自動設定] ボタンを使用すると、プリンターが TCP/IP ポートまたは WSD ポート経由でネットワークに接続されている場合に、接続されているオプション機器を自動設定することができます。

- 1 各オプション機器がプリントシステムに正しく接続され、プリントシステムの電源がオンになっており、印刷待機中であることを確認してください。
- 2 **[デバイス設定]** で、**[自動設定]** をクリックします。

Windows XP では、ドライバーの設定がただちに更新されます。

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Vista では、**[自動設定]** ダイアログボックスが開きます。(一部の機種では、ドライバーの設定が直ちに更新されます。) 自動設定オプションから選択します。

[自動設定の開始]

プリントシステムの現在の設定を取得するには、ボタンをクリックします。この操作は、ドライバーを最初にインストールしたときや **[サイレント自動設定]** オプションがオフになっているときに行ってください。

[サイレント自動設定]

ドライバーがプリントシステムへの変更を指定時間ごとに確認するように設定する際に選択します。ドライバーはオプション機器やメモリーの変更を定期的に確認します。

- 3 [自動設定]および[プロパティ]ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。

メモリー

メモリーは、プリントシステムに搭載された標準メモリーとオプションメモリーの合計容量です。デバイスのフォントのダウンロード速度を最大限にするためには、ドライバーの設定がデバイスメモリーの合計容量に一致するように設定しなければなりません。

メモリーの設定

デフォルトでは、[メモリー]設定はデバイスの標準メモリーと一致するようになっています。オプションメモリーを設置した場合は、プリンタードライバーのメモリー設定がデバイスのメモリー容量と同じになるように設定してください。

- 1 プリントシステムに追加のDIMMメモリーを装着します。
- 2 [デバイス設定]>[メモリー]で、搭載されているメモリーの合計を入力するか選択します。これを行うには、テキストボックスに正しいメガバイト (MB) 数が表示されるまで上矢印と下矢印をクリックして操作します。

[自動設定]機能が付いている場合には、そこからメモリー情報を取得することができます。

RAMディスク

RAMディスクは、仮想ストレージデバイスとして機能し、印刷要求をプリントシステムのメモリーに保存します。RAMディスクは一時メモリーのため、そこに保存されたデータはすべて、電源を切ると消失します。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

参考: ストレージデバイスが搭載されている場合は、RAMディスクの機能は無効となります。

選択すると、[互換性設定]ダイアログボックスの[ドライバーの部単位設定を優先する]機能により、ドライバーのページ設定が使用されます。そのため、RAMディスクは、印刷ジョブを1回送信するだけで、複数の部単位を印刷する際の速度を上げることが可能となります。

RAMディスクの設定

RAMディスクでは、印刷ジョブをプリントシステムのメモリーに保存するよう設定できます。

- 1 プリントシステムの操作パネルで、RAM ディスクをオンにして、サイズを設定します。

- 2 **[デバイス設定]** > **[使用できるオプション]** で、**[RAMディスク]**を選択します。
- 3 **[RAM ディスクサイズ]** に、プリントシステムに設定した RAM ディスクのサイズを入力します。または、使用できる正しい RAM ディスクサイズ (MB) が表示されるまで、上矢印や下矢印をクリックします。

RAM ディスクの最大サイズは、搭載されているメモリーの容量によって異なります。

管理者設定

[管理者設定] では、アクセスするユーザーや部門の制御、ドライバーの表示タブの設定、および **[管理者設定]** へのアクセスを制御するためのパスワード設定などを行います。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を使用できません。

一般

管理者は、**[一般]** タブで、**[簡単設定]** タブとオペレーションパネルのメッセージの表示を制御できます。一部の **SNMP** 設定では、ジョブの E メール通知やその他各種設定も選択できます。

簡単設定タブを表示する

このオプションでは、**[簡単設定]** タブを表示するかを選択できます。よく使う印刷時の設定をあらかじめ定義しておき、アクセシビリティを改善することができます。

[簡単設定タブを表示する] チェックボックスをオフにすると、**[印刷設定]** ダイアログボックスにタブは表示されません。

この機能を有効にするには **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で、**[簡単設定タブを表示する]** をクリックします。

[簡単設定タブを表示する] チェックボックスをオンにすると、**[印刷設定]** ダイアログボックスにタブが表示されます。**[簡単設定タブを表示する]** チェックボックスを選択する際に、追加のチェックボックスにアクセスできます。

[簡単設定タブ以外を隠す] を選択すると、**[簡単設定]** タブのみがユーザーに表示されます。

[初期画面を簡単設定タブにする] を選択すると、**[印刷設定]** 画面を開いたときの初期画面になります。

[編集/追加ボタンを隠す] を選択すると、ユーザーが **[簡単設定]** タブをカスタマイズできなくなります。

オペレーションパネルのメッセージ

印刷中プリントシステムのオペレーションパネルに表示される、現在のジョブ名、ユーザー名、および部署・部門の表示を設定できます。ユーザーが独自に名前を設定しない場合、プリントシステムの初期設定が表示されます。

[ジョブ保存] タブでジョブ名を設定し、**[デバイス設定]** から **[ユーザー設定]** ダイアログボックスにアクセスしてユーザー名および部署・部門を設定します。

フロントパネルのメッセージの表示

ジョブ情報を選択して、フロントパネルに表示させることができます。

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で、**[フロントパネルのメッセージの表示]** を選択します。

- 2 印刷中にフロントパネルに表示させるには、次のオプションから選択します。

[ジョブ名の表示]

[ユーザー名の表示]

[部門の表示]

- 3 **[管理者設定]** および **[プロパティ]** ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

カウント情報

印刷ジョブにカウント情報を埋め込み、アプリケーションに応じて部門管理に利用することができます。カウント情報には印刷ページ数合計や両面印刷、ページ集約、カラーモード、カラーページカウント、用紙サイズなどが含まれます。

[PDL設定]ダイアログボックスで **[PDF]** が選択されている場合は、カラーページカウントのみが PDF と一緒に送信されます。

この機能を有効にするには**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で、**[カウント情報]**をクリックします。

アプリケーション名を発行

このオプションでは、異なる印刷プロセスを各アプリケーションで使用できるよう、印刷ジョブにアプリケーション名を付加して送信することができます。

[PDL設定]ダイアログボックスで **[PDF]**が選択されている場合、このオプションは使用できません。

この機能を有効にするには**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]**で、**[アプリケーション名を発行]**をクリックします。

アプリケーション別の印刷設定を有効にする

印刷設定プロファイルを、異なるアプリケーションごとに有効にします。この機能を使用する前に以下を行ってください。

[印刷設定] から **[プロファイル]** ダイアログボックスを選び、プロファイルを追加します。

同じく **[プロファイル]** ダイアログボックスで、プロファイルを選び、**[アプリケーション別の印刷設定]** ダイアログボックスでアプリケーションを追加して有効にします。

デフォルトでは、この機能は有効です。この機能を無効にするには、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]**で、**[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]**のチェックボックスを外します。

参考: **[アプリケーション別の印刷設定]** は 32 ビット版オペレーティングシステム用にのみ提供されています。

パスワードで管理者設定を保護する

[管理者設定] ダイアログボックスで **[設定を保護する]** をオンにし、このダイアログボックスに対して不正な変更が行われるのを防ぎます。この設定を選択すると、パスワードの入力および確認のための再入力を求められます。このパスワード保護により、すべての **[管理者設定]** オプションへのアクセスがブロックされます。

管理者パスワードの設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で **[設定を保護する]** を選択します。

- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、4～16文字のパスワードを入力します。**[新しいパスワードの確認]** にパスワードを再入力して、**[OK]** をクリックします。

管理者パスワードのクリア

- 1 **[デバイス設定]** で、**[管理者設定]** をクリックします。
- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。
- 3 **[管理者設定]** ダイアログボックスで、**[設定を保護する]** チェックボックスのチェックを外し、**[OK]** をクリックします。

初期設定プロファイルを隠す

[簡単設定] タブと **[プロファイル]** ダイアログボックスから **[初期設定]** プロファイルを隠すことができます。

チェックボックスをオンにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されません。

チェックボックスをオフにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されます。

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル (**[SNMP]**) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御するアプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントシステムなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して格納します。**[自動設定]** 機能を使用して、**[SNMP]** セキュリティーレベルを設定します。**[SNMPv3]** では、暗号化と認証がサポートされます。**[SNMP]** 設定は、プリンタードライバーおよびプリントシステムのホームページで設定する必要があります。

使用可能な **[SNMP]** オプションは、次のとおりです。

[SNMPv1/v2c]

[リードコミュニティ名] と **[ライトコミュニティ名]** を使用して管理対象デバイスと通信します。

[SNMPv3]

認証と暗号化のセキュリティー拡張機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。**[設定]** をクリックすると、認証オプションやプライバシーオプションが利用できるようになります。

[設定を他の機種に反映]

このオプションを使用すると、設置したプリントシステムのリストが表示され、選択した **[SNMP]** 設定を適用することができます。

SNMPv3オプション

[SNMPv3] オプションを選択すると、よりセキュリティーの高い通信方式でプリントシステムと接続する事ができます。

機種によっては、**[SNMPv3]** はオプションのネットワークカードがインストールされている場合に有効です。これらの設定は、ネットワークカードの設定と一致する必要があります。ネットワークカードには、認証パスワードおよび暗号化パスワードの両方の設定がありますが、いずれもドライバーのパスワードと一致する必要があります。

[認証]

転送されたファイルが完全な状態で到達し受信されたかどうかを、チェックするアルゴリズムを実行します。Message Digest 5 ([MD5]) およびSecure Hash Algorithm 1 ([SHA1]) は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

[MD5]

128ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。

[SHA1]

160ビット長のメッセージダイジェストを生成します。[SHA1] は、[MD5] の後継アルゴリズムです。

[暗号通信]

接続の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。[認証] オプションを選択すると使用できるようになります。プライバシーオプションを1つ選択してください。(ネットワークカードはAES暗号化通信に対応していません。)

[DES]

暗号化技術としてData Encryption Standardが使用されます。[DES] は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8バイト長のブロックと56ビット長の鍵が使用されます。

[AES]

暗号化技術としてAdvanced Encryption Standardが使用されます。[AES] は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256ビット長の暗号鍵を使用して128ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、[DES] よりも安全性が高くなります。

SNMP設定の選択

[SNMP] 設定は、プリントシステムのホームページの設定と一致させる必要があります。

- 1 [デバイス設定] > [管理者] > [一般]で [SNMP設定] をクリックします。
- 2 [SNMPv1/v2c] または [SNMPv3] を選択します。
[SNMPv1/v2c] の場合は、[リードコミュニティ名]と[ライトコミュニティ名]を最大 32 文字で入力します。
[SNMPv3] の場合は、[ユーザー名]を最大 32 文字で入力して、[パスワード]を 8 ~ 32 文字で入力します。
- 3 [SNMPv3] に認証とプライバシーオプションを設定するには、[設定] をクリックします。
- 4 [SNMPv3] ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択し、[OK] をクリックします。
- 5 オプション: [設定を他の機種に反映]から、設定を反映させる機種を選択できます。[SNMP] の設定は、選択したすべての機種に適用されます。
- 6 [SNMP 設定]ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ジョブの E メール通知

この機能は、印刷ジョブと同時にE メールアドレスを送信します。ジョブの印刷が終了すると、送信されたアドレスに、デバイスからEメールが送信され

ます。デバイスが複数のジョブを印刷していて、印刷が終了まで時間がかかる場合に便利です。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]**の**[管理者設定]** ボタンが、**[認証]** ボタンになります。E メール通知のデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

E メール通知オプションを選択する

印刷ジョブと同時にE メールアドレスを送信し、ジョブの印刷完了時に通知を受けることができます。

1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]**で、**[印刷完了通知]** を選択します。

2 E メールアドレスのオプションを選択します。

[特定の E メールアドレスを使用]を選択し、有効な E メールアドレスを入力します。クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーによるアドレス変更が可能です。

[印刷時に E メールアドレスを入力]を選択し、**[OK]** をクリックします。印刷の際に、**[印刷]** ダイアログボックスで **[OK]** をクリックし、**[印刷オプション]**または**[認証設定]**ダイアログボックスで有効な E メールアドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。

3 **[管理者設定]**および**[プロパティ]**ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ロック設定

管理者は、ドライバーの各タブの設定や機能レベルを指定し、それらをロックすることができます。ロックされた設定は、すべての印刷ジョブに適用され、変更が制限されます。ロック設定は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]**で行います。たとえば、印刷は両面で行うように設定しておくことができます。これは用紙を節約し、結果として経費の削減および環境保護につながります。

設定をロックすると、他のタブで表示される同じ機能もロックされます。たとえば、**[両面印刷]**を選択すると、**[簡単設定]**および**[基本設定]**タブでもその機能がロックされます。

また管理者は、一時的に機能のロックを解除するためのパスワードを設定することもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用できません。

ロック設定のオプション

[ロック設定] タブには、管理者がロックできるドライバー設定が表示されます。ロックすると、ユーザーの変更は制限され、設定はすべての印刷ジョブに適用されます。設定が有効になると、**[パスワードの設定]** オプションにアクセスできます。これにより、管理者は用紙やトナー量の使用を制御できます。

[白黒モード]

すべてのカラー設定が無効になり、黒トナーのみを使用してジョブが印刷されます。

[エコプリント]

[エコプリント] 設定がロックされます。

[両面印刷]

[簡単設定] または [基本設定] タブで選択された現在の [両面印刷] 設定がロックされます。

[ページ集約]

[簡単設定] タブの現在の [ページ集約] 設定、および [レイアウト] タブの [ページ集約] 設定がロックされます。 [レイアウト] タブでは、 [ページ集約] オプションはロックされていません。

[アプリケーション別の印刷設定]

アプリケーションごとに定義されている、ドライバー設定のプロファイルをロックします。 [アプリケーション別の印刷設定] は 32 ビット版オペレーティングシステム用にのみ提供されています。

[ジョブ保存タブ]

[ジョブ保存] タブで選択された設定がロックされます。

[セキュリティー・ウォーターマーク]

[拡張機能] タブの [セキュリティー・ウォーターマーク] をロックします。 [セキュリティー・ウォーターマーク] は、オプションのプラグインです。

[パスワードの設定]

管理者が設定したパスワードを使用して、選択したドライバー機能をロックできます。 管理者がパスワードを設定している場合は、ドライバーのタブまたは [アプリケーション別の印刷] ダイアログボックスに、 [ロック解除] アイコンが表示されます。 機能のロックを解除するには、 [ロック解除] をクリックし、パスワードを入力します。

ドライバー設定のロック

- 1 [デバイス設定] > [管理者設定] で [ロック設定] をクリックします。
- 2 ロックする各ドライバー機能のチェックボックスを選択します。
- 3 一時的に設定をアンロックするためにパスワードを設定する場合は、 [パスワードの設定] のチェックボックスを選択します。
[パスワードの設定] ダイアログボックスで、 4~16 文字のパスワードを入力します。 [新しいパスワードの確認] にもう一度パスワードを入力し、 [OK] をクリックします。
パスワードを削除するには、 [パスワードの設定] チェックボックスのチェックを外します。 [パスワードの解除] ダイアログボックスで、パスワードを入力し [OK] をクリックします。
- 4 [ロック設定] の内容を保存するには、 [OK] をクリックします。

パスワードが設定されている場合は、ロックされている機能が表示されているドライバータブに、 [ロック解除] アイコンが表示されます。 機能のロックを解除し一時的に設定を変更するには、 [ロック解除] をクリックし、パスワードを入力します。

ユーザー管理

[ユーザー管理] は、部署や部門ごとに権限を割り当てる [部門管理] とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。 プリントシステムには最大1000個のログインユーザー名とパスワードを登録することができ、プリンタードライバーに保存されます。 一部の機種では最大20のユーザー IDとパスワードをプリントシステムに登録することができ、複数のプリントシステムで使用するために100のユーザーIDとパスワードをプリンタードライバーに保存できます。

ユーザーはユーザー名とパスワードによって認識されます。ユーザー名は UPN 形式 (username@domain.com) で入力する必要があります。この機能は、印刷および課金を安全に行うため、指定されたユーザーのみが印刷を行います。各ユーザーが印刷したページ数は、プリントシステムによって管理されます。

また、プリンタードライバーに追加されたユーザーをプリントシステムの操作パネルに手動で登録する必要があります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用することができません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** ボタンが、**[認証設定]** ボタンになります。ユーザーログインのデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

ユーザー管理機能

ドライバーで選択した **[ユーザー管理]** の設定は、コンピューターから送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。

参考: 一部の機種では、ユーザー ID が名前の代わりに **[管理者設定]** ダイアログボックスに表示されます。

[特定のログインユーザー名を使用]

このオプションは、特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ **[ユーザーログイン]** が使用できます。このオプションが選択されていると、ユーザーは印刷ジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

クライアントはクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルト名とパスワードを使用するか、他の名前とパスワードを入力することができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

[印刷時にログインユーザー名を入力]

このオプションは、ユーザーにユーザー名とパスワードを入力するよう求めます。リストにはないユーザー名を使用し、リストにユーザー名を追加しないでおくこともできます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら **[OK]** をクリックして印刷します。

未登録のユーザー ID から印刷を許可するようプリントシステムに設定されている場合は、未登録の名前でも印刷できます。

[印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)]

このオプションは、ユーザーにユーザー名とパスワードを入力するよう求めます。印刷するジョブに関して、入力されるユーザー名とパスワードは **[登録ログインユーザーリスト]** にある必要があります。ドライバーの **[登録ログインユーザーリスト]** に入力されているログインユーザー名を使用できます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら **[OK]** をクリックして印刷します。このオプションは、選択されたユーザー名がドライバーに保存されていることが確認された場合のみ、ジョブを印刷します。

[ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス)を確認]

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバーの **[登録ログインユーザーリスト]** で検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷するたびに実行されます。Windows ユーザー名が **[登録ログインユーザー]** リストに存在する場合は、そのリスト内の関連付けられたドライバーのログインユーザー名とパスワードを使用してジョブを印刷できます。印刷ジョブを印刷するには、プリントシステムの操作パネルでログインユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

合致した ID が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。ユーザー権限のみ持つユーザーは、印刷ジョブはキャンセルされ、管理者に問い合わせで印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、ログインユーザー名とパスワードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これらをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーがログインユーザー名とパスワードを再入力する必要がなくなります。

【登録ログインユーザーリスト】

クリックして、ログインユーザー名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。【ログインユーザー名】リストを作成すると、このリストをテキストファイル(.CSV、.KXC、.TXT)形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。【ログインユーザー名】リストをインポートするには、既存のリストを参照し、それをプリンタードライバーに保存します。

ユーザー管理を使用して印刷

ログインユーザー名が割り当てられ、プリントシステムでユーザーログインモードが有効に設定された後、【ユーザー管理】を使用してユーザーログインモードで印刷を実行できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントには自動的にサーバーで設定した【ユーザー管理】の設定が適用されます。

参考: 一部の機種では、名前の代わりにユーザーIDが【管理者設定】ダイアログボックスに表示されます。

- 1 【デバイス設定】>【管理者設定】>【ユーザー管理】で、【ユーザー管理】を選択します。
 - 2 【ユーザー管理】オプションを選択します。
 - 【特定のログインユーザー名を使用】
 - 【印刷時にログインユーザー名を入力】ログインユーザー名リストを作成すると、上記以外の【ユーザー管理】オプションも選択可能になります。
-
- 参考: 【特定のログインユーザー名を使用】または、【印刷時にログインユーザー名を入力】を選択した場合は手順 5 に進みます。
-
- 3 【ログインユーザー名】リストの下で、ボタンをクリックするとリストを表示、管理できます。
 - 4 以下の【ユーザー管理】オプションから選択します。
 - 【印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)】
 - 【ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認】
 - 5 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。
 - 6 アプリケーションから文書を印刷します。

- 7 **[印刷オプション]** または **[認証設定]** ダイアログボックスが表示されたらユーザー名とパスワードを入力または選択して、**[OK]** をクリックします。一部のオプションには、ログインが必要です。

部門管理

[部門管理] によって、管理者はプリントシステムの使用を制御することができます。**[部門管理]** で、ユーザーあるいは部署に部門コード (識別番号) を割り当てられます。特定の部門コードを割り当て、印刷の際に入力を求める設定を行うことができます。部門コードを作成すると、プリントシステムの操作パネルから、特定の部門コードに関連付けられている印刷枚数を確認したり、部門コードごとに印刷枚数を制限できるようになります。部門コードは、最大 8 桁まで指定可能です。一部の機種では、部門コードは 4 桁や 7 桁となります。

参考: プリントシステムで **[部門管理]** がオンに設定されている必要があります。最大 1000 件の部門コードをプリントシステムに割り当て、プリンタードライバーに保存することができます。プリントシステムの機種により、割り当てられるコードの最大数が異なります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]** の **[管理者設定]** ボタンが、**[認証]** ボタンになります。部門管理のデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

部門管理オプション

[部門管理] では、次の設定が行えます。

[特定のコードを使用]

このオプションでは、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。各印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。管理者は **[管理者設定]** ダイアログボックスの一般タブで、**[設定を保護する]** をオンにして、ユーザーあるいはグループが部門コードを変更しないように制限できます。

クライアント PC はクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトの部門コードを使用するか、他の部門コードを入力することができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

[印刷時にコードを入力]

このオプションでは、部門コードを入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信される時、ユーザーは部門コード ID を入力するよう求められます。

[印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)]

このオプションでは、ドライバーに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら部門コードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

[印刷時にコードリストから選択]

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザーまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバーに保存され、リストを表示するには 1 つ以上の部門コードを作成しておく必要があります。

[部門コード]

ドライバーに保存されているリストの部門コードを追加、編集、または削除できます。部門コードの説明は、部門コードとユーザーまたはグループの関連を識別することができます。部門コードリストを作成すると、このリストをテキストファイル(.CSV、.KXC、および.TXT)形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。部門コードリストをインポートするには、既存のリストを参照して開きます。

部門コードでの印刷

1 [デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理]から、[部門管理]を選択します。

2 次の[部門管理] オプションを選択します。

[特定のコードを使用]

[印刷時にコードを入力]

部門コードをリストに登録すると、上記以外の[部門管理] オプションも選択可能になります。

参考: [特定のコードを使用] または、[印刷時にコードを入力] を選択した場合は手順 5 に進みます。

3 [部門コード] リストから、各ボタンをクリックして[部門コード]を追加、削除、編集、インポートおよびエクスポートができます。

4 次の[部門管理] オプションから選択します。

[印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)]

[印刷時にコードリストから選択]

5 ダイアログボックスで[OK]をクリックします。

6 アプリケーションから文書を印刷します。

7 一部のオプションでは、[印刷オプション] または [認証設定] ダイアログボックスが表示されるため、部門コードを入力または選択して、[OK]をクリックします。

Policy Manager

[Policy Manager]は、ユーザー認証の一括管理、承認、ユーザーアクセス管理、セキュアプルプリント機能を提供するサーバーベースのアプリケーションです。KYOCERA Net Policy Manager アプリケーションを別途インストールする必要があります。また、Policy Manager と連携するには、プリンタードライバーの[デバイス設定] > [管理者設定] > [Policy Manager]での設定が必要です。プリンタードライバーの Policy Manager との連携機能は、プリンタードライバーのオプションとしてインストールされます。

XPS ドライバーは Policy Manager をサポートしていません。Policy Manager の詳細については、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズ株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

管理者は、ポリシーに基づいた印刷を行うため、ユーザーとグループに対して Policy Manager サーバーとユーザー情報を設定できます。

ポリシーで印刷機能を制限した場合、Policy Manager はプリンタードライバーの設定を変更するため、一部の印刷機能が対象のユーザーまたはグループに対

して制限されます。ポリシーとプリンタードライバの設定に不一致がある場合の対処は、プリンタードライバの**[Policy Manager]**タブで設定できます。

セキュアプルプリントでは、ジョブを送信した後にプリントシステムを選択できます。セキュリティーで保護されたプルプリント機能を使用するには、プリンタードライバは、**Policy Manager**のスーパーのポートを使用し、**Policy Manager**のスーパーのサーバーに接続する必要があります。プリントシステムでユーザーが認証されるまで、印刷ジョブは **Policy Manager** スーパーサーバーで実行されます。

KYOCERA Net Policy Manager 2.0 がインストールされている場合は、ドライバーは印刷中にユーザーのアカウント情報を表示します。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]**の**[管理者設定]**ボタンが、**[認証設定]**ボタンになります。**Policy Manager** のデータは、**[認証設定]**ダイアログボックスで入力できます。

Policy Manager オプションの選択

Policy Manager をインストールし、サーバーの設定を行った後、プリンタードライバの **[Policy Manager]** タブでサーバーとユーザー情報を設定します。

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[Policy Manager]** で、**[Policy Manager]** を選択します。
- 2 サーバーアドレスとポート番号を入力します。
- 3 認証のオプションを選択します。
 - [Windows 認証を使用]**

Policy Manager の認証に **Windows** のログイン情報を使用します。
Windows 認証が失敗した場合を除き、印刷中、**[Policy Manager ログイン]** ダイアログボックスは表示されません。選択した場合は、手順 5 に進みます。
 - [特定のログインユーザー名を使用]**

特定のログイン情報を入力します。選択した場合は、手順 4 に進みます。
- 4 **[ログインユーザー名]**と**[パスワード]**を入力します。一部のモデルでは、自動で表示されるドメイン名の後にユーザー名を入力するか、ドメイン名を削除することができます。ログインユーザー名は、複数のドメインをサポートするため、ユーザープリンシパル名 (UPN) 形式 `username@domain.com` で入力することができます。
- 5 印刷中にポリシーが不一致を示すメッセージを非表示にする場合は、**[ポリシーが不一致の場合に通知を表示しない]**を選択します。この選択後、印刷動作を選択します。
 - [印刷を続ける]**

ポリシーを適用し、印刷を続けます。
 - [印刷をキャンセルする]**

印刷をキャンセルします。
- 6 部門情報のメッセージを印刷後に表示するには、**[ユーザーのジョブ情報を表示する]**を選択します。メッセージには印刷されるページの詳細が表示されません。**Policy Manager** で制限を設定した場合は、印刷制限と印刷される残りのページ数が表示されます。

- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

Policy Manager を使用して印刷

ドライバーに**[Policy Manager]**を設定し、印刷ジョブをプライベートかつ安全に送信できます。

- 1 アプリケーションから文書を印刷します。 **[印刷設定]**または**[プロパティ]**をクリックして、**[プロパティ]**ダイアログボックスを開き、ポリシーで設定された印刷制限を確認できます。
- 2 **[Policy Manager ログイン]**または**[認証設定]**ダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。ドライバーで **Policy Manager** のユーザー名またはパスワードが無効または空白の場合は、ダイアログボックスが表示されます。 **[管理者設定] > [Policy Manager]** で、**[Windows 認証を使用]**が選択されている場合、Windows 認証が失敗した場合を除き、**[Policy Manager ログイン]**ダイアログボックスは表示されません。
- 3 各印刷ジョブに前回保存したユーザー名とパスワードを使用する場合、**[次回から表示しない]**をクリックします。選択すると、これ以降、**[Policy Manager ログイン]**ダイアログボックスは表示されません。
- 4 **[ログイン]**をクリックして、ログインユーザー名とパスワードが認証された **KYOCERA Net Policy Manager** スプーラーサーバーに印刷ジョブを送信します。ログインしない場合、**KYOCERA Net Policy Manager** スプーラーサーバーを使用する代わりに、プリントシステムに直接印刷できます。
印刷ジョブは、**KYOCERA Net Policy Manager** または **Client Viewer** の**[スプーラー]**フォルダーに表示されます。
- 5 ジョブが印刷される前に**[印刷オプション]**ダイアログボックスが開き、印刷割り当ての情報を表示します。 **[OK]**をクリックし続行します。
- 6 **KYOCERA Net Policy Manager** スプーラーサーバーに印刷ジョブが送信された後で、**[Policy Manager]**ダイアログボックスが開き、印刷されたページの概要が表示されます。 **Policy Manager** で制限を設定した場合は、印刷制限と印刷される残りのページ数が表示されます。 **[OK]** をクリックします。
- 7 プリントシステムの操作パネルで、ログインユーザー名とパスワードを入力し、指定ログインユーザー名の印刷ジョブをすべて印刷します。 **KYOCERA Net Policy Manager** サーバーの管理するあらゆるプリントシステムからの印刷が可能です。

ユーザー設定

[ユーザー設定] を使用すると、ユーザー名や部署・部門名の指定、デフォルトの単位の選択を行うことができます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

ユーザー登録

[ユーザー登録]では、最大31文字の**[ユーザー名]**と**[部署・部門名]**を使用して、印刷ジョブを識別できます。機種によっては、それらを **[操作パネル]** に表示

したり、**[ユーザー名]** をストレージデバイスに保存されている印刷ジョブの識別に使用することができます。

ユーザー登録情報の設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[ユーザー設定]** で、**[ユーザー名]** テキストボックスにユーザー名を入力します。
- 2 **[部署・部門名]** テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。
[ユーザー名] および **[部署・部門名]** テキストボックスには、最大 31 文字まで入力することができます。
- 3 **[ユーザー設定]** および **[プロパティ]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

単位

単位には、**[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを設定することができます。これは、次の設定に使用されます。

[基本設定] タブの **[原稿サイズ]** ダイアログボックスにある **[カスタム用紙サイズ]** の設定。

[拡張機能] タブの **[ウォーターマークの追加]** および **[ウォーターマークの編集]** ダイアログボックスにある **[間隔]** の設定。

[レイアウト] タブの **[ポスター印刷]** 設定。

[レイアウト] タブまたは **[仕上げ]** タブでの **[とじしろ]** 設定。

[表紙/合紙] タブの **[インデックス紙]** 設定。

単位の選択

- 1 **[デバイス設定]** > **[ユーザー]** で **[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを選択します。
- 2 **[ユーザー設定]** および **[プロパティ]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

PDL (ページ記述言語)

ページ記述言語 (PDL) は、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定します。**[デバイス設定]** で、**[PCL XL]** (Printer Command Language XL)、**[PCL 5e/c]**、**[KPDL]** (京セラページ記述言語)、または **[PDF]** (ポータブルドキュメントフォーマット) から選択できます。PDL として **[PDF]** を追加するには、**[PDF 作成]** プラグインをインストールする必要があります。デフォルトは、一般的に使用されている PDL の **[PCL XL]** に設定されています。一部のカラー機種では、デフォルトの PDL は、**[KPDL]** となります。

PDL を選択すると、**[デバイス設定]** とすべての **[印刷設定]** タブの下のオーバービューの下隅に選択した PDL が表示されます。**[印刷設定]** の任意のタブで PDL を一時的に変更することもできます。

[GDI 互換モード] は、ベクトルグラフィックのラスターライズを行い、ビットマップイメージとして印刷します。**[GDI 互換モード]** を使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックを高品質で出力することができます。

クライアント/サーバー環境で、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用することができません。

使用するアプリケーションで XML Print Specification がサポートされている場合、XPS ドライバーをインストールした後で XPS 印刷を実行できます。XPS ドライバーの場合、選択可能な PDL は **[XPS]** のみです。

PDLオプション

[デバイス設定] タブから開くことのできる **[PDL設定]** ダイアログボックスで指定可能なPDLオプションは次のとおりです。

PCL XL

HP PCLとPCL 6の最新バージョンです。このPDLには、PCL 5e/c の機能が含まれています。PCL XLには、PCLの旧バージョンとの下位互換性はありませんが、次の点においてPCL 5e/c の機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化
- [セキュリティー・ウォーターマーク]** に対応

PCL 5e/c

- PCLの旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- Microsoft Windows のアプリケーションで使用できるフォントの種類の大拡大
- アプリケーション内の PRESCRIBE コマンド利用により多くのオプションが可能
- 複雑なグラフィックの印刷ができない場合があります。
- [Fast 1200] dpi** および、**[フォームギャラリー]** は使用できません。
- [ページのはじめ]** / **[ページの終わり]** は **[プロローグ/エピローグ]** で使用できます。

KPDL

PostScript 2 または 3 がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、KPDLを使用します。

- PostScript 印刷のエミュレーション
- 機種によってはオプションの KPDL アップグレードキットが必要な場合があります。
- グラフィックのレンダリング機能の強化
- 印刷速度は、PCL 5e/c よりも遅くなる場合があります。
- PCL 5e/c よりも大きなプリンターメモリー容量が必要です。
- ネイティブの TrueType フォントのダウンロードが可能です。
- ほとんどの **[グラフィック設定]** オプションをサポートしています。
- [EMF スプール]** は、**[パススルーモード]** が選択されている場合は使用できません。
- [エコプリント]** 機能をサポートしています。機種によって、トナーの節約量を選択できます。

PDF

[PDF作成] は、さまざまな文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できるプラグインです。PDF形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムや、アプリケーションソフトウェアに依存しません。

PDF 文書を作成するための、既存の市販アプリケーションの代用として使用できます。

PDF 形式で保存された文書は、元の文書のレイアウトを保持し、Windows、Mac OS、UNIX プラットフォーム上で無料の Adobe Reader で閲覧および印刷ができます。

PDL として PDF を選択すると、利用できるドライバー機能は限定されません。

PDL 設定

PDL (ページ記述言語) によって、**[詳細設定]** をクリックすることにより、追加設定を行うことができます。

PCL XL 詳細設定または KPD L 詳細設定

[スマート両面印刷]

両面印刷時、片面のみに印刷データがある場合、片面印刷後に用紙を両面印刷ユニットへ送りません。両面印刷ユニットは、1 ページ文書の印刷、複数ページ文書の 1 ページのみの印刷、および複数ページ文書の片面印刷などの印刷ジョブでは使用されません。このオプションを選択すると、印刷時間を短縮できます。一部の機種はこの機能をサポートし、チェックボックスが選択されていなくても、両面印刷ユニットをバイパスします。

PCL XL 詳細設定

[白紙を印刷しない]

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字のみのページの白紙出力を防ぎます。このオプションを選択すると、用紙を節約し、印刷時間を短縮できます。この機能はブックレットや両面印刷、集約ページでは使用できません。

[メディアタイプで自動切換えしない]

このオプションは、選択された給紙元が用紙切れになった場合の、用紙の自動切り替えを制御します。選択すると、サイズおよび種類とも同一の用紙が給紙されるまで印刷が停止します。チェックボックスが選択されていない場合、同一の用紙サイズおよび用紙種類の用紙が給紙されている別の給紙元に自動的に切り替わります。このオプションは、一部のモデルでのみ利用できます。

[印字領域互換]

[印字領域互換] をチェックすると、印刷領域が他社製品の印刷領域と異なる際に、近づけることができます。

KPD L 詳細設定

[パススルーモード]

このオプションは、PostScript 形式のアプリケーションによる複雑なジョブを印刷する際に、エラーを減らすことができます。チェックすると**[拡張機能]** タブの**[EMF スプールを行う]** は使用できません。

PDF の設定

文書を Adobe PDF フォーマットで印刷および保存するオプションを提供します。詳細については、PDF の項を参照してください。

デバイス設定でページ記述言語 (PDL) を選択する

デフォルトのページ記述言語 (PDL) と各種設定を選択できます。**[印刷設定]** 画面の任意のタブで、PDL を一時的に変更することもできます。

- 1 **[デバイス設定] > [PDL]** で、**[PDL設定]** リストから指定するページ記述言語を選択します。
- 2 **[GDI 互換モード]** オプションを選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できます。
- 3 PDLが**[PCL XL]**、**[KPDL]**、または**[PDF]** に設定されている場合、**[詳細設定]** をクリックします。

[PCL XL] を選択すると、**[詳細設定]** をクリックして**[PCL XL 詳細設定]** ダイアログボックスを開き、**[白紙を印刷しない]**、**[スマート両面印刷]**、**[印字領域互換]**、および**[メディアタイプで自動切替えしない]** を選択することができます。

[KPDL] を選択すると、**[詳細設定]** をクリックして、**[KPDL 詳細設定]** ダイアログボックスを開き、**[パススルーモード]** と**[スマート両面印刷]** を選択することができます。ただし、**[パススルーモード]** を選択した場合、**[詳細設定]** タブの**[EMFスプール]** を使用することはできません。

[PDF] の場合、**[詳細設定]** をクリックし、**[PDF の設定]** ダイアログボックスを開きます。
- 4 **[PDL設定]** または **[プロパティ]** ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

PDF

[PDF作成] プラグインは、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できます。この機能は、PDF 文書を作成する場合に、既存の商用アプリケーションの代わりとして利用することができます。PDF 形式で保存された文書は、元の文書の見た目をそのまま保持し、Windows、Mac OS、UNIX のプラットフォーム上で閲覧、印刷することができます。

複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDF のすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。

参考: PDL として選択されたPDFでは、一部のドライバーオプションしか利用できません。

PDFオプション

[PDF作成] プラグインがインストールされている場合、PDF オプションを選択できます。

[PDFの設定] ダイアログボックスには、次のオプションがあります。

PDFの設定

[フォントを埋め込む]

このオプションを使用すると、文書のフォントは PDF ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用するとファイルの見え方を正確に再現することができますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。

[データを圧縮する]

このオプションを使用すると、PDF 文書を圧縮することができます。また、ファイルサイズが大幅に小さくなります。Adobe Acrobatでは、その他の圧縮オプションも使用することができます。

[セキュリティー]

このオプションを使用すると、PDF 文書に暗号化を適用することができます。【セキュリティ】の詳細設定については、【設定】をクリックしてください。詳細については、次のセクションを参照してください。

【ファイルに保存する】

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。【ファイルに保存する】の詳細設定については、【設定】をクリックしてください。

セキュリティ設定

このオプションを使用すると、暗号化レベルを選択し、生成された PDF ファイルに対してパスワードを作成することができます。

使用できるセキュリティオプションは、次のとおりです：

【暗号化】

暗号化によりパスワード保護をかけることができるため、許可されていないユーザーが文書を開いたり、変更することは不可能となります。

【Arc4 40】または【40 ビット】

この暗号化オプションによって、PDF文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 6.0 以降のバージョンに対応します。

【Arc4 128】または【128 ビット】

この暗号化オプションによって、PDF文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 6.0 以降のバージョンに対応します。

【AES 128】

この暗号化オプションによって、PDF文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 7.0 以降のバージョンに対応します。

【AES 256】

この暗号化オプションによって、PDF文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat、およびAdobe Reader 9.0 以降のバージョンに対応します。

【パスワード】

セキュリティ設定を変更したり、文書を開く場合は、パスワードを選択します。パスワードには、最大16文字まで設定することができます。

【セキュリティ設定を変更するためのパスワードを要求する】

【オーナーパスワード】を入力します。Adobe Acrobat では、【ファイル】>【プロパティ】>【セキュリティ】セクションで、文書の制限を変更する際にこのパスワードが必要となります。このパスワード付き文書を Adobe Reader で開いた場合、印刷および編集、コピーができません。

【ドキュメントを開くためのパスワードを要求する】

【ユーザーパスワード】を入力します。PDF文書を開く際は、ユーザーパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、オーナーパスワードとは異なるものに設定しなければなりません。

ファイルへの保存を設定

このオプションを使用すると、文書をPDFファイルとして印刷および保存できます。

【ファイルに保存する】

PDFファイルが作成され、PC に保存されます。

[ファイルに保存+印刷]

PDFファイルがPCに保存され、同時に印刷を行います。

これら2つのオプションのいずれかを選択し、必要に応じて次のオプションも選択できます:

[既定のファイルに自動保存]

PDFは、再使用できるデフォルトファイルとして自動的に保存されます。

次のオプションから選択してください:

[既定のファイルを上書き]

このオプションは、KxPdf.pdfのデフォルト名を持つファイルを置き換えます。

[既定のファイル名 + 日付と時間を使用]

このオプションでは、デフォルトのファイル名を使用し、文書が保存されるたびに日付と時間のタイムスタンプを追加します。

[既定のファイルディレクトリー]

このオプションは、PDFファイルを保存する場所を参照します。

PDF の印刷と保存

[PDF 作成]プラグインをインストールすると、文書を印刷した後で Adobe PDF に保存することができます。

- 1** **[デバイス設定]** > **[PDL]** で、**[PDL 設定]** リストから **[PDF]** を選択します。
- 2** **[詳細設定]** をクリックします。
- 3** **[PDF の設定]** ダイアログボックスで、**[ファイルに保存する]** を選択します。
- 4** **[設定]** をクリックし、印刷と保存オプションから選択します。詳細については、**[PDF オプション]** を参照してください。
- 5** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 6** 文書を開いて印刷します。
- 7** PDF ファイルに名前を付けて、保存します。

XPS ドライバー

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Vista では、XML Paper Specification (**[XPS]**) ページ記述言語によって、他の表示、処理、印刷方法も使用できます。PDL および文書形式として、**[XPS]** は、互換性のあるプリンター機器と Windows Presentation Foundation (WPF) アーキテクチャー向けに書かれたソフトウェアが必要となります。**[PCL]** および **[KPDF]** は、**[XPS]** 環境と互換性がありません。そのため、**[XPS]** ドライバーは、PDL 設定のみを単独でサポートします。**[XPS]** ドライバーは、**[Product Library]** ディスクからインストールできます。**[インストール方法]** メニューで、**[カスタムモード]** をクリックし、**[カスタムインストール]** ページで **[KX XPS ドライバー]** を選択します。

[XPS] 文書のファイルを閲覧するには、Microsoft XPS ビューアーをダウンロードして、インストールする必要があります。

[XPS]ドライバーの使用時には、一部のドライバー機能は使用できません。

互換性設定

[互換性設定]では、給紙元の値を指定したり、フェイスアップ出力時の逆順出力を無効にしたり、アプリケーションの【照合】設定を上書きしたり、【基本設定】タブで【給紙元】および【用紙種類】リストを統合することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を利用することができません。

給紙方法の設定

【給紙方法の設定】は、カセットやフィーダー用の値など、プリンタードライバーに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタードライバーをインストールした場合でも、それがこのドライバー用であるか、他のメーカーのものかに関わらず、交換したドライバーと同じ給紙サポートを維持します。古いドライバーに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

【ドライバー情報】ユーティリティー（\Utility\Driver Info\DrvInfo.exe）を使用して、インストールされているすべてのドライバーの給紙値を比較できます。

プリンタードライバー間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバー間で一致するようにできます。

給紙の設定

- 1 【デバイス設定】>【互換性】で、【給紙方法の設定】リストから給紙方法を選択します。現在の値は、【設定値】ボックスに表示されています。
- 2 【設定値】に値を入力して、【適用】をクリックします。異なるドライバーの設定を同じにするため、この値は他のドライバーの値と揃えておく必要があります。
- 3 【互換性設定】および【プロパティ】ダイアログボックスで、【OK】をクリックします。

【互換性設定】のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、【リセット】をクリックします。

フェイスアップ出力時に逆順出力しない

【フェイスアップ出力時に逆順出力しない】を使用すると、フェイスアップ出力時に1ページ目が一番上に、最終ページが一番下に出力されます。

このチェックボックスをオンにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は無効です。

このチェックボックスをオフにすると、フェイスアップ出力時の逆順印刷は有効です。

フェイスアップ出力時の逆順出力の設定

フェイスアップ印刷の出力順序を逆にすることができます。

- 1 【デバイス設定】>【互換性設定】で、【フェイスアップ出力時に逆順出力しない】を選択します。
- 2 【互換性設定】および【プロパティ】ダイアログボックスで、【OK】をクリックします。

【互換性設定】のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**【リセット】**をクリックします。

ドライバーの部単位設定を優先する

このオプションは、ソフトウェアアプリケーションの**【部単位印刷】**設定を無視し、プリンタードライバーの設定を優先させます。

チェックボックスをオンにすると、プリンタードライバーの**【部単位印刷】**設定が使用されます。

チェックボックスをオフにすると、アプリケーションの**【部単位印刷】**設定が使用されます。

プリンタードライバーの部単位印刷設定の優先選択

- 1 **【デバイス設定】**>**【互換性】**で、**【ドライバーの部単位設定を優先する】**を選択します。
- 2 **【互換性設定】**および**【プロパティ】**ダイアログボックスで、**【OK】**をクリックします。

【互換性設定】のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**【リセット】**をクリックします。

給紙元リストと用紙種類リストを統合する

ドライバーの**【基本設定】**タブを変更して、**【用紙種類】**と**【給紙元】**を**【給紙元】**という名前の1つのリストに統合することができます。統合したリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットと**【手差しトレイ】**が続いて表示されます。

統合された給紙元リストの作成

- 1 **【デバイス設定】**>**【互換性】**で、**【給紙元リストにメディアタイプも表示する】**を選択します。
- 2 **【OK】**をクリックして、**【互換性設定】**と**【プロパティ】**ダイアログを閉じます。

【互換性設定】のすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**【リセット】**をクリックします。

ネットワークポートでの手動両面印刷を有効にする

両面印刷機能を持たない機種で手動両面印刷を使用すると、ネットワークポート経由の印刷ジョブに対して、手動で両面印刷が可能です。**【ネットワークポートでの手動両面印刷を有効にする】**オプションは、プリントシステムがネットワークポート接続されている場合に使用可能です。

プラグインの削除

ドライバーに設定されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバーのインターフェイスにはプラグインの機能は表示されません。

参考: **【Output to PDF】**(PDF 作成)モジュールを削除するには、**【PDL 設定】**ダイアログボックスで**【PDF】**の選択が解除されていなければなりません。

- 1 **[デバイス設定]** で、**[Kyocera]** ロゴ > **[プラグイン]** を順にクリックします。
- 2 リストからプラグインモジュールを選択して、**[削除]** をクリックし、次に**[はい]** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

4 簡単設定

【簡単設定】 タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用することができます。簡単なユーザーインターフェイスですばやくオプションを選択できます。

【簡単設定】 の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。選択できる項目は、プリントシステムのモデル、オプションデバイス、ドライバーのバージョンによって異なります。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの**【印刷】** ダイアログボックスでプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

【簡単設定】 タブを表示するかどうかは、**【インストール】** 処理中、または**【デバイス設定】** > **【管理者設定】** の**【管理者設定】** ダイアログボックスで管理者が設定できます。

簡単設定オプション

【簡単設定】 タブでは、1つまたは複数の印刷オプションを設定できます。**【編集/追加】** では、機能を選択して表示させることができます。よく使う印刷作業を、事前に定義した設定と登録されたプロファイルを選択して印刷を行えます。

印刷の向き

【印刷の向き】 アイコンを繰り返しくクリックすると、印刷方向を縦、横、縦回転、横回転に変更できます。回転オプションは、印刷の向きを 180 度回転させません。

カラー

【カラー】 では、フルカラー印刷または黒色トナーだけの印刷を選択できます。アイコンがカラーで表示されている場合は、ドライバーのすべてのカラー設定が有効になります。**【デバイス設定】** > **【管理者設定】** > **【ロック設定】** で**【白黒モード】** が選択されている場合、カラーは選択できません。

フルカラー印刷と白黒印刷を切り替えるには、**【カラー】** アイコンをクリックします。

部単位印刷

【部単位印刷】 では複数部数印刷で、印刷の順番を指定できます。**【部単位印刷】** をオンにすると、印刷ジョブがプリントシステムに送信された後、ページイメージとしてプリントシステムのメモリーに保存されます。残りのジョブ部数は、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回 PC からプリントシステムに送信することなく、複数部数が印刷できます。

【部単位印刷】 アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。

【部単位印刷 (ソート)】 をオンにすると、ドライバーは 1 冊分を部数分印刷します(123、123)。**【部単位印刷 (ソート)】** をオフにすると、ドライバーは各ページごとに部数分印刷します(111、222)。たとえば、**【部単位印刷】** をオンにし、5

ページの原稿を3部出力する場合、1ページから5ページまで連続して、3回印刷します。

アプリケーションの**【部単位印刷】**設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの**【部単位印刷】**を使用するには、**【デバイス設定】**の**【互換性】**ダイアログボックスで、**【ドライバーの部単位設定を優先する】**のチェックボックスをはずします。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。**【両面印刷】**アイコンを繰り返しくリックし、長辺とじ、短辺とじ、オフに変更できます。プリントシステムには、用紙を裏返すことによって裏面への印刷を可能にする両面ユニットが搭載されています。表紙と合紙の両面に印刷し、ページを挿入するには、**【長辺とじ】**または**【短辺とじ】**を選択する必要があります。

【長辺とじ】

印刷後に用紙の長辺をとじる場合に選択します。

【短辺とじ】

用紙の短辺を綴じて中身を表示する場合に選択してください。

手動両面印刷

一部の機種では、両面印刷ユニットを使用しなくても手動両面印刷を使用して用紙の両面に印刷することができます。片面のジョブを印刷した後、用紙を反転してカセットに戻し、裏面のジョブを印刷することで、両面印刷ができます。**【両面印刷】**アイコンを繰り返しくリックし、長辺とじ、短辺とじ、オフに変更できます。

【簡単印刷】タブの手動両面印刷を使用するには、**【基本設定】**タブの**【給紙元】**を**【カセット 1】**または**【カセット 2】**に設定します。

【長辺とじ】

印刷後に用紙の長辺をとじる場合に選択します。

【短辺とじ】

印刷後に用紙の短辺をとじる場合に選択します。

手動両面印刷の手順を示した説明書シートが、デフォルトで印刷されます。この機能を無効にするには、**【基本設定】**タブの**【手動両面印刷手順を印刷する】**チェックボックスをオフにしてください。

ページ集約

【ページ集約】は、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙1枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、ページサイズと文字サイズが小さくなり、読みやすさは下がります。**【ページ集約】**アイコンを繰り返しくリックし、1枚の用紙に印刷するページ数を2ページ、4ページもしくはオフに変更します。**【レイアウト】**タブから、各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

【ページ集約】が選択されている場合、**【レイアウト】**タブで**【変倍】**、**【全面印刷】**および**【ポスター】**は使用できません。

エコプリント

【エコプリント】は、印刷ジョブ内のテキスト、およびグラフィックを薄い濃度で印刷します。**【エコプリント】**の設定は、印刷速度に影響しません。**【エコプリント】**アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。一部の機種では、**【印刷品質】**タブでさまざまなトナーレベルを選択できます。一部の機種では、PDLとして**【KPD L】**が選択されている場合のみ、エコプリントを使用できます。

ステーブル

【ステーブル】機能を使用すると、文書をステーブルでとじて出力することができます。【ステーブル】アイコンをクリックして、印刷ジョブをステーブルする（【オン】）しない（【オフ】）を変更します。追加のステーブルオプションは【仕上げ】タブで選択できます。

パンチ

【パンチ】機能は、印刷された用紙の端にパンチ穴を開け、バインダーなどでとじられるようにします。【パンチ】アイコンをクリックして、印刷ジョブをパンチする（【オン】）しない（【オフ】）を変更します。パンチの追加機能は【仕上げ】タブで選択できます。

簡単設定の編集

【簡単設定】タブ上部のアイコン群は、最も頻繁に使用する機能をまとめてカスタマイズすることができます。アイコンは0-5個表示できます。【簡単設定】タブで【プロファイル】のオプションだけを使用したい場合、すべてのアイコンをビューから削除できます。

利用可能な機能はプリントシステムの機種によります。【ステーブル】などの機能は【簡単設定】タブに追加されますが、フィニッシャーがインストールされていない場合、アイコンは利用不可表示になります。デバイスがインストールされ、【デバイス設定】で選択され次第、アイコンはアクティブになります。

参考: 管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】から【編集/追加ボタンを隠す】を選択することにより、【編集/追加】ボタンを非表示にすることができます。【編集/追加】ボタンは、アプリケーションの【印刷】メニューからこのタブを開いた場合は表示されません。

簡単設定オプションの編集

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。
 - Windows 8 および Windows Server 2012: 【コントロールパネル】を開き、【デバイスとプリンターの表示】をクリックします。
 - Windows 7 および Windows Server 2008 R2: 【スタート】をクリックし、【デバイスとプリンター】をクリックします。
 - Windows Vista および Windows Server 2008: 【コントロールパネル】をクリックしてから【プリンター】をクリックまたはダブルクリックします。
 - Windows XP および Windows Server 2003: 【スタート】>【プリンターとFAX】をクリックします。
- 2 お使いのプリントシステムのモデルを右クリックし、【印刷設定】をクリックします。
- 3 【簡単設定】タブを選択します。
- 4 【編集/追加】をクリックします。
- 5 【編集/追加】ダイアログボックスでは、次の操作が可能です。
 - 【簡単設定】タブに機能を追加するには、【利用可能な機能】で機能を選択し、右矢印をクリックして【選択した機能】に移動します。【選択した機能】には最大5つの機能を表示できます。

[簡単設定]タブから機能を削除するには、[選択した機能]で機能を選択し、左矢印をクリックして[利用可能な機能]に移動します。[簡単設定]タブで[プリンタープロファイル]のみを使用するには、すべての機能を[利用可能なコントロール]に移動します。

上下矢印をクリックして[選択した機能]での機能の位置を変更します。一番上の機能は[簡単設定]タブでは左側に表示されます。

初期設定にリストを戻すには、[リセット]をクリックします。

- 6 [OK]をクリックして、設定内容を保存します。

プロファイル

プリンタードライバーの設定をプロファイルとして保存できます。[簡単設定]タブと[印刷設定]の各タブで各種設定を行い、それらをプロファイルに保存して、印刷を行う際に一括で適用することができます。プロファイルを使用すると、印刷ジョブごとに各種の印刷設定を繰り返す必要がなく、同一の印刷設定を使う印刷ジョブの実行が簡単になります。[印刷設定]では[名前をつけて保存]と[プロファイル]ボタンが各タブの下部に表示されます。

[初期設定] プロファイルも含めて、1つのドライバーに最大26のプロファイルを作成できます。[デバイス設定]>[管理者設定]で、[初期設定]プロファイルを隠す選択ができます。[デバイス設定]で行った設定は、プロファイルには保存できません。

[初期設定] 以外のプロファイルは、編集、インポート、およびエクスポートすることができます。

プロファイルの選択

簡単設定タブ

- 1 [簡単設定]タブで、プロファイルを選択します。選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 2 [適用]をクリックします。
- 3 [OK]をクリックします。

プロファイルダイアログボックス

- 1 [印刷設定]画面の任意のタブで[プロファイル]をクリックします。
- 2 [プロファイル]ダイアログボックスで、プロファイルを選択します。選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 3 [適用]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックします。

プロファイルの保存

[名前を付けて保存] ボタン

- 1 [印刷設定] を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。

- 2 任意のタブで、**[名前をつけて保存]** をクリックします。
- 3 プロファイルを識別するため、**[名称]** を入力し、**[アイコン]** を選択して、**[コメント]** を入力します。
- 4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。
[プロファイル] ダイアログボックスと **[簡単設定]** タブに新しく追加されたプロファイルが表示されます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**[初期設定]** プロファイルを選択し、**[適用]** をクリックします。選択したプロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルを削除するには、**[プロファイル]** をクリックし、**[プロファイル]** ダイアログボックスを開きます。**[プロファイルの選択]** リストで、プロファイルを選択し、**[削除]** をクリックします。**[初期設定]** プロファイルは削除できません。

[プロファイル] ボタン

- 1 **[印刷設定]** を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2 いずれかのタブで**[プロファイル]** をクリックします。
- 3 **[追加]** をクリックします。
- 4 プロファイルを識別するため、新しいプロファイルの**[名称]** を入力し、**[アイコン]** を選択して、**[コメント]** を入力します。
- 5 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。
新しく追加されたプロファイルが、**[プロファイル]** ダイアログボックスに表示されます。
- 6 **[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**[初期設定]** プロファイルを選択し、**[適用]** をクリックします。選択したプロファイルの設定は消去され、初期設定に戻ります。

プロファイルを削除する場合は、**[プロファイル]** をクリックし、**[プロファイル]** ダイアログボックスを開きます。**[プロファイルの選択]** リストで、プロファイルを選択し、**[削除]** をクリックします。**[初期設定]** プロファイルは削除できません。

プロファイルの編集

- 1 いずれかのタブで**[プロファイル]** をクリックします。
- 2 **[プロファイルの選択]** で編集するプロファイルを選択し、**[編集]** をクリックします。

- 3 **[名称]**、**[アイコン]**、および**[コメント]**のオプションを編集できます。
- 4 **[OK]** をクリックして変更を保存します。
[プロファイル]ダイアログボックスと**[簡単設定]**タブに、新たに追加されたプロファイルが表示されます。
- 5 **[適用]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

- 1 いずれかのタブで**[プロファイル]**>**[インポート]** をクリックします。
- 2 既存プロファイル (.KXP) を選択し、**[開く]** をクリックします。
インポートされたファイルの中に、既存のドライバーでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合はメッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには**[はい]**、インポートをキャンセルするには**[いいえ]** をクリックします。
[はい] をクリックした場合、新たにインポートされたプロファイルが**[プロファイル]** ダイアログボックスと**[簡単設定]** タブに表示されます。
- 3 **[適用]** をクリックして選択されたプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログを閉じます。

プロファイルのエクスポート

- 1 いずれかのタブで**[プロファイル]** をクリックします。
- 2 **[プロファイルの選択]** でエクスポートするプロファイルを選択し、**[エクスポート]** をクリックします。
- 3 **[プロファイルのエクスポート]** ダイアログボックスで、プロファイルに名前を付けて保存します。
- 4 **[OK]** をクリックして**[プロファイル]** ダイアログボックスを閉じます。

アプリケーション別の印刷設定

管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連づけ、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。これによりプロファイルが一層使いやすくなり、一貫したアプリケーションからの印刷が保証されます。たとえば、用紙を節約するために両面印刷プロファイルをすべてのスプレッドシートに適用することや、Microsoft Word によるレポート印刷に対して、同一のステープルや一貫した印刷品質を設定することができます。

[アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックス (**[プロファイル]** ダイアログボックスからアクセスできます) で、いつでもプロファイルとアプリケーションを関連付けることができます。最大 25 のアプリケーション別の印刷設定を作成できます。アプリケーションを使用して印刷するには、**[デバイス設定]**>**[管理者設定]**>**[一般]** で**[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]** をクリックします。

参考: **【アプリケーション別の印刷設定】**は32ビット版オペレーティングシステム用にのみ提供されています。

クライアント/サーバー環境で、クライアントPCのユーザーはサーバー上のアプリケーション印刷設定の詳細を確認できますが、設定の変更や別のプロファイルの選択はできません。

アプリケーション印刷設定の追加

- 1 いずれかのタブで**【プロファイル】**をクリックします。
- 2 **【プロファイル】**ダイアログボックスで、**【アプリケーション】**をクリックします。
- 3 **【アプリケーション別の印刷設定】**ダイアログボックスで**【追加】**をクリックします。
- 4 **【アプリケーション印刷設定の追加】**ダイアログボックスに最大15文字までの設定名称を入力します。
- 5 **【アプリケーションを選択してください】**で、アプリケーションを選択します。
【アプリケーション名】を選択し、リストからインストールされたアプリケーションを選択します。
または、**【ファイル名】**を選択し、PC上にあるファイルの印刷、参照を可能にするアプリケーションの有効な実行可能ファイル名(.EXE)を入力します。
- 6 **【プロファイルを選択してください】**で、リストからプロファイルを選択します。
- 7 **【アプリケーション印刷設定の追加】**と**【アプリケーション別の印刷設定】**ダイアログボックスで**【OK】**をクリックして、アプリケーション印刷設定を確定します。

選択したアプリケーションは、**【削除】**を選択することにより削除できます。

アプリケーション印刷設定の編集

- 1 いずれかのタブで**【プロファイル】**をクリックします。
- 2 **【プロファイル】**ダイアログボックスで、**【アプリケーション】**をクリックします。
- 3 **【アプリケーション別の印刷設定】**ダイアログボックスで、編集するアプリケーション印刷設定を選択し、**【編集】**をクリックします。
- 4 **【アプリケーション印刷設定の編集】**ダイアログボックスで、**【設定名称】**、**【アプリケーションを選択してください】**または**【プロファイルを選択してください】**で設定を変更します。

- 5 **[アプリケーション印刷設定の編集]**と**[アプリケーション別の印刷設定]**ダイアログボックスで**[OK]**をクリックして、変更したアプリケーション印刷設定を保存します。

5 基本設定

【基本設定】 タブでは、よく使うプリンタードライバーの設定を保存できます。(選択内容は、プリントシステムの機種によって異なります。)

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。一部の機種では、この操作により、**【レイアウト】** タブの **【ブックレット印刷】** の選択、および **【仕上げ】** タブの **【ステープル】**、**【パンチ】**、**【振り分け】** の選択も元の設定に戻ります。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスでプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

出力用紙サイズと原稿サイズ

【出力用紙サイズ】 では、文書を出力する用紙のサイズを選択します。この設定を使用する際は、**【原稿サイズ】** の設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。**【出力用紙サイズ】** がアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは **【出力用紙サイズ】** と一致させるために拡大または縮小されます。カッコ内の数値 (%) は、**【原稿サイズ】** に対する **【出力用紙サイズ】** の比率です。**【原稿サイズ】** がアプリケーションで設定されている原稿サイズ(元のサイズ)と一致しないと、ほとんどの場合、**【出力用紙サイズ】** は無視され、文書は元のサイズで印刷されます。

標準サイズ以外の不定形サイズの用紙に印刷することもできます。カスタム用紙サイズとして、任意の**【用紙サイズ】** を **【原稿サイズ】** リストに保存すれば、後で選択できます。

【カスタム用紙サイズ】 は、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**【デバイス設定】** から **【ユーザー設定】** ダイアログボックスにアクセスして、**【単位】** を変更することができます。

カスタム用紙サイズの作成

- 1 **【基本設定】** > **【出力用紙サイズ】** で、**【ユーザー定義】** を選択します。
- 2 **【原稿サイズ】** ダイアログボックスで、**【新規】** をクリックします。
- 3 **【名称】** ボックスに、デフォルトのカスタムサイズ名が表示されます。カスタムページサイズの名前を入力します。
- 4 幅と長さの値を入力するかまたは選択します。幅や長さの値が許可される制限を超えた場合、**【適用】** または **【OK】** をクリック後、値が自動的に制限値に調整されます。
- 5 完了したら、**【適用】** をクリックします。
- 6 **【OK】** をクリックして **【原稿サイズ】** ダイアログボックスを閉じます。

【原稿サイズ】 のリストにカスタム用紙サイズが表示されます。

【原稿サイズ】 ダイアログボックスからカスタム用紙サイズを削除するには、カスタム用紙サイズの名前を選択し、**【削除】** をクリックします。

カスタム用紙サイズを使用して印刷

- 1 カスタムサイズの用紙を **[手差しトレイ]** に入れます。
- 2 **[基本設定]** タブで、**[出力用紙サイズ]** リストのカスタム用紙サイズ名を選択します。
- 3 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

給紙元

[給紙元]では、印刷ジョブに使用するトレイまたはカセットを指定します。デフォルト設定は**[自動選択]**で、プリンターはアプリケーションまたはプリンタードライバから要求されている用紙を検索します。印刷中に選択したトレイまたはカセットが用紙切れとなった場合、プリンターは他の給紙元を選択し、印刷を続行します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒、はがき、加工紙、インデックス紙は、**[手差しトレイ]**から給紙する必要があります。プリントシステムの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく使用されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**[給紙元]**と**[用紙種類]**は異なる項目となっていますが、**[デバイス設定]** > **[互換性]**の**[給紙元リストに用紙種類も表示する]**を使用すると、1項目として設定することができます。この場合、**[基本設定]**タブの**[用紙種類]**は使用せず、**[給紙元]**リストから用紙種類を選択します。

部数

この設定では、印刷する部数を指定します。最大 999 部まで印刷できます。最大 9,999 部まで印刷できる機種もあります。

カーボンコピー

この機能を使用すると、別のトレイやカセットから給紙した用紙に、部数を追加して印刷できます。この機能は、例えば請求書のような文書を異なるカラー用紙または用紙の種類で印刷するとき便利です。カーボンコピーは、最大枚数まで設定して印刷できます。

[拡張機能]タブの**[プロローグ/エピローグ]**機能を使用して、各カーボンコピーにロゴや見出しを追加できます。

[カーボンコピー]が選択されている場合、**[レイアウト]**タブの**[ブックレット]**機能、**[表紙/合紙]**タブにあるすべての機能が使用できません。

カーボンコピーの印刷

別のトレイやカセットから給紙した用紙に、部数を追加して印刷できます。

- 1 **[基本設定]**タブで、給紙元と原稿の印刷部数を選択します。
- 2 カーボンコピーを行うために、各給紙元にカラー用紙などの任意の種類の用紙をセットします。

- 3 **[カーボンコピー]**アイコンをクリックします。
- 4 **[設定]**をクリックします。
- 5 **[カーボンコピー設定]**ダイアログボックスで、各給紙元の印刷部数を選択します。
- 6 各カーボンコピーの**[給紙元]**または**[用紙種類]**、あるいは両方を選択します。
- 7 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 8 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

部単位印刷

[部単位印刷]は複数部数印刷で、印刷の順番を指定します。アイコンをクリックし、オン/オフを変更します。

[オン]を選択すると、印刷ジョブがプリントシステムに送信された後、画像としてプリントシステムのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷します。これにより、部数ごとにデータを複数回 PC からプリントシステムに送信することなく、複数部数が印刷できます。

[オン]を選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分印刷します。**[オフ]**を選択すると、ドライバーは各ページごとに部数分印刷します。たとえば、**[オン]**を選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションの **[部単位印刷]** 設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの **[部単位印刷]** 設定を使用するには、**[デバイス設定]** の **[互換性設定]** ダイアログボックスで、**[ドライバーの部単位設定を優先する]** のチェックボックスをはずします。

[オン (逆順印刷)] または **[オフ (逆順印刷)]** を選択すると、印刷されたページは逆の順番で出力されます。これらのオプションは、**[プリンターの設定]** が **[基本設定]** タブの **[排紙先]** で選択されていない場合に有効です。**[オフ (逆順印刷)]** は、**[デバイス設定]** > **[互換性設定]** で無効にできます。)

文書の部単位印刷

- 1 **[基本設定]** タブで、**[部単位印刷]** アイコンをクリックして、オン/オフを切り替えます。
- 2 **[部数]** ボックスで、印刷ジョブの最終部数を入力するか数字を選択します。文書ページ数は、トレイが収納できる枚数以下であることが必要です。
- 3 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

印刷の向き

この設定では、印刷ジョブの用紙方向を指定します。**[縦]**、**[横]**、**[縦180°回転]**、**[横180°回転]**のいずれかのアイコンをクリックします。回転オプションを選択すると、印刷ジョブの向きが 180 度回転します。

用紙種類

[用紙種類]は、プリンターにアプリケーションまたはプリンタードライバで指定した種類の用紙を選択するよう指示します。選択可能な用紙の種類は、**[給紙元]**の選択によって異なります。一部の機種では、デフォルト設定が**[指定なし]**で、給紙元が用紙切れとなっても他の給紙元に切り替わりません。**[自動選択]**を選択した場合、プリンターは指定と同一の種類とサイズの用紙が給紙されているトレイまたはカセットを選択します。用紙種類の自動選択は、**[PCL XL 詳細設定]**ダイアログボックスで無効にできます。

一部の機種では、プリントシステムからカスタム用紙種類名を表示できます。プリントシステムで名前が変更された場合は、新しい名前がデフォルト名に替わり表示されます。プリントシステム名を表示するには、**[デバイス設定]**の**[自動設定]**を使用します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒、はがき、加工紙、インデックス紙は、**[手差しトレイ]**から給紙する必要があります。プリントシステムの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく使用されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**[給紙元]**と**[用紙種類]**は異なる項目となっていますが、**[デバイス設定]** > **[互換性設定]**の**[給紙元リストに用紙種類も表示する]**を使用すると、1項目として設定することができます。この場合、**[基本設定]**タブの**[用紙種類]**は使用せず、**[給紙元]**リストから用紙種類を選択します。

排紙先

この設定では、印刷ジョブの出力に使用する出力用トレイを指定します。オプションのメールボックスがインストールされている機種では、メールボックスオプションを選択してから、**[メールボックス]**をクリックします。**[メールボックス]**ダイアログボックスで、使用するメールボックスを選択し、**[OK]**をクリックします。

カラー

次の機能が使用できます。

[フルカラー]

このモードは、テキストやグラフィックを4色でフルカラー印刷します。

[白黒]

このモードは、カラー設定を無効にして黒色トナーのみで印刷します。

アイコンをクリックして、**[フルカラー]**と**[白黒]**を変更します。

[フルカラー]と**[白黒]**は、**[簡単設定]**タブと**[印刷品質]**タブにも表示されます。**[簡単設定]**、**[基本設定]**、または**[印刷品質]**タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

エコプリント

[エコプリント]は、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィックス全体を、薄い濃度で印刷します。**[エコプリント]**の設定は、印刷速度に影響しません。アイコンをクリックし、オン/オフを変更します。機種によっては、トナーの節約量を選択できます。

[エコプリント]は、**[簡単設定]**タブと**[印刷品質]**タブにも表示されます。**[簡単設定]**、**[基本設定]**、または**[印刷品質]**タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。アイコンをクリックし、**[長辺とじ]**、**[短辺とじ]**、**[オフ]**に変更できます。両面印刷に必要な、内部で用紙を反転させて印刷する両面ユニットは、機種によって標準またはオプションで搭載されています。表紙と裏表紙の両面に印刷し、ページを挿入するには、**[長辺とじ]**または**[短辺とじ]**を選択する必要があります。

[長辺とじ]

印刷後に用紙の長辺をとじる場合に選択します。

[短辺とじ]

用紙の短辺を綴じて中身を表示する場合に選択してください。

両面印刷モードで印刷

- 1 **[基本設定]**タブで、**[長辺とじ]**または**[短辺とじ]**いずれかのアイコンをクリックします。
- 2 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

手動両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。アイコンをクリックし、**[長辺とじ]**、**[短辺とじ]**、**[オフ]**に変更できます。一部の機種では、両面印刷ユニットを使用しないでも手動両面印刷を使用して用紙の両面に印刷することができます。片面のジョブを印刷した後、用紙を反転してカセットに戻し、裏面のジョブを印刷することで、両面印刷ができます。**[表紙/合紙]**タブのオプション使用時には、手動両面印刷を行うことはできません。

クライアント/サーバー環境では、クライアントはこの機能を利用することができません。

[長辺とじ]

印刷後に用紙の長辺をとじる場合に選択します。

[短辺とじ]

印刷後に用紙の短辺をとじる場合に選択します。

手動両面印刷を行うには:

プリンターをローカルポートに接続してください。ネットワークポートを使用する場合は、**[デバイス設定]**の**[互換性設定]**ダイアログボックスで、**[ネットワークポートで「両面印刷(手動式)」を有効にする]**を選択します。

[給紙元]は、**[カセット 1]**または**[カセット 2]**を選択します。

手動両面印刷での印刷

一部の両面印刷ユニットが装着されていない機種では、手動両面印刷機能を使って両面印刷が可能です。

- 1 **[基本設定]** > **[給紙元]**で、**[カセット 1]**または**[カセット 2]**を選択します。
- 2 **[長辺とじ]**または**[短辺とじ]**のいずれかのアイコンをクリックします。

- 3 **[手動両面印刷の手順を印刷する]**チェックボックスを選択して、説明書シートを印刷します。片面の印刷が終了したら、説明書シートの手順を参照して、再度用紙をカセットに入れてください。
または、**[手動両面印刷の手順を印刷する]**チェックボックスをクリアにし、手順4～6にしたがって、文書を保存します。
- 4 **[印刷設定]**および**[印刷]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。
偶数ページが印刷されます。
- 5 印刷が終了したら、印刷された用紙を出カトレイから取り出します。
[長辺とじ]を選択した場合、長辺側を軸にして用紙を裏返し、カセットに再度入れます。
[短辺とじ]を選択した場合、短辺側を軸にして用紙を裏返し、カセットに再度入れます。
- 6 **[手動両面印刷の手順]**ダイアログボックスで、**[OK]**をクリックします。
奇数ページが印刷されます。

6 レイアウト

【レイアウト】タブの機能を使用すると、元の文書のレイアウトを変更することなく、さまざまなレイアウトで印刷を行うことができます。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

元の設定に戻すには、**【リセット】**をクリックします。一部の機種では、この操作により**【仕上げ】**タブの**【ステープル】**および**【ブックレット (中折り)】**の選択も元の設定に戻ります。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

ページ集約

【ページ集約】は、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙1枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、ページサイズと文字サイズが小さくなり、読みやすさは下がります。**【レイアウト】**タブから、各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

【ページ集約】が選択されている場合、**【変倍】**、**【ポスター印刷】**、**【全面印刷】**は使用できません。

ページ集約印刷

- 1 **【レイアウト】**タブで、**【ページ集約】**アイコンをクリックします。
- 2 **【1 シートのページ数】**リストで、1枚の用紙に印刷するページ数を指定します。
- 3 **【レイアウト (順序)】**リストから、ページを並べる方向を選択します。
- 4 各ページの境界線を印刷するには**【境界線を印刷】**をオンにします。
- 5 **【OK】**をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **【OK】**をクリックして印刷を開始します。

変倍

【変倍】は、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。また、とじしろ設定を選択すると、ステープルや穴あけを行うために、とじしろを拡大することが可能です。

【レイアウト】タブでオプションが選択されている場合、**【変倍】**は使用できません。

ページ内での変倍の設定

- 1 **[レイアウト]** タブで、20～500% の範囲で比率を入力または選択します。
[変倍]は、用紙の長さと同比率で調整します。比率が小さいとページは縮小され、大きいと拡大されます。
- 2 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

とじしろ

[とじしろ]を増やすと、用紙左側および上側のマージン(余白)が拡大されます。[とじしろ]は文書の読みやすさを向上するため、印刷文書をステープルでとじたり、パンチを行う場合に使用します。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます(最大 25.4mm)。

[とじしろの幅]には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。[デバイス設定]からアクセスして、[ユーザー設定]ダイアログボックスの[単位]設定を変更できます。

参考: [とじ指定]対応機種では、[とじしろ]は[仕上げ]タブにあります。

とじしろの作成

- 1 **[レイアウト]** タブで、[とじしろ設定] をクリックします。
- 2 [とじしろの幅] オプションで、5.0から25.4 mm (0.20 から1.00 インチ) の範囲の値を入力するか選択します。
[短辺とじ(上)]
これを選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。
[長辺とじ(左)]
これを選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。

参考: [とじしろ設定] が使用できるかどうかは、[基本設定] タブの [印刷の向き] と [両面印刷] の設定によって異なります。

- 3 文書が用紙の端に寄りすぎる場合は、[ページに合わせて縮小する] を選択してください。文書は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は [ページに合わせて縮小する] をオフにします。
- 4 **[OK]** をクリックしてとじしろの設定を保存して、**[OK]** を続けてクリックして**[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

全面印刷

[全面印刷]は、元の文書よりも大きいサイズ of 用紙に印刷することにより、余白なしのフルページ印刷を可能にします。これにより、用紙の端を切り取るこ

とができます。印刷後に文書を切り取ることで、トナーが文書の端まで完全にカバーしていることが確認できます。小冊子やポスター、その他マーケティング文書の印刷が可能です。この機能を使うと、文書のフォーカスを向上させ、切り取りやズームを行うことにより、本格的な文書を仕上げることが可能です。

トンボ印刷を使用し、文書の端を切り取ることができます。トンボ印刷は、文書の周りを正確かつ均一に切るのに役立ちます。アイコンをクリックして、**[なし]**、**[角トンボ]**、**[枠線]**、**[オフ]**に変更できます。

[なし]

トンボを印刷しない。

[角トンボ]

トンボがページの四角に印刷されるため、左右に線を合わせページを正確に切ることができます。

[枠線]

原稿サイズに合わせて、細くて黒い枠線を作成します。文書の余分な部分をこの枠線に沿って切り取ることができます。

[全面印刷]が選択されている場合、**[レイアウト]**タブのその他の機能と**[仕上げ]**タブ (**[仕分け]**を除く) および**[表紙/合紙]**タブのすべての機能は使用できません。

[全面印刷]が選択されている場合、印刷サイズと用紙サイズの組み合わせに関わらず、**[変倍]**は 100% に固定されます。

[基本設定]タブの**[用紙サイズ]**が原稿サイズより大きいことを確認します。たとえば、**[全面印刷]**が選択されている状態で**[基本設定]**タブで**[出力用紙サイズ]** > **[レター]**、**[原稿サイズ]** > **[Envelope #10]** を選択している場合、印刷後に切り取る空白スペースができます。

全面印刷での印刷

用紙の端に印刷できます。

- 1 **[レイアウト]** タブの **[全面印刷]** で、アイコンをクリックし、**[なし]**、**[角トンボ]**、**[枠線]** のいずれかを選択します。
- 2 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ポスター印刷

[ポスター印刷]機能を使用すると、プリントシステムで印刷可能な用紙サイズより大きなサイズの文書を印刷できます。元の大きさの最大 25 倍までの大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

[ポスター印刷]が選択されている場合、**[レイアウト]**タブの他のオプションは選択できません。

[分割ページ数]を使用して、元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。機種によっては、**[分割ページ数]**ではなく、**[ページ集約]**と表示されます。

[分割ページ数]には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]**からアクセスして、**[ユーザー設定]**ダイアログボックスの**[単位]**設定を変更できます。

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるのを見るには、ポスター設定を選択後、**[印刷条件]**を選択してテスト印刷を行います。

[ポスター印刷]

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

[テスト印刷]

すべてのポスターページを1枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるのが表示します。

[ポスター印刷 + テスト印刷]

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター印刷) と1枚のテスト印刷の両方が実行されます。

[ポスター設定]を使用して、ポスターの作成に最も便利のように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやページのつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

[のりしろ幅]

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を0.0から30.4 mm (0.00から1.20インチ)の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが少し小さくなります。

[枠線を印刷]

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落としてください。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

[つなぎ目の番号を印刷]

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙と用紙を番号であわせませす。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

ポスター印刷

ポスターを印刷できます。

- 1** **[レイアウト]** タブで、**[ポスター]** アイコンをクリックします。
- 2** **[分割ページ数]** でポスターのサイズを選択します。各オプションには仕上がりを1枚の用紙に収めるため分割する枚数が記されています。
- 3** **[印刷条件]** では、仕上がり印刷条件のオプションを1つ選択します。
- 4** **[ポスター設定]** をクリックして、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションによって、ポスターを作成するためのより詳細な設定が行えます。
- 5** **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6** **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ブックレット

【ブックレット印刷】機能を使うと、1枚の用紙に2ページのレイアウトで両面印刷を行うことができます。ブックレットは、用紙の中央で2つに折りたたんでとじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。

【ブックレット設定】ダイアログボックスで他のブックレット印刷のオプションを使用できます。

【レイアウト】では、ブックレット印刷の設定を作成する方法を選択できます。

【ドライバー側で作成】

ページの順序や1シートのページ数の設定にドライバーを使用します。アプリケーションでブックレット印刷のレイアウトが作成されていない場合にこのオプションを選択します。

【アプリケーション側で作成】

ページの順序や1シートのページ数の設定にアプリケーションを使用します。アプリケーションでブックレット印刷のレイアウトが作成されている場合、このオプションを選択します。

一部の機種では、**【ステープル詳細設定】**で、ステープルまたはブックレット(中折り)を選択できます。中折りユニットが装備されている場合、このオプションを使用できます。

【なし】

ステープルまたは中折りせずにブックレット印刷します。

【中とじ】

ブックレットを印刷し、ステープル、中折りします。

【ブックレット印刷】を選択した場合は、**【レイアウト】**タブの他のオプションは選択できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、**【表紙/合紙】**タブで、**【表紙付け】**を選択します。

ブックレット印刷

文書をブックレットとして印刷できます。

- 1** **【レイアウト】**タブで、とじオプションを選択してアイコンをクリックします。
 - 【左とじ】**
左から右に読む文書を印刷する場合に選択します。
 - 【右とじ】**
右から左に読む文書を印刷する場合に選択します。
- 2** 追加オプションを設定するには、**【ブックレット設定】**をクリックします。
- 3** **【ブックレット設定】**ダイアログボックスで、使用できる**【レイアウト】**と**【ステープル設定】**オプションから選択し、**【OK】**をクリックします。
- 4** **【OK】**をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。
- 5** **【OK】**をクリックして印刷を開始します。

7 仕上げ

【仕上げ】 タブでは、パンチやステープルなどの仕上げ機能を指定できます。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。これにより、**【基本設定】** タブの **【排紙先】** と **【レイアウト】** タブの **【ブックレット印刷】** も元に戻ります。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

仕分け

【仕分け】 機能は、印刷出力された複数ジョブを、他と仕分けできるように積み重ねて排紙します。(選択内容は、プリントシステムの機種によって異なります。)

参考: **【ステープル】** は **【仕分け】** 機能と同時に使用できません。

【振り分け】 アイコンをクリックすると、印刷された文書を物理的に一部ごとにずれて排紙トレイ上に排紙されます。振り分けを効果的に使用するために、同じプリントシステムを使用するすべてのユーザーは、**【振り分け】** をデフォルト設定として選択しておく必要があります。

【回転ソート】 アイコンをクリックすると、印刷ジョブが一部ごとに 90 度回転された状態で印刷されます。

振り分け

【振り分け】 機能は、印刷された文書を排紙トレイ上で一部ごとに互い違いにずらして出力します。

振り分けを効果的に使用するために、同じプリントシステムを使用するすべてのユーザーは、**【振り分け】** をデフォルト設定として選択しておく必要があります。

【振り分け】 機能を使用するには、**【デバイス設定】** の **【使用できるオプション】** でフィニッシャーを選択しておく必要があります。**【ステープル】** や **【とじ指定】** 機能とは併用できません。

振り分け

印刷ジョブの振り分けは、印刷された文書を排紙トレイ上で 1 部ごとに互い違いにずらして出力できます。

- 1 **【仕上げ】** > **【仕分け】** で、**【振り分け】** アイコンをクリックします。
- 2 **【OK】** をクリックして **【印刷】** ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **【OK】** をクリックして印刷を開始します。

回転ソート

【回転ソート】は、印刷出力を一部ごと 90 度回転した状態で出力トレイに出力します。

この機能を使用するには、次の点に注意してください。

用紙サイズは、**【Letter】**、**【A4】**、**【16K】**、または**【B5 (JIS)】**に限定されます。

選択した用紙サイズは 2 つの給紙元から、それぞれ縦向きおよび横向きで給紙される必要があります。

印刷される文書は複数のページを含んでおり、また複数の部数が指定されることが必要です。

参考: 一部の機種では、ストレージデバイスを装着する必要があります。

回転ソート

回転ソート機能は、印刷された文書を 90 度回転した状態で出力トレイに出力します。

- 1 **【基本設定】** > **【排紙先】**で、**【プリンターの設定】**など (フィニッシュートレイ以外の出力先) を選択します。
- 2 印刷部数を 1 部以上設定します。
- 3 **【仕上げ】** > **【仕分け】**で、**【回転ソート】**アイコンをクリックします。
- 4 **【OK】** をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **【OK】** をクリックして印刷を開始します。

3つ折り

【3つ折り】機能は、カタログやパンフレットのような3つ折りの文書を作成できます。用紙サイズは、A4 および Letter の用紙が使用できます。用紙の内側に印刷するか、外側に印刷するかを選択できます。折り方を選択できます。出力されるページ数の選択もできます。

中折りトレイを装着している場合に、この機能を使用できます。

3つ折り印刷

- 1 **【基本設定】** タブの **【排紙先】** で、**【プリンターの設定】** または **【中折りトレイ】** を選択します。
- 2 **【仕上げ】** タブで、**【3つ折り】**アイコンをクリックします。
- 3 **【印刷面】**で、2 つのオプションのいずれかを選択します。
 - 【内側】**
折った用紙の内側に印刷するオプションです。
 - 【外側】**
折った用紙の外側に印刷するオプションです。

- 4 **[折り方]**で、使用可能なオプションから選択します。
 - [左→右 / 上→下]**

このオプションを選択すると、ポートレート原稿では上側を先に折り、次に下側を折ります。ランドスケープ原稿では左側を先に折り、次に右側を折ります。
 - [右→左 / 下→上]**

このオプションを選択すると、ポートレート原稿では下側を先に折り、次に上側を折ります。ランドスケープ原稿では右側を先に折り、次に左側を折ります。
- 5 **[折りの枚数]**で、3つ折りする枚数 (最大 5 枚まで) を入力または選択してください。
- 6 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 7 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

2つ折り

[2つ折り]機能は、カタログやパンフレットのような2つ折りの文書を作成できます。用紙サイズは、Letter、Legal、Ledger、A3、A4、B4、Oficio II、8Kの用紙が使用できます。用紙の外側に印刷されます。出力されるページ数の選択もできます。

中折りトレイを装着している場合に、この機能を使用できます。

2つ折り印刷

- 1 **[基本設定]** タブの **[排紙先]** で、**[プリンターの設定]** または **[中折りトレイ]** を選択します。
- 2 **[仕上げ]** タブで、**[2つ折り]** アイコンをクリックします。
- 3 **[折りの枚数]** で、2つ折りする枚数 (最大 5 枚まで) を入力または選択してください。
- 4 **[OK]** をクリックして**[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

とじ指定

[とじ指定]は、同一文書に異なる用紙サイズが含まれる場合、同じ長さの辺をそろえて綴じる機能です。たとえば、A4 ページの長辺を A3 ページの短辺に揃えたり、Letter サイズページの短辺を Legal サイズページの短辺に揃えたりします。**[とじ指定]**は、ステープル機能またはパンチ機能と同時に使用可能です。

文書のステープルの位置は、混在した用紙サイズによって決まります。また、**[とじ指定]**を使用しないで混在した用紙サイズの文書を印刷すると、ステープルの位置は給紙カセットの用紙サイズの設定(縦または横)によって決まります。

[とじ指定]は、[仕上げ]タブの他のどの機能よりも先に選択しておく必要があります。[とじ指定]を最後に指定すると、[ステープル]または[パンチ]で行った設定が変更されてしまう可能性があります。

[とじ指定]を指定することによって、[振り分け]や[回転]機能は使用できなくなります。[とじ指定]は、[ポスター]機能とは併用できません。

とじ指定の組み合わせ

[とじ指定]は、次の用紙サイズの組み合わせで使用できます。

[A4]と[A3] (210 x 297 mm と297 x 420 mm)

[B5 (JIS)] と [B4] (182 x 257 mm と257 x 364 mm)

[Letter] と [Legal] (8.5 x 11 インチと 8.5 x 14 インチ)

[Letter] と [Ledger] (8.5 x 11 インチと 11 x 17 インチ)

[16K] と [8K] (197 x 273 mm および 273 x 394 mm) [一部の機種で利用可]

とじ指定の位置

使用可能なオプションから、仕上げのページのとじ方法を指定できます。その他の位置を選ぶには、[ユーザー定義]を選択します。使用可能なオプションは、[出力用紙サイズ]、[印刷の向き]、[中とじ]、[ページ集約]の設定によって異なります。

[とじ指定]と一緒に[ステープル]と[パンチ]の位置が選択されている場合、下のオーバービューに、現在選択されている位置が青い線で強調表示されたページ画像が表示されます。[ステープル]オプションが使用されている場合、選択した[とじ指定]によってステープルの位置が決まります。この画像を使用して、選択した[とじ指定]および[ステープル]の位置を確認できます。

カスタムとじ方向設定

[カスタムとじ方向設定]ダイアログボックスの図は、ページ揃えを視覚的に確認するのに便利です。用紙を揃える場合にもっとも適した設定を選択してください。

[とじ方向]リストで、[ユーザー定義]を選択します。[カスタムとじ方向設定]ダイアログボックスで、いずれかの設定を選択します。

[カスタムとじ方向設定]ダイアログボックスでは、次のようになっています。

一番上の2つの設定 (A4/Letter) は、ページ指定のサイズが小さい用紙向けです。

次の2つの設定 (A3/Legal/Ledger) は、ページ指定のサイズが大きい用紙向けです。

[カスタムとじ方向設定]の設定を変更すると、変更による互換性を保つため他の選択も調整されることに注意してください。

とじ指定の設定

とじ指定は、文書に含まれる異なる2つのページサイズの端を揃えます。

- 1 [基本設定]タブで、[出力用紙サイズ]と[原稿サイズ]を同じ設定にします。
- 2 [基本設定] > [給紙元]から、[自動選択]を選択します。
- 3 [仕上げ]タブで、[とじ指定]アイコンをクリックします。

- 4 **【とじ方向】**リストで、使用可能なオプションを選択するか、**【ユーザー定義】**を選択します。印刷の位置は、**【基本設定】**タブの**【出力用紙サイズ】**が基本になります。
- 5 すべてのドライバーのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。
- 6 各用紙サイズの内紙を、それぞれの給紙カセットにセットします。たとえば、縦の長さが297 mmの場合は、A4およびA3サイズの内紙、8.5インチの場合はLetterおよびLegalサイズの内紙を使用できます。
- 7 アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。
プリントシステムで使用できない原稿サイズまたは方向(短辺とじまたは長辺とじ)が指定された場合、プリントシステムの操作パネルに、正しい方向で適切なサイズの内紙をセットするようメッセージが表示されます。

とじしろ

【とじしろ】を増やすと、用紙左側および上側のマージン(余白)が拡大されます。**【とじしろ】**は文書の読みやすさを向上するため、印刷文書をステープルでとじたり、パンチを行う場合に使用します。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます(最大 25.4mm)。

【とじしろの幅】には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**【デバイス設定】**からアクセスして、**【ユーザー設定】**ダイアログボックスの**【単位】**設定を変更できます。

参考: **【とじ指定】**非対応の機種の場合、**【とじしろ】**は**【レイアウト】**タブにあります。

とじしろの作成

とじしろは、用紙の左側または上部に追加の余白を作成します。

- 1 **【仕上げ】**タブで**【とじしろ設定】**を選択します。
- 2 **【とじしろの幅】**に、5.0 から 25.4mm (0.20 から 1.00 インチ) の範囲で値を入力または値を選択します。
 - 【短辺とじ(上)】**
これを選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。
 - 【長辺とじ(左)】**
これを選択すると、ページ左側の外側マージンを変更できます。

参考: **【とじしろ設定】**で指定できる設定は、**【とじ指定】**の設定や**【基本設定】**タブの**【印刷の向き】**と**【両面印刷】**の設定によって異なります。

- 3 印刷が用紙の端に寄りすぎる場合は、**【ページに合わせて縮小する】**を選択してください。文書は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。とじしろを増やしても文書がページに収まる場合は、**【ページに合わせて縮小する】**をオフにします。
- 4 **【OK】**をクリックしてとじしろの設定を保存し、もう一度**【OK】**をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。

- 5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

ステープル

[ステープル]機能を使用すると、文書をステープルでとじて出力することができます。**[デバイス設定]**>**[デバイスオプション]**で、出力先にフィニッシャーを選択します。**[ステープル]**機能を選択すると、**[仕分け]**および**[OHP合紙]**は使用できません。ステープル可能な最大枚数は、フィニッシャーの型式および選択された**[原稿サイズ]**または**[用紙種類]**によって異なります。**[とじしろ]**は、ステープルの位置に応じて上および左マージンを増やします。

[ステープル]は**[仕分け]**機能と同時に使用することはできません。

[基本設定]タブで**[排紙先]**として**[プリンターの設定]**が指定されている場合、**[仕上げ]**タブのオプションを選択すると、排紙先は仕上げオプションと互換性を保つため、自動選択となります。排紙先は、選択された仕上げオプションをサポートする、最初に使用可能な出力トレイに自動的に変更されます。

[ステープル]は**[排紙先]**を自動的に選択します。**[仕上げ]**オプションが変更されても、**[排紙先]**の選択には影響はありません。

[とじ指定]の選択は、**[仕上げ]**タブで機能を選択する前に行ってください。**[とじ指定]**を最後に指定すると、**[ステープル]**で行った設定が変更される可能性があります。

文書のステープル

フィニッシャーがインストールされている場合、文書をステープルでとじて出力することが可能です。

- 1 **[仕上げ]** タブで、**[ステープル]** アイコンをクリックします。
- 2 使用可能なオプションから位置を選択します。一部の機種では、文書に応じてステープルの位置を指定できる**[とじ指定]**での設定によって、位置のオプションが異なります。
中折りユニットがインストールされている場合に**[レイアウト]**タブで**[ブックレット]**が選択されると、**[ブックレット (中とじ)]**が自動的に選択されます。文書がブックレット形式で印刷され、中折りされ、さらにステープルで2箇所がとじられます。
- 3 ステープルする部数の設定
一部の機種では、ステープルするページ数を選択する場合は**[ステープルカウント]**を選択し、全ページをステープルする場合は**[すべて]**を選択します。
一部の機種では、タブ内に表示されている最大枚数まで選択する場合は**[全ページ]**を選択し、2から最大枚数までを選択する場合は**[分割]**を選択します。
- 4 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

パンチ

【パンチ】機能は、印刷した用紙の端にパンチ穴を開け、バインダーなどで綴じられるようにします。

【パンチ】は、【デバイス設定】の【使用できるオプション】で、【パンチ】機能をサポートするオプションフィニッシャーが選択されている場合に有効です。【使用できるオプション】の一覧に青色で表示されているフィニッシャーのチェックボックスをオンにすると、【パンチユニット設定】ダイアログボックスが表示されます。デバイスのリストがすでにオンになっている場合、オプションをダブルクリックすると、【パンチユニット設定】ダイアログボックスが表示されます。

【パンチ】は、【レイアウト】タブで【ブックレット】がオンになっている場合は使用できません。

【とじ指定】の選択は、【仕上げ】タブで他の機能を選択する前に行ってください。【とじ指定】を最後に指定すると、その前に【パンチ】で行った設定が変更される可能性があります。

印刷ジョブの実行時にパンチ穴をあける

フィニッシャーが【パンチ】機能をサポートしている必要があります。

使用可能なパンチオプションは、【デバイス設定】にあります。オプションは、デバイスにインストールされたパンチユニットや選択されたパンチユニットによって異なります。

- 1 【仕上げ】タブで、アイコンをクリックし、【オフ】を選択するか、パンチ穴の数を選択します。
 - 【2穴】(センチ仕様)
 - 【3穴】(インチ仕様)
 - 【4穴】(インチ仕様/センチ仕様)
- 2 機種によっては、【設定】をクリックし、パンチの位置設定を【左】、【右】、または【上】から選択します。
- 3 【OK】をクリックして【印刷】ダイアログボックスに戻ります。
- 4 【OK】をクリックして印刷を開始します。

8 印刷品質

【印刷品質】 タブで、印刷の品質、カラー設定、およびグレースケール設定を管理できます。(選択内容は、プリントシステムの機種によって異なります。)

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスでプリンタードライバースにアクセスした場合に表示されます。

印刷品質とカスタム品質

【印刷品質】 では、印刷ジョブの解像度を設定できます。解像度とは、印刷されるテキストや画像の画質や鮮明度を、1 インチあたりのドット数 (dpi) で表わしたものです。**【カスタム品質】** では、より精度の高い解像度を印刷ジョブに設定できます。(選択できる項目は、インストールしたプリントシステムによって異なります。)

使用できる **【印刷品質】** オプションは、次のとおりです。

【高品質】

プリントシステムの最高の解像度を使用します。

【標準】

プリントシステムの 2 番目に高い解像度を使用します このオプションは PCL 5e/c PDL (ページ記述言語) では使用できません。

【エコプリント】

【エコプリント】 で印刷します。

【ユーザー定義】

【解像度】 と **【KIR (スムージング)】** の設定を組み合わせで選択します。**【ユーザー定義】** を選択し、**【カスタム品質の設定】** ダイアログボックスを開きます。

【カスタム品質】

使用できる **【カスタム品質】** 機能は、次のとおりです。

【解像度】

【解像度】 は、**【Fine 1200】**、**【Fast 1200】** (PCL 5e/c ページ記述言語では使用不可)、**【600 dpi】**、または **【300 dpi】** に設定できます。(選択できる項目は、インストールしたプリントシステムによって異なります。)

【KIR (スムージング)】

【KIR (スムージング)】 は、テキストおよびベクトルグラフィックの輪郭を滑らかにする機能で、**【オン】** または **【オフ】** に設定できます。

印刷品質の選択

印刷品質の選択を行います。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

- 1 **【印刷品質】** > **【印刷品質】** で、印刷品質を一覧から選択します。

- 2 **[印刷品質]**リストで**[ユーザー定義]**を選択し、ユーザーオプションから選択します。

カラー機種では、**[エコプリント]**または**[光沢モード]**を選択します。**[エコプリント]**と**[光沢モード]**は同時に使用できません。

モノクロ機種では、**[ユーザー定義]**を選択し、**[カスタム品質の設定]**ダイアログボックスを開き、選択できる**[解像度]**と**[KIR (スムージング)]**オプションから選択します。

エッジ調整

カラー印刷では、カラーインクやトナーは同一ページに各色ごとに別々に印刷されます。カラー画像は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色に分解された領域から構成されます。高品質のカラー画像を生成するためには、これらの色分解された領域を厳密に配置する(レジストレーションと言います)ことが必要です。印刷中に用紙が給紙される際、わずかに位置がずれる場合があります。ごくわずかな位置ずれであっても、カラー画像では目に見える色ずれとなって現れる場合があります。カラーエッジ調整を行うと、各色領域の境界を微細に重ね合わせることで、この色ずれを補正することができます。

参考: **[デバイス設定] > [PDL] > [PDL の選択]** で、**[PCL 5c]** が選択されている場合、エッジ調整は使用できません。

エッジ調整値の設定

エッジ調整は、色ずれを目立たなくするために、色のエッジ(境界)を微細に重ね合わせます。

- 1 **[印刷品質] > [エッジ調整]**で、色を重ね合わせる幅を画素数(ピクセル)で選択します。
 - [低]**、0.5 ピクセルエッジ調整
 - [中間]**、1.0 ピクセルエッジ調整
 - [高]**、1.5 ピクセルエッジ調整
 - [最大]**、2.0 ピクセルエッジ調整
- 2 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

フォント

フォントは、書体デザインと同じ文字や記号などの一そろいを含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能のため)ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

ビットマップフォントは、各文字をピクセル(画像を構成する最小単位のドット)の組み合わせで表現するフォントです。ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

ネイティブフォントは、PC のオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

TrueType フォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの 1 つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されて来た汎用的なフォント形式です。

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインターフェイス、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォントは、プリントシステムメモリーに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定

[フォント詳細設定] ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリントシステムへの送信方法を選択します。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

[TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード]

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントシステムに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

[Type42 フォント送信モード]

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、[PDL 設定] ダイアログボックスで [KPDL] が選択されている場合に使用可能です。

[TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード]

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になりますが、ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザー定義フォント、非常に小さいフォント（ポイントサイズ 1-4）、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

[プリンターフォントに代替える]

書体名に基づいてシステムフォントとプリンターフォントが自動的にマッチングされます。このファンクションは印刷速度と効率を上げます。これは、大きなドキュメント全体に使われているフォントを一括して変えるのに便利です。

参考: [GDI 互換モード] は [プリンターフォントに代替える] をサポートしていません。

フォント詳細設定の選択

TrueType フォントのプリントシステムへの送信方法を特定できます。

- 1 [印刷品質] > [フォント詳細設定] で、いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択します。
- 2 [OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。
- 3 [OK] をクリックして印刷を開始します。

フォントの代替

フォントの代替は、プリントシステムで目的のフォントが使用できない場合に代わりのフォントを使用する機能です。フォントの代替は、多数のフォントに対応していないプリントシステムに文書を出力する際に重要な機能です。代替には標準 PostScript フォントを使用できます。

フォント代替の設定

- 1 フォントの代替を設定するには、印刷ジョブを作成しているアプリケーションではなく、**[印刷設定]**を開く必要があります。オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]**を開き、**[デバイスとプリンターの表示]**をクリックします。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2 : **[スタート]**をクリックし、**[デバイスとプリンター]**をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[コントロールパネル]**をクリックしてから**[プリンター]**をクリックまたはダブルクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **[スタート]> [プリンターとFAX]**をクリックします。

- 2 目的のプリントシステムの機種を右クリックし、**[印刷設定]**をクリックします。
- 3 **[印刷品質]> [フォント詳細設定]**で**[プリンターフォントに代替する]**を選択してから**[フォントの代替]**をクリックします。

[フォントの代替]ダイアログボックスの**[システムフォント]**リストには PC にインストールされているフォントが表示されます。**[使用可能プリンターフォント]**リストには、プリントシステムのフォントが表示されます。

- 4 システムフォントを選択し、それに代替するプリンターフォントを選択します。
- 5 **[リセット]**をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

- 6 **[OK]**をクリックして、設定内容を保存します。

システムフォントと類似するフォントがプリンターフォントに存在しない場合、文書内の文字間隔などが正しく表示されない場合があります。

プリンターフォントを使用しない

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントシステムフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プリントシステムのフォントと代替えしないようにするには、**[プリンターフォントを使用しない]**を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。(このオプションをオフにすると、異なるプリントシステムに送信した場合、プリンターフォントは一致しません。)

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンターフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、**[プリンターフォントを使用しない]**を選択します。プリンターフォントは、PC側に同等のTrueType フォント (TrueType アイコンで表示) が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名のとなりにプリンターアイコンが表示されて区別されます。

プリンターフォントを使用しない

TrueType フォントを、プリントシステムのフォントと代替えしないようにすることができます。

- 1 **[印刷品質]** > **[フォント詳細設定]** で、**[プリンターフォントを使用しない]** チェックボックスを選択します。
- 2 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。

半速モード

[半速モード] を使用すると、印刷速度を通常の約半分に落として印刷します。厚手の用紙や、表面の平滑性が低い用紙へ印刷する際、トナーの定着性が向上します。このモードでは印刷中の音を低減できる場合があります。

この機能を有効にするには、**[印刷品質]** タブで、**[半速モード]** チェックボックスを選択します。

参考: **[半速モード]** は、**[OHPフィルム]** と **[薄紙]** を除くあらゆる印刷媒体(用紙)に適用できます。

グラフィック

グラフィックは、情報を画像で表したものです。グラフィックを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示したり、あるいは描画や写真などのアートを表示できます。**[グラフィック詳細設定]** では、選択したページ記述言語で決定したオプションを使って、印刷したグラフィックスの視覚的な結果を調整することができます。(選択内容は、プリントシステムの機種によって異なります。)

パターンスケーリング

[パターンスケーリング] は、印刷対象がモニター上で表示される画質と実際に印刷出力された時の画質を、極力一致させるための機能です。図形やパスなどのグラフィックのオブジェクトには、ドットで構成されるパターンや塗りつぶし(フィル)オブジェクトが含まれます。パターンとは色や図形、線、値、背景地の規則的あるいは不規則的な反復で、視覚的な配列を作り出すものです。フィルとは、色または階調によってグラフィックオブジェクトを塗りつぶすものです。印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、**[パターンスケーリング]** を使用して、他のドット密度を使用してみてください。

[印刷品質] > **[グラフィック詳細設定]** で、**[パターンスケーリング]** 設定を選択します。

[自動] (デフォルト設定)

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

[粗い]

この設定は、パターンやフィルを最も少ない数の線、パターン、またはドットで印刷します。**[粗い]** は、**[デバイス設定]** > **[PDL]** > **[PDLの選択]** で、**[PCL XL]** または **[PCL 5e/c]** が選択されている場合は、**[自動]** と同じです。

[中間]

この設定は、線数やパターン、およびドット数を、**[粗い]** の場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。**[中間]** は、**[デバイス設定]** >

[PDL] > **[PDL の選択]** で、**[KPDL]** が選択されている場合は、**[自動]**と同じです。

[精細]

この設定は、最大の線数、パターン、またはドット数で印刷します。印刷されたパターンは、画面表示より濃くなる場合があります。

細線化

[細線化] は、線を描画する際のペン幅を調整する機能です。アプリケーションで設定された線の太さは変更できません。

[印刷品質] > **[グラフィック詳細設定]** で、細線化設定を選択します。**[PDL 設定]** ダイアログボックスで、**[PCL XL]** が選択されている場合、細線化機能を使用できます。**[PDL 設定]** ダイアログボックスで、**[GDI 互換モード]** が選択されている場合、細線化機能は使用できません。

[オフ] (デフォルト設定)

細線化は適用されません。

[バーコード]

この設定は、縦線と横線のペン幅を調整します。バーコードの読み取りやすさが向上します。

[細線のみ]

この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を調整します。

[すべての線]

バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を 1 ドット減らします。例えば、5 ドット → 4 ドットになります。

[デバイスで細線を補正する]

デバイス側でのペン幅補正を有効にします。この機能はサポートモデルでのみ使用可能です。

ハーフトーンスクリーン

一部のカラーモデルでは、**[ハーフトーンスクリーン]** が **[グラフィック詳細設定]** ダイアログボックスの上部に表示されます。この機能は、画像、線、文字の印刷品質を向上します。ハーフトーンは、連続階調の画像に特別なパターンのドットを覆い被せることで、画像の見た目を向上します。**[PDL 設定]** ダイアログボックスで **[PDF]** が選択されている場合、この機能は利用不可です。

一部の白黒モデルでは、**[ハーフトーンスクリーン]** が **[グラフィック詳細設定]** ダイアログボックスの下部に表示されます。この機能では、上級ユーザーは、写真にみられるような異なるグレイの色合いを印刷できます。この色合いは、さまざまなサイズと形状のドットの印刷、およびそれらの間隔の密度を調節することで生成されます。さらに、この色合いは、データの列数、列の角度、およびデータの形状によって調節できます。この機能は、**[PDL 設定]** ダイアログボックスで **[KPDL]** が選択されている場合に使用可能です。これは、**[PDL 設定]** ダイアログボックスで **[GDI 互換モード]** が選択されている場合には使用できません。

ハーフトーンスクリーンの設定

[ハーフトーンスクリーン] は、カラーモデルと白黒モデルの様々なバージョンで利用可能です。

カラーモデル

- 1 **[印刷品質]** > **[グラフィック詳細設定]** で、**[ハーフトーンスクリーン]** をクリックし、以下のオプションから選択します。

【標準】

一般的なドキュメントの印刷に使用します。ほとんどのタイプのドキュメントに推奨します。

【階調優先】

スムーズで連続の色またはグレーの階調のあるドキュメントの印刷に使用します。

【解像度優先】

くっきりした線や文字のあるドキュメントの印刷に使用します。

【高精細】

細線や小さい文字のあるドキュメントの印刷に使用します。

2 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。

3 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

白黒モデル

1 **[印刷品質]** > **[グラフィックス詳細設定]**で、**[ハーフトーンスクリーン]**を選択します。

2 **[プリンターの初期値を使う]**チェックボックスをオフにします。

3 利用可能な以下のオプションを任意の値に設定します。

【インク】

ハーフトーンスクリーンで利用可能なインクが表示されます。白黒印刷のプリンターでは、このオプションはグレー表示され選択できず、常に**[白黒]**に設定されています。

【線数】

インチまたはセンチメートルごとのドットの行数が表示されます。2.0 ~ 999.9 の範囲で設定し、**[lines/inch]** または **[lines/cm]** を選択します。

【角度】

文字列が整列される角度を設定します。-180 ~ 180 度の範囲で設定します。

【網点形状】

以下から、ハーフトーンドットの形状を選択します。

【楕円】

視覚上の急転に耐性があります。視覚上の急転は、イメージの領域が突然暗くなる場合に発生します。楕円の形状によって、滑らかなトーンのグラデーションが実現します。暗い領域のあるイメージには、**[楕円]** を選択します。

【円】

モアレ構造とドットゲインに耐性があります。モアレ構造とは、2つ以上の色が誤った角度で印刷された場合に発生する、予期しないパターンのことです。正しい角度は、印刷される色数に依存します。ドットゲインとは、印刷時にハーフトーンドットが増加し、モアレのパターンになった場合のことを指します。薄い色合いの強調された領域のあるイメージには、**[円]** を選択します。

【ライン】

特殊効果に使用します。異なる角度を選択して効果を変更するには、**[ライン]** を選択します。

- 4 印刷品質を向上させるには、**[アキュレートスクリーンを使用]**を選択します。このオプションを使用すると、印刷時間が長くなる場合があります。
- 5 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

オプション

オプションでは、印刷内容を写真のネガのようなイメージにしたり、鏡像のように逆になるように印刷します。

[印刷品質] > **[グラフィック詳細設定]**で、**[オプション]**の設定を選択します。この設定は、**[KPD L]**がPDLとして選択されている場合に使用できます。

[反転画像]

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

[ミラーイメージ印刷]

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを鏡対称にして印刷します。

イメージデータ方式

[イメージデータ方式]は、プリントシステムの機能あるいは効率を改良するための処理または方法です。

[印刷品質] > **[グラフィック詳細設定]**で、**[イメージデータ方式]**を選択します。この設定は、**[PDL 設定]**ダイアログボックスで**[KPD L]**が選択されている場合に使用可能です。

[バイナリー]

この設定は印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリー形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

[ASCII]

この設定は、ASCIIテキストエンコードでPostScriptファイルを作成します。**[バイナリー]**で作成したバイナリー形式とは異なり、この選択を使用して作成したASCIIテキストは編集可能です。

CIE オプション

[CIE最適化]を使用すると、Adobe Acrobat や Photoshopなどのアプリケーションで使用される、CIEカラー空間による各処理で実行される通常の処理をバイパスします。この機能を使用すると、CIEデータの最適化によってこれらのアプリケーションから印刷される文書の印刷速度が速くなります。CIEデータを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。**[CIE最適化]**は精度よりも印刷速度を重視する場合に選択されるため、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があります。

[印刷品質] > **[グラフィック詳細設定]**で、**[CIE 最適化]**チェックボックスを選択します。**[CIE オプション]**は、**[PDL 設定]**ダイアログボックスで**[KPD L]**が選択されている場合に使用可能です。

画像処理オプション

[画像処理オプション]はカラー機種で使用することができ、印刷出力品質に応じた画像圧縮方法を選択して画像圧縮を行います。JPEG 圧縮は圧縮率重視の

印刷画像出力を生成し、デルタロー圧縮は圧縮率を抑えて(ファイルサイズ大)、高品質の画像を維持します。[画像処理オプション]は、[PDL 設定] ダイアログボックスで [KPDL] または [PDL XL] が選択されている場合に使用可能です。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、次の圧縮オプションから選択してください。

[画像を圧縮して印刷]

JPEG 圧縮を使用します。

[画像をきれいに印刷]

デルタロー圧縮を使用します。

光沢モード

印刷テキストおよび画像の外観につやを加えて光沢のある仕上がりにするには、[光沢モード] を選択します。

参考: [エコプリント] と [光沢モード] は同時に使用できません。

エコプリント

[エコプリント] は、印刷ジョブの画像やテキスト、およびグラフィックス全体を薄く印刷し、トナー消費量を抑える機能です。トナーの使用量は、使用する機種や印刷するデータの種類(テキスト、グラフィックスなど)によって異なります。[エコプリント] と [光沢モード] は同時には使用できません。

一部の機種では、トナーの節約量を選択できます。[エコプリント] は、印刷速度に影響しません。

[エコプリント] は、[簡単印刷] や [基本設定] タブでも使用できます。[簡単設定] または [基本設定] タブで [エコプリント] が選択されている場合、[印刷品質] タブには一番最後に設定したトナーの節約量がそのまま表示されます。レベルが選択されていない場合は、[印刷品質] タブでは [トナー節約量中間] に設定されます。

参考: 機種によっては、PDL として [KPDL] が選択されている場合のみ、[エコプリント] が使用できます。

エコプリントの選択

印刷ジョブのトナー消費量を変更できます。

- 1** [印刷品質] タブで、[エコプリント] アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。
- 2** コンボボックスで、トナー節約量を選択します。
一部の機種では、[エコプリント] ボタンをクリックし、[低] または [高] を選択します。
- 3** [OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。
- 4** [OK] をクリックして印刷を開始します。

カラー

[カラー]では、フルカラー印刷または黒色トナーだけの印刷を選択できます。

[印刷品質] > [カラー]で、次のカラーモードが使用できます、

[フルカラー]

このモードは、テキストやグラフィックを4色でフルカラー印刷します。

[白黒]

このモードは、カラー設定を無効にし、黒色トナーのみで印刷します。

色再現モード

[色再現モード]は、写真やグラフィックの色再現を最適化します。[カラー]で[フルカラー]が選択されている場合、この機能が使用できます。

[印刷品質] > [色再現モード]で次の色再現モードを選択できます。

[プリンターの設定]

このオプションは、プリンターの設定のみを使用します。

[文書+グラフ]

このオプションは、グラフ、チャート、図形などを多く含む文書の印刷用です。

[文書+写真]

このオプションは、写真画像を多く含む文書の印刷に適しています。

[あざやか]

このオプションは、グラフィックや写真をあざやかに印刷します。

[DTP]

このオプションは、グラフィックや写真が混在した文書の印刷用です。画面に近い色合いで印刷したい場合に選択します。

[線画]

このオプションは、線で描かれた図形やグラフィックなどの印刷に適しています。色付きの線を単色で印刷する場合に、このオプションを選択します。

[PANTONE]

このオプションは、アプリケーションにインストールされた[PANTONE]カラープロファイルを使用します。プリンタードライバをインストールする場合は、[オプションのコンポーネントウィザード]で[PANTONE]を選択する必要があります。Adobe や Corel, Quark の一部のアプリケーション用としてプリンターソフトウェアに付属されている[PANTONE]色見本を使用する場合は、このオプションを選択します。選択すると、色調整などの一部の[印刷品質]および[色]オプションは使用できません。このオプションは、PDL が[KPDL]に選択されている場合に使用できます。

[カスタムテーブル]

このオプションを使用すると、お使いのプリントシステムにダウンロードされているカスタムカラーテーブルを選択できます。他のすべての[色再現モード]オプションは、デフォルトのカラーテーブルを使用します。

[色合わせ]

このオプションは、さまざまなデバイス間で一貫したカラー再現性を実現するのに適しています。異なるカラープリントシステム間の色空間の差を補います。一連のプロファイルを選択し、適用することをカラープロファ

イルと呼びます。追加でカラー印刷のオプションを設定するには、**【色合わせ】**ダイアログボックスを開きます。

一部の機種では、次の**【色再現モード】**のオプションが使用できます。

【自動 1】

一般的な文書の印刷

【自動 2】

黒色トナーのみで、黒テキストとグラフを印刷する。

【自動 3】

4色トナーで黒テキストとグラフを印刷します。

【自動 4】

モニター上の表示に近い色で画像やグラフを印刷する。

【写真画像】

モニター上の表示に近い色で画像、テキスト、およびグラフを印刷します。

【テキスト】

画像、テキスト、およびグラフを鮮明に印刷します (黒色トナーのみで黒色印刷)。

【チャート (グラフィック)】

画像、テキスト、グラフを鮮明に印刷します (4色トナーで黒色印刷)。

【色合わせ】

追加でカラー印刷のオプションを設定するには、**【色合わせ】**ダイアログボックスを開きます。

色合わせ

【色合わせ】機能は、画像印刷の際に色の最適化を行います。画像の色とプリンターの色との再現性を高めます。ICMはWindowsの標準である、MicrosoftのImage Color Managementです。

【色合わせ】ダイアログボックスでは、次のカラーモードが使用可能です。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

【なし (アプリケーション設定)】

このオプションを選択すると、プリントシステム内部のカラー参照テーブルを適用せずに色合わせ処理を行います。インクシミュレーションは実行されません。アプリケーションで独自の色調整が可能な場合に使用します。

【ICM (システム調整)】

このオプションは、印刷ジョブでカラーレンダリングを実行し、可能な限り元の色を再現します。ICMは、プリントシステムなどの出力デバイスにカラープロファイルを関連付けたものです。プリントシステムに関連付けられたICMプロファイルには、その機種で最適なカラー再現を行うための情報が含まれています。ICMの設定は、プリントシステムのプロパティの**【色の管理】**タブで設定します。

【モニターシミュレーション (RGB)】

HDTV標準にしたがって、sRGBモニター値を修正します。

【インクシミュレーション (CMYK)】

選択したオフセットプレスインクセットに近い仕上りになります。

【ユーロスケールプレス】では、Imation社のマッチプリントプルーフと合わせることで、ヨーロッパのプレス標準を再現します。

[SWOPプレス]では、SWOP 標準に適合した米国のプレス標準を再現します。

[インクシミュレーション (CMYK)]は、**[PDL 設定]** ダイアログボックスで**[KPDL]**が選択されている場合に使用可能です。

色合わせの選択

[色再現モード]の**[色合わせ]**で、プリンターが色合わせを処理する方法を選択することができます。

- 1 **[印刷品質]** > **[色再現モード]**で**[色合わせ]**を選択します。**[色合わせ]**ダイアログボックスで、

[なし (アプリケーション設定)]オプションを選択した場合、**[OK]**をクリックし、**[色合わせ]**ダイアログボックスを閉じます。

[ICM (システム調整)]オプションを選択した場合、手順 2 に進みます。

- 2 オプションを選択し、**[OK]**をクリックし選択を保存します。

[色を忠実に再現する (カラーメトリック)]

このオプションは、会社のロゴなどのように、どのような印刷ジョブでも正確に色を合わせたい場合に選択します。

[コントラストで最適化する (イメージに最適)]

このオプションは、階調範囲全体にわたってディテールを保つようコントラストを調整し、カラーコントラストを最適化します。様々な色や陰影を含む画像やスキャンした写真などを印刷する場合に選択します。

[彩度で最適化する (グラフィックに最適)]

このオプションは、色合いを調整して純色の鮮やかさを保持することにより、色の彩度を最適化します。ベタ色を含むグラフや表などを印刷する場合に選択します。

- 3 一部の機種では、**[モニターシミュレーション (RGB)]**と**[インクシミュレーション (CMYK)]**オプションを選択します。**[インクシミュレーション (CMYK)]**は、PDLとして**[KPDL]**が選択されている場合に使用可能です。

- 4 **[OK]**をクリックして**[色合わせ]**ダイアログボックスを閉じます。

デフォルトカラープロファイルの設定

[色合わせ]ダイアログボックスで**[ICM (システム調整)]**機能を使用する場合、プリントシステムにカラープロファイルを設定できます。

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、および Windows Server 2008 R2

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]**を開き、**[デバイスとプリンターの表示]**をクリックします。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]**をクリックし、**[デバイスとプリンター]**をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]** > **[コントロールパネル]**をクリックし、**[プリンター]**をクリックします。

- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックします。

Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Server 2008 R2: **[プリンターのプロパティ]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[プロパティ]** をクリックします。

- 3 **[色の管理]** タブを選択し、**[色の管理]** をクリックします。
- 4 **[デバイス]** タブ > **[デバイス]** リストで、目的のカラープリンターを選択します。
- 5 **[このデバイスに自分の設定を使用する]** チェックボックスを選択します。
- 6 **[プロファイルの選択]** リストで、**[手動]** を選択し、**[追加]** をクリックします。
- 7 **[カラープロファイルの関連付け]** ダイアログボックスで、ICC プロファイルを選択するか、または **[参照]** をクリックしてプロファイルを指定し、**[OK]** をクリックします。プロファイルは、**[このデバイスに関連付けられたプロファイル]** リストに追加されます。
- 8 リストから目的のカラープロファイルを選択し、**[既定のプロファイルに設定]** をクリックします。
- 9 **[閉じる]** をクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003

- 1 **[スタート]** をクリックし、次に **[プリンターとFAX]** をクリックします。
- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。
- 3 **[色の管理]** タブを選択し、**[追加]** をクリックします。
- 4 **[プロファイルの関連付けを追加]** ダイアログボックスで、リストからカラープロファイルを選択し、**[追加]** をクリックします。
- 5 **[色の管理]** タブで、**[手動]** を選択します。
- 6 リストからカラープロファイルを選択し、**[既定値に設定]** をクリックします。
- 7 **[適用]** をクリックします。

色調整

[色調整] では、ドライバーが持つ2つのカラースペースをカスタマイズさせ、3つまでのカスタムグループを保存できます。カラースペースの変更は、色合い、彩度、明るさ (HSL) に対して行うことができます。

参考: **[色調整]** および **[単色調整]** (**[拡張機能]** タブ) で異なるカスタム設定が選択された場合は、最近の変更が優先され、印刷ジョブに適用されます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントによる設定は今後の使用のためクライアントシステムに保存されます。

カスタム色調整の選択

カスタム色設定がすでに定義されている場合は、それを選択し、印刷ジョブに適用できます。

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** アイコンをクリックします。
- 2 **[調整]** リストから、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、または **[カスタム 3]** を選択します。
- 3 **[OK]** をクリックします。

HSL (色相、彩度、明るさ) の調整

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** アイコンをクリックします。
- 2 **[調整]** リストで、**[カスタム設定]** を選択します。
- 3 **[バランス調整]** > **[色調整]** で、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、または **[カスタム 3]** を選択します。
- 4 **[HSL (色相、彩度、明るさ)]** を選択します。
- 5 **[色見本イメージの選択]** のアイコンをクリックして、3つの異なるイメージのいずれかを選択します。それぞれイメージ写真の強調している色の特徴が異なっているので、色調整の度合いがわかりやすくなっています。
- 6 色相の配分とバランスを調整します。
コーディネートされた色相調整の場合は、**[色選択]** リストから、**[マスター]** を選択します。**[色合い]** で -180 から +180 までの値を入力または選択します。
特定の色相を調整する場合は、**[色選択]** リストから **[レッド]**、**[イエロー]**、**[グリーン]**、**[シアン]**、**[ブルー]**、または **[マゼンタ]** を選択します。**[色合い]** で -10 から +10 までの値を入力または選択します。
- 7 **[彩度]**、**[明るさ]**、**[コントラスト]** で -10 から +10 までの値を入力または選択します。
- 8 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 9 **[OK]** をクリックして、新規の HSL 調整を保存します。

カラーバランスの調整

- 1 **[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[フルカラー]** アイコンをクリックします。

- 2 **[調整]** リストで、**[カスタム設定]** を選択します。
- 3 **[バランス調整]** > **[色調整]** で、**[カスタム 1]**、**[カスタム 2]**、**[カスタム 3]** のいずれかを選択します。
- 4 **[カラーバランス]** を選択します。
- 5 **[色見本イメージの選択]** のアイコンをクリックして、3つの異なるイメージのいずれかを選択します。それぞれイメージ写真の強調している色の特徴が異なっているので、色調整の度合いがわかりやすくなっています。
- 6 各カラーバーの下で、各カラーの相対値を -10 から +10 の間で入力または選択します。
- 7 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 8 **[OK]** をクリックして、新規のカラーバランス設定を保存します。

白黒印刷のバランス調整

白黒印刷のバランス調整は、グラフィックの明るさおよびコントラストを変更します。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストには何も影響はありません。

白黒設定の調整

- 1 カラー機種の場合、**[印刷品質]** > **[カラー]** で、**[白黒]** アイコンをクリックします。
- 2 カラーおよびモノクロ機種では、**[調整]** リストで **[ユーザー定義]** を選択します。
[バランス調整] ダイアログボックスのプレビューイメージに明るさとコントラストの変更が表示されます。
- 3 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくしたり暗くするには、**[明るさ]** の値を入力または選択します。
+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。0 で通常の明るさです。イメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合は、明るさを調整してグラフィックイメージをカスタマイズできます。
- 4 印刷ジョブのグラフィックイメージの明暗のコントラストを増減するには、**[コントラスト]** の値を入力または選択します。
コントラストの設定を高くすると、グレースケールのスペクトルが減少し、明るいグレーはより明るく、暗いグレーはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレースケールの領域が増加し、明るい部分はより暗く、暗い部分はより明るくなります。
+100 で最もコントラストが強くなり、-100 で最も弱くなります。0 はデフォルトで中間レベルのコントラストです。コントラストの調整は、グラフィックイメージがぼやける、または明暗がはっきりしすぎて印刷される場合に便利です。テキストには影響しません。

- 5 [OK] をクリックして、新しい白黒の設定を保存します。

色変換処理

[色変換処理] では、アプリケーションからのカラー情報の受取方法に応じて印刷ジョブにカラー処理をどう適用するかを選択できます。[PDL設定] ダイアログボックスで [KPD] が選択されている場合、この機能を使用できます。

[印刷品質] > [色変換処理] で、次のオプションから選択します。

[プリンター設定に従う]

このオプションは、デバイスの現在の設定を使用するときに選択します。

[速度優先]

ドライバーがアプリケーションから RGB データを受け取る場合に、このオプションを選択します。

[画質優先]

ドライバーがアプリケーションからフルカラーデータを受け取る場合に、このオプションを選択します。[ジョブ保存] タブの [ジョブ拡張機能] > [タイプ] リストで、[ユーザーボックス] に保存した場合は、印刷だけが可能です。データの内容を変更したり、送信や外部メモリーへのコピーなどではできません。

テキストと図の効果

カラーまたは白黒印刷では特殊設定も可能です。（選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。）

[文字を黒色で印刷]

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンターに送るデータ量が減るため、カラー印刷ジョブの印刷が高速化します。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。カラー機種では、この機能はすべての [カラーモード] オプションで使用可能です。

[グレースケールを黒トナーで印刷]

このオプションは、グレースケールを黒のみで印刷します。[カラー] オプションとして [フルカラー] を選択する必要があります。

[多値 (マルチビット)]

画像は、写真のように均等な一連のグラデーションによって表示されます。これはカラー機種で使用できるオプションで、[カラー] として [フルカラー] オプションを選択している場合、デフォルトで選択されます。

[画像を黒色で印刷]

このオプションは、すべての図を、グレースケールではなく黒色で印刷します。この機能は CAD アプリケーション向けです。カラー機種の場合、[カラー] オプションとして [白黒] を選択する必要があります。

[イメージ単色黒を混色黒に置き換え]

このオプションは、黒のイメージをグレースケールで印刷します。

[オーバープリントモード]

この機能を選択するとイメージを重ね合わせて描画処理を行います。この機能は、[PDL 設定] ダイアログボックスで [KPD] が選択されている場合に使用可能です。

9 表紙/合紙

[表紙/合紙]タブでは、印刷ジョブに表紙や合紙を追加したり、OHP フィルムの中に用紙を挿入したり、タブディバイダーシートを挿入したりできます。このタブの機能は、**[PDL 設定]**ダイアログボックスで**[PCL XL]**または**[KPDLL]**が選択されている場合にのみ使用可能です。

元の設定に戻すには、**[標準に戻す]**をクリックします。**[標準に戻す]**ボタンは、アプリケーションの**[印刷]**ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティを開いた場合に表示されます。

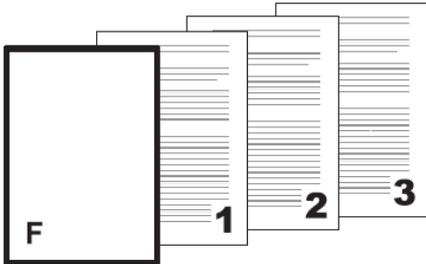
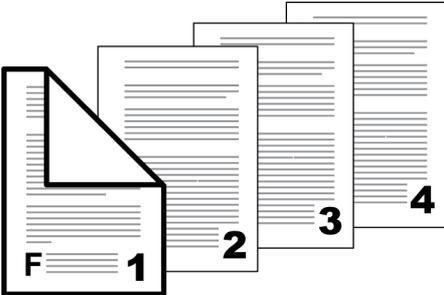
表紙付け

[表紙付け]は、文書の表紙および裏表紙に表紙付けページを追加する機能です。本文ページに使用する用紙とは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく**[表紙/合紙]**ダイアログボックスのタブの**[表紙の給紙方法]**設定で指定します。

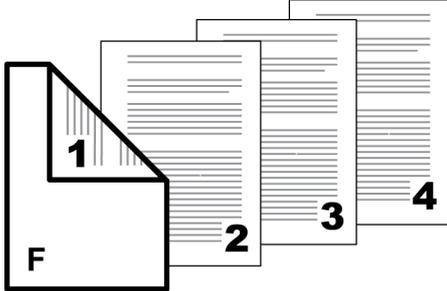
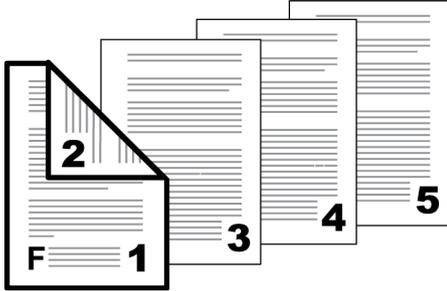
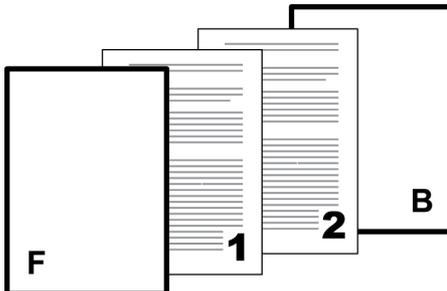
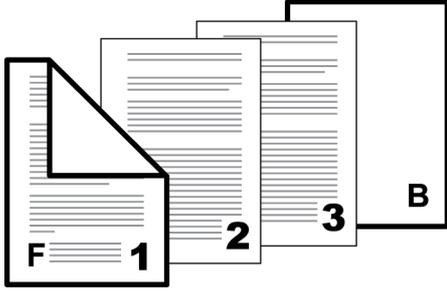
[表紙]/[内側]または**[裏表紙]/[外側]**オプションを使用して印刷するには、**[基本設定]**タブまたは**[簡単設定]**タブで**[両面印刷]**を選択する必要があります。

[表紙付け]、**[合紙]**、および**[インデックス紙]**は併用できますが、**[OHP 合紙]**とは併用できません。

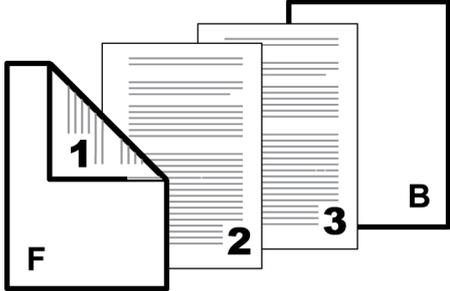
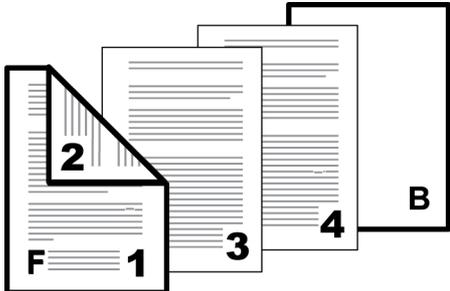
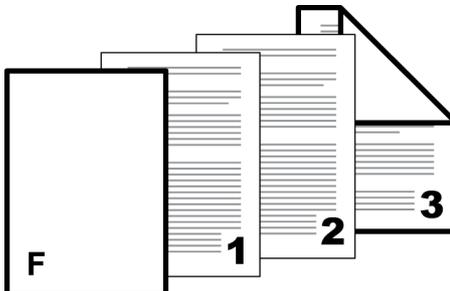
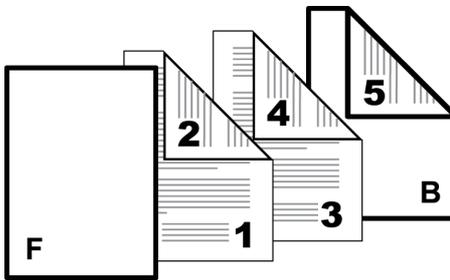
表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。 
表紙のみ 表紙 : 外側	表紙の外側に印刷します。 

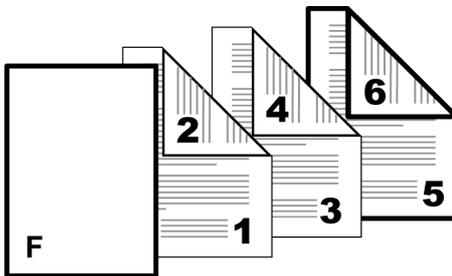
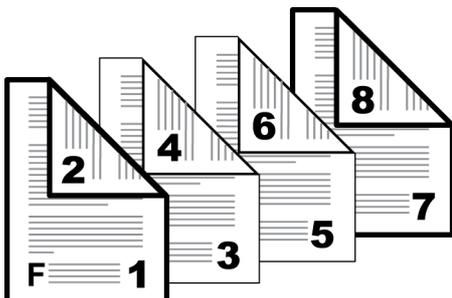
— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ 表紙：内側	表紙の内側に印刷します。 
表紙のみ 表紙：外側 表紙：内側	表紙の両面に印刷します。 
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側	表紙の外側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 

— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
<p>表紙と裏表紙 表紙：内側</p>	<p>表紙の内側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。</p> 
<p>表紙と裏表紙 表紙：外側 表紙：内側</p>	<p>表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。</p> 
<p>表紙と裏表紙 裏表紙：内側</p>	<p>裏表紙の内側に印刷し、白紙の表紙を追加します。</p> 
<p>表紙と裏表紙 裏表紙：外側</p>	<p>裏表紙の外側に印刷し、白紙の表紙を追加します。</p> 

— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 裏表紙：内側 裏表紙：外側	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側 表紙：内側 裏表紙：内側 裏表紙：外側	表紙と裏表紙の両面に印刷します。 

表紙の印刷

- 1 **[表紙/合紙]**タブで、**[表紙付け]**アイコンをクリックします。
- 2 **[表紙のみ]**または**[表紙と裏表紙]**を選択して印刷する表紙の種類を特定します。
- 3 表紙に印刷する場合は、**[印刷する用紙]**オプションから選択します。
- 4 **[表紙の給紙方法]**リストで、表紙と裏表紙の用紙種類または給紙元を選びます。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

OHP 合紙

[OHP 合紙印刷]では、印刷される各 OHP フィルムの間合紙を挿入します。合紙は間紙とも呼び、OHP フィルムに汚れや傷がつくのを防ぎ、フィルム同士が張り付くのを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを**[手差しトレイ]**から給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。挿入する合紙に、OHP フィルムと同じ文書を印刷することもできます。

[OHP 合紙]印刷の機能は、**[表紙付け機能]**、**[合紙]**、または**[インデックス紙]**と組み合わせて使用できません。

OHPフィルム間への合紙の挿入

- 1 **[基本設定]** > **[用紙種類]** で、**[OHPフィルム]** を選択します。**[給紙元]** と **[用紙種類]** リストが組み合わせられている場合 (**[デバイス設定]** > **[互換性]** で選択)、**[用紙種類]** は表示されません。代わりに **[給紙元]** リストで、**[自動(OHPフィルム)]** を選択します。
- 2 **[表紙/合紙]** タブで、**[OHP合紙]** アイコンをクリックします。
- 3 OHP フィルムと同じ内容を合紙にも印刷する場合は、**[合紙に印刷]** チェックボックスをオンにします。
- 4 **[合紙の給紙方法]** ドロップダウンリストから、**[合紙の用紙]** または **[給紙力セット]** を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックして**[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。
プリントシステムの操作パネルには、OHP フィルムを**[手差しトレイ]** にセットするよう、また必要に応じて、合紙の用紙を選択したカセットにセットするよう求めるメッセージが表示されます。

合紙

[合紙]とは、プレプリントされたページ、または印刷ジョブの指定された箇所に挿入される異なった種類の用紙のことです。また、その用紙に印刷することも可能です。両面ユニットを使用すると、合紙裏面に印刷することもできます。

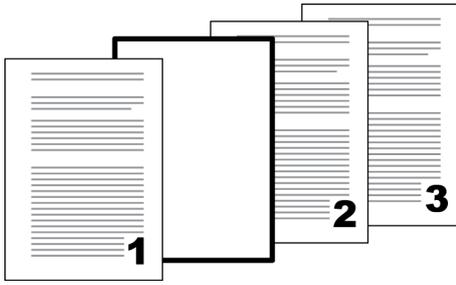
[合紙の裏面に印刷] オプションを使用して印刷するには、**[基本設定]** または **[簡単設定]** タブで両面印刷を選択する必要があります。

この機能が**[表紙/合紙]** > **[インデックス紙]** と組み合わせて使用された場合、**[インデックス紙]** で選択されたオプションは自動的に**[合紙]** でも選択されます。同様に、**[合紙]** の選択項目は**[タブ設定]** ダイアログボックスに表示されます。

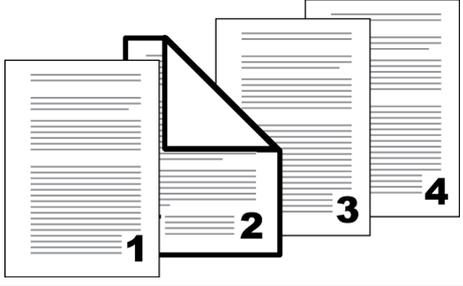
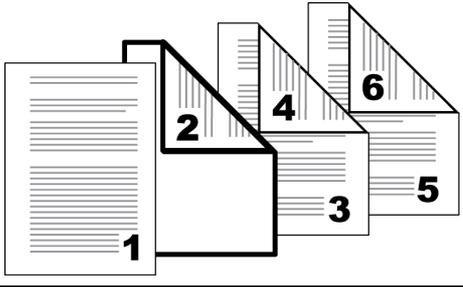
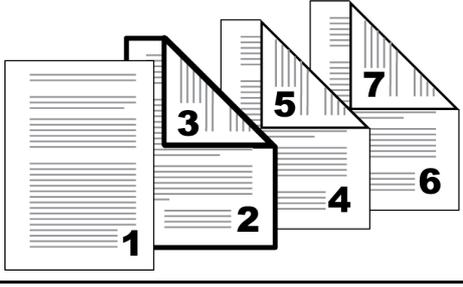
[表紙付け]、**[合紙]**、および**[インデックス紙]** は併用できますが、**[OHP 合紙]** とは併用できません。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。



— 続く

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙 合紙のおもて面に印刷	合紙のおもて面に印刷する。 
合紙 合紙の裏面に印刷	合紙の裏面に印刷する。 
合紙 合紙のおもて面に印刷 合紙の裏面に印刷	合紙の両面に印刷する。 

合紙印刷

- 1 **[表紙/合紙]**タブで、**[合紙]**アイコンをクリックします。
- 2 合紙のおもて面または裏面に印刷を行う場合は、**[合紙のおもて面に印刷]**または**[合紙の裏面に印刷]**チェックボックスをオンにします。
- 3 **[合紙挿入位置]**に、差し込む位置のページ番号を入れます。合紙は、入力したページ番号とその前のページの間に差し込まれます。
- 4 **[合紙の給紙方法]**ドロップダウンリストから、合紙の用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]**をクリックして、**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

インデックス紙

【インデックス紙】は、印刷ジョブの指定されたページ位置にインデックス紙を挿入し、印刷する文書をセクションに区切ります。タブに印刷することもできます。A4 および Letter サイズの用紙には、標準のインデックス紙を使用できます。あるいは、これらの用紙サイズにカスタムタブを作成することも可能です。インデックス紙は、タブが給紙方向の後ろ側になるように印刷面を下にして、**【手差しトレイ】**にセットして給紙します。1 タブ目は給紙方向に対して左側になります。この機能は、A3 モデルで使用できます。

プリントシステムの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

【インデックス紙】で選択された一部のオプションは、**【表紙/合紙】** > **【合紙】**でも自動的に選択されます。同様に、**【合紙】**の選択項目は**【タブ設定】**ダイアログボックスに表示されます。

文書のページが両面に印刷される場合でも、タブのテキストは片面にしか印刷できません。

【カスタム用紙】、**【タブ設定】**、および**【カスタムタブ】**ダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます **【デバイス設定】**からアクセスして、**【ユーザー設定】**ダイアログボックスの**【単位】**設定を変更できます。

インデックス紙のオプション

【表紙/合紙】タブの**【インデックス紙】**機能で使用可能なオプションは次のとおりです。

【基本設定】

リストから、A4 または Letter のインデックス紙を選択します。**【カスタム】**を選択し**【カスタム用紙】**ダイアログボックスを開くと、カスタムインデックス紙を作成できます。

【設定】

クリックして**【タブ設定】**ダイアログボックスを開き、タブ設定を行います。

カスタム用紙ダイアログボックス

標準サイズ以外のインデックス紙の場合は、任意の大きさを選択し、カスタムサイズを作成できます。タブサイズは、タブの数およびタブの前、間、後で選択された間隔により調整されます。合計の長さが長辺の幅を超えないようにします。

【タブ数】

カスタム用紙に含むタブの数を 1 から 15 の間で選択します。

【出力用紙サイズ】

【A4】 または **【Letter】** を選択します。

【最初のタブの前】

用紙の端と最初のタブとの間隔を入力、または選択します。

【タブの間】

各タブの間隔を入力、または選択します。互いに重なり合うタブには、負の値を選択します。

【最後のタブの後ろ】

最後のタブと用紙の端との間隔を入力、または選択します。

【タブの幅】

タブが用紙の端からどれくらい出ているかを入力、または選択します。

タブ設定ダイアログボックス

用紙の選択後、現在の印刷ジョブのタブ設定を行います。最大で 50 のタブ印刷設定に加えて、2 つの合紙設定が作成できます。選択は印刷ジョブのすべてのインデックス紙に適用されます。

用紙の最後のタブが使用されると、最初のタブに戻って同じパターンを繰り返します。たとえば、タブが 5 つの用紙に 20 のタブが選択された場合、5 つのタブが 4 回繰り返しのパターンで挿入されます。

[インデックス紙を使用] を選択している場合は、**[印刷する用紙]** リストで同じ設定は選択できません。**[インデックス紙を使用]** を選択していない場合は、通常用の紙が使用されるため、**[印刷する用紙]** リストで違う設定をしてもコンフリクトは起こりません。

[現在のタブ設定]

現在の印刷ジョブのタブ設定を表示します。

[新規]

ボタンをクリックし、**[現在のタブ設定]** リストに新しいタブを追加します。その後新しいタブの設定を選択します。

[削除]

リストでタブを選択し、**[削除]** をクリックするとタブを削除できます。

[カスタム]

ボタンをクリックし**[カスタムタブ]** ダイアログボックスを開き、フォント、色、テキスト配置といったカスタムタブ設定を選択します。**[カスタム]** ボタンは、**[インデックス紙を使用]** が選択され、**[イメージを移動]** が選択されていない場合に使用できます。

[次のページの前に挿入]

挿入するページの番号を入力します。インデックス紙は、入力したページ番号の前に差し込まれます。**[1]** と入力した場合は、インデックス紙は 1 ページの前に挿入されます。**[インデックス紙を使用]** を選択していない場合は、**[合紙]** 機能が自動的に選択され、**[合紙挿入位置]** にこの数字が入ります。

同じ番号を 2 度入力した場合は、エラーになります（テキストボックスが赤くなります）。**[現在のタブ設定]** で重複した項目を削除します。

[本文を印刷]

合紙に印刷される文書データのオプションを選択します。**[おもて面]** を選択し、文書データの次のページをインデックス紙に印刷します。インデックス紙に文書データを印刷したくない場合は、**[しない]** を選択します。どちらを選択した場合でも、タブテキストはタブに印刷されます。

[インデックス紙を使用]

チェックボックスを選択して、**[表紙/合紙]** タブの **[基本設定]** リストで選択されたインデックス紙を使用します。チェックボックスが選択されていない場合は、**[インデックス紙]** は **[表紙/合紙] > [合紙]** と同じです。

[イメージを移動]

文書にタブを含むアプリケーションデータやテンプレートには、**[インデックス紙を使用]** を選択し、**[イメージを移動]** を選択します。タブテキストがタブに印刷できるように、ページの中身とタブテキストが移動します。移動幅は最大 30 mm (1.2 インチ) で入力、または選択します。

この機能を使用する場合、タブテキストは、**[タブ設定]** ダイアログボックスではなく、アプリケーションまたはテンプレートに入力します。

[タブの位置]

各タブの位置を選択します。**[自動]** でタブ位置を自動に設定、またはリストから位置を選択できます。選択可能なタブ位置は、選択された標準用の紙、または**[カスタム用紙]** ダイアログボックスの**[タブ数]** により異なります。

す。インデックス紙は、文字列の位置設定と一致するようにセットする必要があります。

【タブテキスト (最大 3 行)】

各タブ用のテキストを最大 3 行 (1行260字) で入力します。

カスタムタブダイアログボックス

タブテキストのフォント、スタイル、色、サイズ、向き、タブ配置、テキスト配置、および行間を選択できます。選択は印刷ジョブのすべてのインデックス紙に適用されます。

【カラー】 オプションは機種により異なります。カラー機種では、デフォルトまたはカスタム色から選択します。白黒機種、あるいは**【簡単設定】**、**【基本設定】**、または**【印刷品質】**タブで**【白黒】**が選択されている場合、**【黒】**を選択し、グレーの色合いを選びます。

【印刷の向き】は、**【簡単設定】**および**【基本設定】**タブ内の印刷の向きと異なります。カスタムタブでは、次の印刷の向きを選択できます。

【標準】

タブを上にしてシートを見たときに、テキストは横書きです。

【反転】

タブを上にしてシートを見たときに、テキストは上下を逆にした横書きです。

【横】

タブを右側にしてシートを見たときに、テキストは横書きです。

【縦】

タブを右側にしてシートを見たときに、テキストは縦書きです。

【文字列の配置】は、Microsoft Word の垂直方向の配置と同様です。

【上】

タブテキストは、タブの幅の上端に揃えられます。

【中央】

タブテキストは、タブの幅の中心に揃えられます。

【下】

タブテキストは、タブの幅の下端に揃えられます。

【左ぞろえ】と**【行間】**のオプションを選択する場合、ダイアログボックスのイラストにあるように、タブを右側にして用紙を見ます。

インデックス紙の挿入

インデックス紙を文書に挿入することができます。**【タブ設定】**ダイアログボックスで設定されたすべてのタブは、現在のジョブに適用されます。タブに印刷する場合、**【手差しトレイ】**にセットされている用紙の印刷面は下向き (フェイスダウン) になります。

タブに印刷する前に、白紙にテスト印刷をすることをお勧めします。短いテスト文書を使用し、白紙をインデックス紙のサイズにカットします。テスト印刷をすることで、ドライバーの設定や**【手差しトレイ】**への給紙を正確に行えます。

- 1 長辺が給紙方向の先頭になるように、インデックス紙を**【手差しトレイ】**にセットします。タブは給紙方向の反対側になります。インデックス紙は印刷面を下 (フェイスダウン) にしてセットします。1 タブ目は給紙方向に対して左側になります。

- 2 **[表紙/合紙]**タブで、**[インデックス紙]**アイコンをクリックします。
- 3 **[基本設定]**リストで、標準の用紙オプションを選択するか、**[カスタム]**を選択してカスタム用紙を作成できます。
- 4 手順3で**[カスタム]**を選択した場合は、**[カスタム用紙]**ダイアログボックスで任意のカスタム用紙を作成し、**[OK]**をクリックします。
- 5 **[設定]**をクリックします。
- 6 **[タブ設定]**ダイアログボックスで、**[新規]**をクリックし、挿入するページ番号を入力します。インデックス紙は、入力したページ番号の前に差し込まれます。
- 7 **[本文を印刷]**と**[タブの位置]**の設定を選択し、**[タブテキスト]**を入力します。
- 8 **[インデックス紙を使用]**が選択され、**[イメージを移動]**が選択されていない場合は、**[カスタム]**をクリックして、タブテキストのカスタム設定を行えます。**[OK]**をクリックします。
文書にタブを含むアプリケーションデータやテンプレートの場合、**[イメージを移動]**を選択して移動幅を選択します。
- 9 印刷ジョブに複数のインデックス紙を含めたい場合は、手順6から8を繰り返し、**[OK]**をクリックします。
- 10 現在のタブ設定を再度使用したい場合は、**[印刷設定]**ダイアログボックス下部にある、**[名前を付けて保存]**をクリックし、設定をプロファイルとして保存します。
- 11 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 12 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

10 ジョブ保存

[**ジョブ保存**]の機能を使用すると、プリントシステムにインストールされているメモリーに印刷ジョブを保存できます。また、[**ジョブ名**]を選択してジョブ保存機能と合わせて使用できます。このタブは、Microsoft Windows アプリケーションから文書を印刷するときに、デフォルト設定を決定、または変更する場合に使用します。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

元の設定に戻すには、[**標準に戻す**]をクリックします。[**標準に戻す**]ボタンは、アプリケーションの[**印刷**]ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。

ジョブ拡張機能

[**ジョブ拡張機能**]は、印刷ジョブをプリンターのメモリーに保存するための各種設定や、それらの印刷ジョブの印刷の実行や、再印刷する機能が含まれます。印刷ジョブは、印刷後でもプリンターの操作パネルを使用して簡単に再印刷が可能で、また機密文書の印刷を許可されたユーザーのみに制限することも可能です。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

機種によっては、プリンターのメモリーの一部をRAM ディスクとして指定することにより、印刷ジョブを一時的に保管させたり、さらに大容量が必要な場合や、ジョブを恒久的に保存する場合はストレージデバイスを設置したりすることも可能です。

e-MPS は、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリントシステムにジョブを保存することにより、PC からジョブを再送信しなくても、操作パネルからいつでも再印刷することが可能です。

[**ジョブ拡張機能**]を使用するには、[**デバイス設定**]にある[**ユーザー設定**]ダイアログボックスで[**ユーザー名**]を設定する必要があります。

一時保存

[**一時保存**]ではジョブを印刷し、それらをハードディスクに保存することができます。ハードディスクがいっぱいになると、[**一時保存**]ジョブは古いほうから差し替えられます。ジョブが削除されないようにするには、[**恒久保存**]オプションを選択します。

保存オプションに[**一時保存**]を選択すると、複数のコピージョブで印刷速度が向上します。ジョブの最初のコピーが一度だけレンダリングされ、後続のすべてのコピーは、プリントシステムの定格のスピードで印刷されます。

[**KYOCERA Net Viewer**]ユーティリティーをインストールして使用すると、[**一時保存**]ジョブを再び印刷できます。

一時印刷ジョブの保存

ジョブの印刷後、一時的にハードディスクにジョブを保存できます。

- 1 [**ジョブ保存**]タブで[**ジョブ拡張機能**]アイコンをクリックします。

- 2 **[タイプ]**リストで、**[一時保存]**を選択します。
- 3 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

恒久保存

[恒久保存]ではジョブを印刷し、それらをハードディスクに保存することができます。ジョブはハードディスクがいっぱいになるまでハードディスクに保存され、その後は手動でのみ削除することができます。

保存オプションに**[恒久保存]**を選択すると、複数のコピージョブに対して印刷速度が向上します。ジョブの最初のコピーが一度だけレンダリングされ、後続のすべてのコピーは、プリントシステムの定格のスピードで印刷されます。

[恒久保存]ジョブのリストは、プリントシステムの操作パネルで印刷できます。**[恒久コードジョブリスト]**でジョブを見つけやすくするために、**[ジョブ名]**および**[ユーザー名]**を設定します。

[恒久保存]ジョブは、**[KYOCERA Net Viewer]**ユーティリティをインストールして使用することにより、再び印刷できます。

恒久プリントジョブの保管

ジョブの印刷後、手動でそれを削除するまでハードディスクに保管することができます。

- 1 **[ジョブ保存]**タブで**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]**リストで、**[恒久保存]**を選択します。
- 3 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

文書にバーコードを追加

一部の機種では、文書にバーコード情報を印刷することができます。オプションのバーコードリーダーで印刷文書またはジョブリストのバーコードを読み取ることにより、文書を再印刷することができます。バーコードリーダーがプリントシステムのシリアルポートに接続されている必要があります。

- 1 **[ジョブ保存]**タブで**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]**リストで、**[一時保存]**または**[恒久保存]**を選択します。
- 3 **[オプション]**をクリックします。
- 4 **[バーコードオプション]**ダイアログボックスで、**[バーコード]**を選択します。

- 5 バーコードを文書の最初のページのみ印刷するには、**[最初のページのみ印刷する]**を選択します。各ページにバーコードを表示させるには、**[全ての用紙に印刷する]**を選択します。
- 6 **[位置]**リストで、バーコードの位置を選択します。
- 7 **[印刷の向き]**メニューで、バーコードの向きを縦もしくは横に選択します。デフォルト設定は横向きです。
- 8 バーコードとともにジョブ ID を印刷する場合は、**[バーコードIDを印刷する]**を選択します。
- 9 **[OK]**をクリックして完了します。

バーチャルメールボックス

[バーチャルメールボックス]は、印刷ジョブを物理的なメールボックスではなく、仮想メールボックスに送信します。**[バーチャルメールボックス]**にジョブを送信すると、ハードディスクにメールボックスが作成されます。**[バーチャルメールボックス]**にジョブを送信後、プリントシステムの操作パネルから印刷できます。ジョブは印刷されるまで保存され、印刷後はメモリーから削除されます。**[デバイス設定]**タブの**[ハードディスク設定]**ダイアログボックスで、最大 255 個のメールボックスを作成できます。モデルによっては、**[KPDL]**がPDLとして選択されている場合は **[バーチャルメールボックス]**を利用できません。

[バーチャルメールボックス]と**[ジョブ結合ボックス]**の主な違いは、**[バーチャルメールボックス]**に送信されたジョブは、印刷後、即時に削除されますが、**[ジョブ結合ボックス]**に送信されたジョブは、プリントシステムのメモリー内に恒久的に保存されるという点です。

バーチャルメールボックスへのジョブの保存

印刷ジョブを**[バーチャルメールボックス]**に保存し、印刷用に保持できます。

- 1 **[ジョブ保存]**タブで**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]**リストで、**[バーチャルメールボックス (VMB)]**を選択し、**[選択]**をクリックします。
- 3 出力トレイを選択するための方法を選択します。

[定義されたメールボックス]リストから、1つ以上のトレイを選択します。

[印刷時にリストから選択]を選択します。**[印刷]**ダイアログボックスで**[OK]**をクリックし、表示される**[バーチャルメールボックス選択]**ダイアログボックスで1つ以上のトレイを選択します。**[バーチャルメールボックス]**を繰り返し使用する場合、この機能によって、ジョブを印刷するたびに**[ジョブ保存]**タブを開くことなく、簡単にトレイを選択できます。
- 4 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

ユーザーボックス

[ユーザーボックス]では、印刷ジョブは、プリントシステムの操作パネルから印刷されるまでハードディスクに保存されます。{3}保存したジョブはストレージデバイスから1つまたは複数印刷できます。

印刷ジョブはストレージデバイスに1～31日間保存するか、もしくは印刷後に削除できます。

ユーザーボックスは、プリントシステムのホームページで、また[デバイス設定]からアクセスする[ハードディスク設定]または[SSD設定]で、各ユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーボックスは最大1000個作成できます。

ユーザーボックスへのジョブの保存

ユーザーボックスが割り当てられた後、印刷ジョブをユーザーボックスに送信することができます。印刷ジョブはプリントシステムのハードディスクに保存されます。

1 [ジョブ保存]タブで[ジョブ拡張機能]アイコンをクリックします。

2 [タイプ]リストで、[ユーザーボックス]を選択します。

3 [設定]をクリックします。

4 [ユーザーボックス設定]オプションを選択します。

[特定のボックス番号を使用]を選択した場合、そのボックス番号とパスワードを入力します。

[印刷時にボックス番号を入力]を選択し、[OK]をクリックします。[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されたら、[定義されたユーザーボックス]リストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

[印刷時にボックスリストから選択]を選択した場合、[OK]をクリックします。印刷開始時に[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されたら、リストからボックスを選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。これは、[ハードディスクの設定]または[SSD設定]ダイアログボックスで[共有ボックス]が設定されている場合に、選択することができます。(機種によっては[共有ボックス]がデフォルトで選択されます。)

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認]を選択し、[OK]をクリックします。印刷開始時に[ユーザーボックス]ダイアログボックスが表示されたら、ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、[パスワードの確認]を選択し、パスワードを入力します。これは、[ハードディスク設定]または[SSD設定]ダイアログボックスで[共有ボックス]が選択されている場合に可能です。(機種によっては[共有ボックス]がデフォルトで選択されます。)

5 [OK]をクリックして[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

6 [OK]をクリックして印刷を開始します。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認]が選択されている場合、ドライバーはユーザーボックスからログインユーザー名を検索してユーザーボックス名として使用します。

一致したユーザー名が見つかったと、そのユーザーボックスを使用して印刷ジョブが実行されます。

合致した ID が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。管理者権限を持っている場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバーは **Windows** のログインユーザー名を検索し、ボックス番号とパスワードとともに、この名前をドライバーのユーザーボックスリストに追加します。ユーザー権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザーには管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。

クイックコピー

[クイックコピー]は、印刷ジョブのすべての部数を印刷した後、再び印刷できるようにするため、印刷ジョブを一時的にストレージデバイスに保存しておく、**[ジョブ拡張機能]**のオプションです。この機能を使用するには、ストレージデバイスがインストールされており、**[デバイス設定]**で選択されている必要があります。

[クイックコピー]は、文書の印刷後に追加部数を印刷することが必要になった場合などに便利です。その場合は、PC でジョブを再印刷することなく、プリンターの操作パネルから追加部数を設定し、印刷を行うことができます。

保存可能な **[クイックコピー]** および **[試し刷り後、保留]** のジョブ数は、最大 **50** です。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。**[クイックコピー]** ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されますが、プリンターの電源がオフになると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じ **[ユーザー名]** と **[ジョブ名]** を持つジョブと入れ替わることがあります。上書きを防ぐには、**[上書きモード]** で **[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

クイックコピージョブの印刷

ストレージデバイスがインストールされている場合、**[クイックコピー]**機能を使用して印刷を行った文書は、手動で削除するかプリントシステムの電源を切るまで、プリントシステムに保存しておくことができます。

- 1 **[ジョブ保存]**タブで**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]**リストで、**[クイックコピー]**を選択します。
- 3 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

試し刷り後、保留

[試し刷り後、保留]は、複数部数の印刷ジョブを連続印刷する前に、1部だけ試し印刷を行うことで問題がないことを確認してから残りの部数の印刷を開始できる **[ジョブ拡張機能]**です。この機能は、ストレージデバイスがプリントシステムにインストールされており、**[デバイス設定]**で選択されている場合に使用可能です。

最初の試し印刷で問題ないことが確認された後、残りの部数は再度 PC からジョブを再送信する必要はなく、プリントシステムの操作パネルから実行できます。必要に応じて、残り印刷部数は変更することができます。

参考: **[試し刷り後、保留]** は、Microsoft Excel など一部のアプリケーションでは使用できません。

保存可能な **[試し刷り後、保留]** ジョブおよび **[クイックコピー]** ジョブの数は、プリンターの操作パネルで設定することができます (最大 50)。保存されたジョブ数が最大可能なジョブ数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。**[試し刷り後、保留]** ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されますが、プリンターの電源を落とすと削除されず。保存されたジョブは、操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じ **[ユーザー名]** と **[ジョブ名]** を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした上書きを避けたい場合は、**[上書きモード]** で **[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択してください。

試し刷り後、保留ジョブの印刷

[試し刷り後、保留] を使用すると、複数部数を連続印刷する前に、1 部のみ試し印刷して確認後に残りの部数を印刷することができます。ジョブはストレージデバイスまたは機種によっては RAM ディスクに、プリントシステムの電源を切るか手動で削除するまで保存されます。

- 1 **[基本設定]** タブで、印刷部数を選択します。
- 2 **[ジョブ保存]** タブで **[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 3 **[タイプ]** リストで、**[試し刷り後、保留]** を選択します。
- 4 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

プライベートプリント

[プライベートプリント] は **[ジョブ拡張機能]** の 1 つで、印刷ジョブを印刷するため 4 桁のアクセスコードが入力されるまでオプションのストレージデバイス、または機種によっては RAM ディスクメモリーに保存します。ストレージデバイス容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、保存されている最も古いジョブが新しいジョブに差し替えられます。**[プライベートプリント]** ジョブは、プリントシステムをリセットしたり、電源をオフにしたりすると削除されます。ジョブを削除しない場合は、**[ジョブ保留]** 機能を選択してください。

機密文書をプリントシステムに送信する場合、4 桁のアクセスコードを入力する必要があります (アクセスコードは、**[ジョブ名]**、**[ユーザー名]** と共に印刷ジョブに添付されます)。アクセスコードの入力が求められるオプションを選択することもできます。プリントシステムの操作パネルにアクセスコードが入力されるまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントシステムのメモリーから削除されます。

保存可能な **[プライベートプリント]** ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブはストレージデバイス内または RAM ディスクにある同じ【ユーザー名】と【ジョブ名】を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、【上書きモード】で、【ジョブ名+ 日付と時間を使用】を選択します。

プライベートプリントジョブの保管

【プライベートプリント】を使用すると、印刷しなくてもプリンターのメモリーに文書を一時的に保管し、アクセスコードで保護することができます。ジョブは、印刷、手動削除、もしくはプリントシステムの電源が切られるまで、ストレージデバイスまたは RAM ディスクに保管されます。

- 1 【ジョブ保存】タブで【ジョブ拡張機能】アイコンをクリックします。
- 2 【タイプ】リストで、【プライベートプリント】を選択します。
- 3 アクセスコードを選択するための方法を選択します。

【印刷時にアクセスコードを入力】を選択せず、【アクセスコードの指定】ボックスに 4 桁の数字を入力します。

【印刷時にアクセスコードを入力】を選択します。【印刷】ダイアログボックスで【OK】をクリックすると、【プライベートプリント】ダイアログボックスで入力したアクセスコードが表示されます。プライベートプリントを繰り返し使用する場合、この機能によって、ジョブを印刷するたびに【ジョブ保存】タブを開くことなく、簡単にアクセスコードを選択できます。
- 4 【OK】をクリックして【印刷】ダイアログボックスに戻ります。
- 5 【OK】をクリックして印刷を開始します。

ジョブ保留

【ジョブ保留】は、【ジョブ拡張機能】オプションの機能で、印刷ジョブをストレージデバイスに恒久的に保存しておき、再印刷を可能にします。また、アクセスコードを使用してジョブが不正に印刷されるのを防ぐオプションも用意されています。この機能を使用するには、ストレージデバイスがインストールされており、【デバイス設定】で選択されていることが必要です。

【ジョブ保留】で印刷したジョブは、プリンターの電源を一度切った後でも再印刷が可能のため、時々印刷が必要なジョブなどに便利です。【ジョブ保留】ジョブを削除するには、プリンターから手動で削除します。

必要に応じて、4 桁のアクセスコードを【ジョブ保留】ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザーだけに印刷を制限することができます。アクセスコードを設定すると、ユーザーがプリンターの操作パネルからアクセスコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリンターに保存されます。

保存可能な【ジョブ保留】ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じ【ユーザー名】と【ジョブ名】を持つジョブと入れ替わることがあります。こうした状況を防ぐには、【上書きモード】で、【ジョブ名+ 日付と時間を使用】を選択します。

ジョブ保留ジョブの保管

[ジョブ保留機能] は、ただちに文書の印刷を行わずに、プリントシステム内に恒久的に保存し、必要な時に印刷出力を可能にします (文書の出力の際にアクセスコードで保護することも可能です)。ジョブは、手動で削除されるまでハードディスクに保存されます。

- 1 [ジョブ保存]タブで[ジョブ拡張機能]アイコンをクリックします。
- 2 [タイプ]リストで、[ジョブ保留機能]を選択します。
- 3 文書へのアクセスを制限したい場合は、[アクセスコード]のチェックボックスを選択して、ボックスに4桁の数字を入力します。
- 4 [OK]をクリックして[印刷]ダイアログボックスに戻ります。
- 5 [OK]をクリックして印刷を開始します。

ジョブ結合ボックス

[ジョブ結合ボックス] では、さまざまなアプリケーションからのコピー文書と印刷ジョブを1つの文書に結合できます。結合されたデータは、バーチャルメールボックスに保存し、同時に印刷できます。ジョブは、プリントシステムに装着された物理的なバーチャルメールボックスではなく、システムのメモリー内でソート後、保存されます。

100個のジョブ結合ボックスが利用可能で、それぞれのジョブ結合ボックスには最大999ページまで保存できます。ジョブ結合ボックスは、プリントシステムのメモリーを使用するため、ストレージデバイスやRAMディスクを設定する必要はありません。

[バーチャルメールボックス] と [ジョブ結合ボックス] の主な違いは、[バーチャルメールボックス] に送信されたジョブは、印刷後、即時に削除されますが、[ジョブ結合ボックス] に送信されたジョブは、プリントシステムのメモリー内に恒久的に保存されるという点です。

ジョブ結合ボックスへのジョブの保存

[ジョブ結合ボックス]へ送信されたジョブは、他の印刷ジョブやコピーした文書と結合し、印刷できます。

- 1 [ジョブ保存]タブで[ジョブ拡張機能]アイコンをクリックします。
- 2 [タイプ]リストで、[ジョブ結合ボックス]を選択します。
- 3 [SPB ID]ボックスに、1から100までのジョブ結合ボックスの番号を入力します。
- 4 印刷ジョブに名前を付けるか、プリントシステムが生成したデフォルト名を使用します。カスタム名を付ける場合、[ジョブ名]から、[ユーザー定義]を選択し、テキストボックスに名前を入力します。
- 5 [OK]をクリックして[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

- 6 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

フォームギャラリー

[フォームギャラリー]では、もっともよく使われるフォームやイメージを、簡単にアクセスし取り出すことができるように、プリントシステムのメモリーに最大 100 個保存できます。イメージを保存するには、イメージをコンピューターから送信するか、プリントシステムでスキャンします。操作パネルで、イメージ情報を変更したり、イメージを印刷または削除したりできます。プリントシステムでは、保存されているフォームとスキャンしたイメージを組み合わせて行うことができます。**[フォームギャラリー]**は、プリンターのメモリーを使用するため、記憶装置や RAM ディスクを設定する必要はありません。

[フォームギャラリー]を使用するには、**[印刷品質]** タブの **[高品質]** を選択するか、**[印刷品質]** タブからアクセスした **[カスタム品質の設定]** ダイアログボックスで **[Fast 1200]** を選択します。**[フォームギャラリー]** は、**[デバイス設定]** からアクセスする **[PDL 設定]** ダイアログボックスで **[PCL 5e]** が選択されている場合は使用できません。

フォーム集へのイメージの保存

[フォーム集]にイメージを保存すると、**[フォームオーバーレイ]**モードでオーバーレイとしてそれらを使用できます。

- 1 **[ジョブ保存]**タブで**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]**リストで、**[フォーム集]**を選択します。
- 3 印刷ジョブに名前を付けるか、プリントシステムが生成したデフォルト名を使用します。カスタム名を付ける場合、**[ジョブ名]**から、**[ユーザー定義]**を選択し、テキストボックスに名前を入力します。
- 4 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]**をクリックして印刷を開始します。

ジョブ名

[ジョブ名]は、それぞれの印刷ジョブごとの識別名です。これはプリンターの操作パネルからジョブを検索したり、印刷したりするのに便利です。機種によっては、印刷中に操作パネルに名前を表示することができます。**[ジョブ拡張機能]**のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、またはアプリケーションファイルの名前を使用できます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義される **[ジョブ名]** にアプリケーション名を含めたりまたは除外したりできます。またプリントシステムのメモリー内のジョブを印刷するとき、同じ **[ジョブ名]** を持つ新しいジョブによって置換されることを防ぐこともできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]は、ジョブ拡張機能のジョブ名(機種によっては操作パネルのメッセージのジョブ名)から、アプリケーション名を削除するオプションです。**[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]**を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されま

す。この機能は、Microsoft WordまたはPowerPointから印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

[上書きモード]は、保存された印刷ジョブが同じ**[ジョブ名]**を持つ新しいジョブによって、プリントシステムのメモリー内で置き換えられないようにするためのオプションです。ユーザーが同じ**[ユーザー名]**と**[ジョブ名]**を持つ2つの印刷ジョブを送信した場合、2番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、**[上書きモード]**はジョブが送信された日付と時間を追加して自動的に**[ジョブ名]**を変更します。この機能はまた、PCから印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択されたオプションは、**[アプリケーション定義]**または**[ユーザー定義]**が選択された**[ジョブ名]**に適用されます。**[上書きモード]**オプションには、次のものがあります。

[既存のファイルを置き換える]

このオプションは、同じ**[ユーザー名]**および同じ**[ジョブ名]**が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

[ジョブ名 + 日付と時間を使用]

このオプションは、現在の日付と時間を**[ジョブ名]**の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

同じジョブ名の前回の印刷ジョブは、プリントシステムのメモリーに残ります。

ジョブ名の選択

[ジョブ拡張機能]を使用する際に、プリントシステムの操作パネルに表示されるジョブリストから目的のジョブを確認できるよう、**[ジョブ名]**を設定することができます。機種によっては、印刷中に操作パネルにジョブ名を表示することができます。選択した**[ジョブ名]**は、ジョブがプリントシステムに送信されるときに、印刷ジョブとともに保存されます。

1 **[ジョブ保存] > [ジョブ名]** で名前を選択します。

[アプリケーション定義]

アプリケーションの文書名を **[ジョブ名]** として使用します。Microsoft Word または PowerPoint 文書の場合、**[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]** を選択すると、**[ジョブ名]** としてドキュメント名のみを表示するためにアプリケーション名が削除されます。

[ユーザー定義]

このオプションは、各ジョブごとに一意の名前を使用します。79 文字以内でボックスに名前を入力します。

2 **[ジョブ名]** が同一のジョブがすでにプリントシステム内に存在する場合は、**[上書きモード]** を選択してください。

[既存のファイルを置き換える]

[ユーザー名] および **[ジョブ名]** が同一のジョブが既に存在する場合は、新しい印刷ジョブがプリントシステム内のジョブを上書きします。

[ジョブ名 + 日付と時間を使用]

現在の日付と時間を **[ジョブ名]** の後ろに yymmdd hhmmss の形式で追加します。

ジョブオプション

【ジョブ保存】 タブの **【ジョブオプション】** では、**【タンデム方式印刷】** オプションが使用できます。

タンデム方式印刷

【タンデム方式印刷】 は、2つのプリントシステム間で大量の印刷ジョブを分配して、効率的に両面印刷の速度を上げたり、印刷のバックアップサポートを提供します。タンデムユニットをインストールする必要があります。タンデムユニットは、**【プロパティ】** > **【デバイス設定】** でインストールできます。

タンデム方式印刷時に代替プリントシステムでコピーを印刷するには、**【割り込み】** キーを押します。この機能により、印刷の待ち時間を短縮できます。コピーが完了すると、タンデム方式印刷が自動的に再開します。

トナー切れや紙詰まりによりの印刷が停止した場合、残りのコピーは稼動可能なプリントシステムで自動的に印刷されます。

参考: **【タンデム方式印刷】** を使用するには、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスだけでなく、**【簡単設定】** タブまたは **【基本設定】** タブのいずれかでも **【部単位印刷】** を選択する必要があります。

11 拡張機能

[拡張設定] タブでは、デバイスの機能拡張のための各種機能を選択することができます。(選択内容は、プリントシステムの機種によって異なります。)

[EMF スプール] を元の設定に戻すには、**[標準に戻す]** をクリックします。**[標準に戻す]** ボタンは、アプリケーションの**[印刷]** ダイアログボックスでプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

プロローグ/エピローグ

[プロローグ/エピローグ]の機能を使用すると、印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入することができます。コマンドファイルは、本機に搭載されている PRESCRIBE 言語を使用し、テキストエディターで作成することができます。**[Product Library]**には、プリスクライブコマンド言語の説明書が含まれています。コマンドファイルは一連の命令であり、プリントシステムはこれを解釈して所定の出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、**[プロローグ/エピローグ]**コマンドファイルにマクロを挿入することができます。または、**[基本設定]**タブの**[カーボンコピー]**機能を使用している場合は、カーボンコピーに見出しを挿入できます。

プロローグ/エピローグファイルの選択

印刷ジョブに追加する前に、お使いの PC で**[プロローグ/エピローグ]** ファイルを使用可能にしておく必要があります。このファイルを作成するには、Windows のメモ帳などのテキストエディターを使用します。

[拡張機能] > **[プロローグ/エピローグ]** で、印刷ジョブに挿入する **[プロローグ/エピローグ]** ファイル名を選択します。(リストにファイル名が表示されていない場合は、**[追加]** をクリックしてリストに追加するファイルを PC はネットワークで検索します。) ファイルを選択すると、そのファイルに対する挿入箇所のオプションが使用可能になります。

プロローグ/エピローグファイルの編集

PC で**[プロローグ/エピローグ]** ファイルを編集できます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 テキストエディターが開いてから、ファイルの変更を行います。
- 3 ファイルを保存し、終了します。

参考: コマンドファイルを編集して保存すると、既存のローカルまたはネットワークファイルの内容を書き換えます。

プロローグ/エピローグファイルの削除

リストから **[プロローグ/エピローグ]** ファイルを削除できます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 2 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。

参考: プロローグ/エピローグデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカル PC に残っています。

プロローグ/エピローグファイルの挿入

[プロローグ/エピローグ] ファイルを印刷ジョブに挿入することができます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択します。
- 2 **[挿入箇所]** で、**[プロローグ/エピローグ]** ファイルを挿入する場所を選択します。

プロローグ/エピローグファイルの挿入解除

[プロローグ/エピローグ] ファイルの挿入指定を解除すると、そのファイルは印刷ジョブから削除されます。ただし、ファイルはリストには残ったままです。割り当て解除を選択する機能は、リストに複数の **[プロローグ/エピローグ]** ファイルがある場合に、その一部だけを使用し、他は使用したくないときに便利です。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択します。
- 2 **[挿入箇所]** で、**[なし[未設定]]** を選択します。

挿入箇所の指定

挿入箇所は、選択された **[プロローグ/エピローグ]** コマンドファイルが、プリントシステムによって処理される印刷ジョブ内の場所です。リストの各ファイルに割り当てることができるのは1つの挿入箇所だけです。

参考: ページ記述言語(PDL)として **[PCL 5e/c]** を選択した場合にのみ **[ページの始め]** と **[ページの終わり]** の挿入箇所オプションが使用できます。

[拡張機能] > **[プロローグ/エピローグ]** でリストから **[プロローグ/エピローグ]** ファイル名を選択して、以下の挿入箇所オプションを1つ選択します。

[なし[未設定]]

選択したコマンドファイルは印刷ジョブに挿入されません。この選択は、複数のコマンドファイルがある場合に、特定のコマンドファイルだけを使用する際に使用できます。コマンドファイルを使用しない印刷ジョブには、**[なし[未設定]]** を選択します。

[文書のはじめ]

コマンドファイルは印刷ジョブの最初のページに挿入されます。文書は2ページ目から印刷が開始されます。

[文書の終わり]

コマンドファイルは印刷ジョブの最後のページに挿入され、文書の最後のページの後に印刷されます。

[ページのはじめ]

コマンドファイルは印刷ジョブの各ページの上部に挿入されます。

[ページの終わり]

コマンドファイルは印刷ジョブの各ページの下部に挿入されます。

[奇数ページに挿入]

[ページのはじめ] または [ページの終わり] を選択すると、このオプションを選択して、すべての奇数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

[偶数ページに挿入]

[ページのはじめ] または [ページの終わり] を選択すると、このオプションを選択して、すべての偶数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

[ページ指定]

[ページのはじめ] または [ページの終わり] を選択すると、このオプションを使用して指定されたページにコマンドファイルを挿入することができます。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。たとえば、テキストボックスに「2」と入力した場合、コマンドファイルは2ページにのみ挿入されます。また「1, 3, 5-12」と入力すると、コマンドファイルは1ページと3ページ、および5ページから12ページに挿入されます。[ページ指定] オプションが選択されている場合に、数字を入力せずに [OK] をクリックすると、ページ番号を指定するようプロンプトが表示されます。

ウォーターマーク

ウォーターマークは目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。デフォルトのウォーターマークを1つ選択するか、または独自の文字列を作成できます。プレビューエリアでウォーターマークがどのように表示されるのか確認できます。これはウォーターマークの外観や位置を変更するときに便利です。

すべてのウォーターマークは編集可能ですが、標準のウォーターマークに対しては一部の項目のみ編集できます。

ウォーターマークの[間隔]には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。[デバイス設定]からアクセスして、[ユーザー設定]ダイアログボックスの[単位]を変更できます。

ウォーターマークの追加または編集

選択したテキストを各ページ背景に透かしとして表示する、カスタムウォーターマークを作成できます。すべてのウォーターマークは編集可能ですが、デフォルトのウォーターマークは部分的にのみ編集できます。

- 1 [拡張機能] > [ウォーターマーク]ダイアログボックスで[追加]をクリックしてカスタムウォーターマークを作成するか、または[ウォーターマーク選択]で、デフォルトまたはカスタムウォーターマークを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 [設定名]に、最大 39 文字で名前を入力します。デフォルトのウォーターマークの名前は変更できません。

- 3 **[ウォーターマーク文字列]**に、透かしとする文字列を入力します。デフォルトのウォーターマークを編集する場合は、このオプションは使用できません。
- 4 文字列のフォントやスタイル、サイズを設定します。
- 5 リストからウォーターマークの色を選択します。
 カラー機種では、デフォルト色から選択します。カスタム色を設定する場合は、**[カスタム]**を選択して右のボタンをクリックし、**[色の設定]**ダイアログボックスを開きます。**[基本色]**の中から色を選んでクリックし、**[OK]**をクリックするか**[色の作成]**をクリックして、カラーマトリックスを表示します。
 モノクロ機種では、利用可能なオプションは、黒とグレーです。
- 6 ウォーターマーク**[数]** (透かし文字列の反復数) を選択します (最大 20)。**[間隔]**のスピンボックスで、ウォーターマーク間の間隔を選択します。
- 7 ウォーターマークの**[文字列の位置]**で、ウォーターマークを印刷する位置を次のいずれかから選択します。
[ページの中心 (デフォルト)]
 このオプションは、ウォーターマーク文字列の中心をページの中心に合わせます。
[角度]
 このオプションでは、x 軸と y 軸ボックスを操作して文字をページ内で移動します。
 プレビュー領域の下にある位置ボタンをクリックしてからウォーターマークの画像をクリックして、文字列の位置を変更できます。ウォーターマークの画像をポインターで移動します。
- 8 ウォーターマークの**[文字列の角度]**を次のオプションから選択します。
[対角線 (デフォルト)]
 このオプションは、ウォーターマークの文字列をデフォルトの角度でページに配置します。
[角度]
 角度を入力します。角度は 0 から 360 度の範囲で設定できます。
 または、プレビュー領域の下にある角度ボタンをクリックして文字列の角度を変更します。マウスをクリックして、ウォーターマークのイメージをポインタのドラッグ操作で移動します。
- 9 ダイアログボックスの右下にある**[中心を軸に回転]**チェックボックスで、ウォーターマークの回転方法を設定します。このオプションを有効にするには、**[文字列の位置]**で**[ユーザー定義]**を、**[文字列の角度]**で**[角度]**を選択する必要があります。**[中心を軸に回転]**チェックボックスにチェックを入れると、文字列の中央を支点にしてウォーターマークの角度を調整でき、チェックをはずすと文字列の先頭を支点にして角度を調整できます。
- 10 設定が終わったら、**[OK]**をクリックして設定内容を保存します。

ウォーターマークのページ選択

1 **[拡張機能]** > **[ウォーターマーク]** > **[ウォーターマーク選択]** で、印刷するデフォルトまたはカスタムウォーターマークを選択します。

2 **[ページ設定]** で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

[すべてのページ]

このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

[最初のページのみ]

このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

[最初のページ以外すべて]

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

[指定したページ]

このオプションは、ボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

[表紙に印刷]

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。表紙への印刷は、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** を選択する必要があります。**[表紙/合紙]** タブの **[表紙付け]** での、**[表紙のみ]** と **[表紙と裏表紙]** 用の印刷面の選択によって、**[表紙に印刷]** が自動的に選択されます。

3 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティー・ウォーターマーク

[セキュリティー・ウォーターマーク] は、ほとんど目で見ることのできない画像やテキストを背景に印刷するプラグインです。セキュリティー・ウォーターマークは、印刷されたページをコピーした場合にのみ表示されます。この機能により、コピーが禁止されている印刷文書を識別したり、または元の文書とコピーされた文書を区別することを可能にします。標準では、6種類のテキストまたは画像のセキュリティー・ウォーターマークが使用できますが、ユーザー独自のセキュリティー・ウォーターマーク テキストを作成することも可能です。

[セキュリティー・ウォーターマーク] の **[ガードパターン]** 機能は、文書が不正コピー、スキャン、ファックスされたり、メモリーから印刷されることを防ぎます。スキャン、ファックス、あるいはメモリーからの印刷が試みられると、印刷処理が停止し、プリントシステムの動作パネルにメッセージが表示されます。

[オプションのコンポーネントウィザード] では、プリンタードライバーのインストール後、**[セキュリティー・ウォーターマーク]** プラグインをインストールできます。

[セキュリティー・ウォーターマーク] は、**[PDL 設定]** ダイアログボックスで **[PCL XL]** を選択すると、**[拡張機能]** タブで使用できます。

[セキュリティー・ウォーターマーク] を選択すると、ドライバーの各機能は次のように設定されます。

[拡張機能] タブの **[ウォーターマーク]** は、**[なし]** に設定されます。

機種によっては、**[印刷品質]** タブの **[色再現モード]** が **[線画]** に設定されます。

[印刷品質]タブの[エコプリント]は[オフ]に設定されます。

[印刷品質]タブの[調整](カラーまたは白黒)は、[なし]に設定されます。

[拡張機能]タブの[単色調整]は、[なし]に設定されます。

[ジョブ保存]タブの[ユーザーボックス]は使用できません。

[印刷品質]タブの[解像度]は、600 dpi に設定されます。

[印刷品質]タブの[KIR(スムージング)]は、[オフ]に設定されます。

また、この逆も同様です。これらの設定が変更された場合、[セキュリティー・ウォーターマーク]の選択は[なし]に設定されて使用できません。

管理者は、[デバイス設定]>[管理者設定]>[ロック設定]を選択し、[セキュリティー設定]を選択することによって、すべてのジョブにセキュリティー・ウォーターマークを印刷できます。

セキュリティー・ウォーターマークの追加または編集

画像ではなくテキストを表示させる、カスタムセキュリティー・ウォーターマークを作成できます。デフォルトのセキュリティー・ウォーターマークは部分的な編集のみ可能ですが、他ののセキュリティー・ウォーターマークは編集が可能です。

- 1 [拡張機能]>[セキュリティー・ウォーターマーク]ダイアログボックスで、[追加]をクリックしてカスタムウォーターマークを作成するか、または[選択]で、デフォルトまたはカスタムセキュリティー・ウォーターマークを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 [セキュリティー・ウォーターマーク名]に、名前を入力します (最大 39 文字)。デフォルトのセキュリティー・ウォーターマークの名前は変更できません。
- 3 [セキュリティー・ウォーターマークの文字列]に、文字列を入力するか、空白のままにします。デフォルトのセキュリティー・ウォーターマークを編集する場合は、このオプションは使用できません。次のオプションから選択してください。
 - [なし]
このオプションは、空行のままにします。
 - [ユーザー定義]
このオプションには、最大 39 文字までのテキストを入力することができます。
これ以外のオプションでは、ジョブの印刷時に PC またはプリンタードライバから取得した日付や時刻およびその他のジョブ情報が表示されません。
- 4 文字列のフォントやサイズ、スタイル、角度を設定します。
- 5 ウォーターマークの文字列の 1 行目をページの下部に印刷する場合は、[フッターにも印刷]を選択します。一覧からページ内の位置を選択します。これは、セキュリティー・ウォーターマークそのものが印刷ページ上に表示されないため便利です。
- 6 [背景のパターン]で、セキュリティーウォーターマークの背景となるデザインを選択します。
 - [標準パターン]

セキュリティー・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。このオプションは、文字列または画像を使用して、選択したパターンを印刷します。

[ガードパターン]

ガードパターンは、セキュリティー・ウォーターマークの背景として表示されます。このオプションは、印刷されたページをコピーしたりスキャン、ファックス、あるいはメモリーなどから印刷することを防ぎます。たとえば印刷ページのコピーが試みられると、全面が灰色にコピーされません。スキャン、ファックス、あるいはメモリーからの印刷が試みられると、印刷処理が停止し、プリントシステムの動作パネルにメッセージが表示されます。

- 7** リストからセキュリティー・ウォーターマークの[ウォーターマークカラー]を選択します。

白黒機種では、[黒]のみ選択可能です。

カラー機種では、[黒]、[シアン]、または[マゼンタ]です。

- 8** Microsoft PowerPoint や Internet Explorer など、印刷内容がページ全体をカバーする文書を印刷する場合は、[上書きモード]を選択します。セキュリティー・ウォーターマークは文書データに重ねられて印刷され、コピーした際に現れます。画像を編集している場合、または[デバイス設定] > [PDL 設定] > [GDI 互換モード]が選択されている場合は、[上書きモード]が自動的に選択されます。カラー機種によっては[上書きモード]が自動的に選択されます。

- 9** パターン補正を行います。パターン補正を行った後、すべてのダイアログボックスで[OK]をクリックします。

セキュリティー・ウォーターマークのパターン補正

セキュリティー・ウォーターマークを効果的にするには、印刷した用紙ではほとんど見えないようにし、コピーした用紙ではっきり表示されるようにする必要があります。プリントシステムとドライバーの設定は異なっても構わないため、セキュリティー・ウォーターマークを印刷する前に、パターン補正を行わなければなりません。また、背景パターンを変更する場合、トナーまたはプリントシステムを交換する場合、負荷の高い印刷を行った後も、パターン補正を行うことをお勧めします。

- 1** [拡張機能] > [セキュリティー・ウォーターマーク] ダイアログボックスで、[追加]をクリックしてカスタム セキュリティー・ウォーターマークを作成するか、または[選択]で、デフォルトまたはカスタム セキュリティー・ウォーターマークを選択し、[編集]をクリックします。

- 2** [セキュリティー・ウォーターマークの追加]または[編集]ダイアログボックスでセキュリティー・ウォーターマークオプションをすべて選択したら、[パターン補正]をクリックします。

- 3** [パターン濃淡] および [テキストコントラスト] で、次の中から初期オプションを選択します。

[薄く、普通、濃く]

背景パターンの濃度を選択します。

[コントラスト1-9]

背景パターンに対するコントラストを、最も薄いレベルから最も高いレベルの中で選択します。

ここでの選択内容は、次の手順でサンプルを印刷した結果を見て、必要に応じて変更することができます。

- 4 **[サンプル印字]** をクリックすると、選択したパターン濃淡で9種類のすべてのコントラストが表示されたページを印刷することができます。パターン濃淡の各オプションごとに、サンプルページを印刷することをお勧めします。
- 5 **[テキストコントラスト]** の中から、セキュリティー・ウォーターマークが最も写っていないサンプルを選びます。
- 6 **[補正]** ダイアログボックスで、手順 5 で選択したサンプルに一致するオプションを選択します。
- 7 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

セキュリティー・ウォーターマークのページ選択

セキュリティー・ウォーターマークの **[ページ選択]** オプションは、印刷ジョブでセキュリティー・ウォーターマークを配置する場所を指定します。

- 1 **[拡張機能]** > **[セキュリティー・ウォーターマーク]** > **[選択]** で、印刷するデフォルトまたはカスタムセキュリティー・ウォーターマークを選択します。
- 2 **[ページ設定]** で、セキュリティー・ウォーターマークを印刷するページを選択します。
 - [すべてのページ]**
このオプションは、文書の各ページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページのみ]**
このオプションは、文書の最初のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページ以外すべて]**
このオプションは、最初のページの後、すべてのページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [指定したページ]**
このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - [表紙に印刷]**
このオプションは、表紙にセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** が選択されている場合に使用可能です。**[表紙/合紙]** タブの **[表紙付け]** での、**[表紙のみ]** と **[表紙と裏表紙]** 用の印刷面の選択によって、**[表紙に印刷]** が自動的に選択されます。
- 3 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定内容を保存します。

簡単色調整

[簡単色調整] は、印刷ジョブで単一の色を正確に一致させることができるプラグインです。この機能を使用して、レターヘッドや会社のロゴなどの文書を印刷できます。色は無地でムラがなく、濃淡なしでなければなりません。複

数の色は、1色ずつ調整されます。**【簡単色調整】**は、写真を使用した文書では機能しません。

【簡単色調整】 ダイアログボックスでは、スポイトツールを画面上の文書にドラッグして色を選択するか、RGB値を入力できます。プリンターアイコンをクリックして印刷する**【色調整テーブル】**により、121色のバリエーションの中から1色を選択できます。**【色合い】**、**【明るさ】**、**【彩度】**の設定は、選択したバリエーションにしたがってドライバーで調整されます。

【印刷品質】 > **【調整】** 機能で、最大3つのカスタム選択設定を作成できます。**【色再現モード】** オプションも選択可能です。

参考: **【簡単色調整】** および **【調整】** (**【印刷品質】** タブ) で異なるカスタム設定が選択された場合は、一番最近行った変更が優先され、印刷ジョブに適用されます。

インストールされている場合は、**【簡単色調整】** ボタンが **【拡張機能】** タブに表示されます。次の設定または環境の場合、**【簡単色調整】** ボタンは使用できません。

【PDL設定】 ダイアログボックスで **【PDF】** が選択されている場合

【管理者設定】 > **【ロック設定】** で **【白黒モード】** が選択されている場合

【印刷品質】、**【基本設定】** または **【簡単設定】** タブで **【白黒】** が選択されている場合

RGB色の印刷向け最適化

【簡単色調整】 を使用して、印刷ジョブで単一の色を正確に一致させることができます。**【簡単色調整】** ダイアログボックスで **【色再現】** オプションが選択された場合のみ、**【印刷品質】** タブにも保存されます。簡単色調整ダイアログボックスの情報 **(ii)** アイコンをクリックすると、いつでも手順を参照できます。

- 1 目的の色が含まれる文書を開きます。
- 2 アプリケーションの **【ファイル】** メニューから、**【印刷】** をクリックし、次に **【設定】** または **【プロパティ】** をクリックして **【プロパティ】** ダイアログボックスを開きます。
- 3 **【拡張機能】** > **【簡単色調整】** > **【色調整】** で、**【カスタム 1】**、**【カスタム 2】**、または **【カスタム 3】** のいずれかを選択します。
- 4 **【色再現モード】** で、文書に最適なオプションを選択します。
- 5 次のいずれかの方法で各色を選択します。
 - スポイトツールをクリックして画面上の任意の場所へドラッグし、目的の色を選択します。
 - 色のRGB値がわかっている場合は、RGBの各ボックスにその値を入力するか、上矢印または下矢印ボタンをクリックして値を調整します。色のプレビューボックスに色が表示されます。
- 6 **【色合い】**、**【明るさ】**、**【彩度】** の設定からいずれか2つを選択します。
- 7 プリンターアイコンをクリックして、選択した色の色調整テーブルを1ページ印刷します。印刷されたシートから、目的のバリエーションを選択します。

- 8 **[簡単色調整]** ダイアログボックスで、色のプレビューボックス横にあるスピンボックスに選択したバリエーションの番号/文字の組合せを入力するか、または上矢印または下矢印ボタンをクリックして番号を選択します。
- 9 **[追加]** をクリックして、各色をリストに追加します (最大 10 色)。リストで色を選択し、**[削除]** をクリックすると色を削除できます。
- 10 必要に応じて、**[内容]** ボックスにカスタム設定の説明を最大 30 文字で入力します。この説明は、**[簡単色調整]** ダイアログボックスにのみ表示されます。
- 11 **[OK]** または **[適用]** をクリックして、設定を保存します。

ステータスマニター

[ステータスマニター]は、印刷中画面の右下にプリントシステムのステータスメッセージを表示します。サポートされている各プリントシステムごとにステータスマニターを起動できます。同時に複数のステータスマニターを表示できます。

ステータスマニターは印刷ジョブが完了したときに通知できます。このオプションは、ドライバのインストール中か、**[ステータスマニター]**ダイアログボックスで選択できます。

この機能は**[KX Driver for Universal Printing]**には対応していません。

ステータスマニターオプションの選択

[ステータスマニター]の表示方法を選択し、各種設定が可能です。

- 1 **[拡張機能]**タブで**[ステータスマニター]**をクリックします。
- 2 印刷中にステータスマニターを表示させるには、**[ステータスマニター]**ダイアログボックスで**[ステータスマニター]**チェックボックスをオンにします。
- 3 印刷が完了したときにステータスマニターに通知させるには、**[印刷完了時に通知する]**チェックボックスをオンにします。ドライバをインストールするときにこの機能が選択されていた場合は、デフォルトでオンになっています。
- 4 ステータスマニターの設定を変更せずに印刷ジョブのステータスを表示するには、**[ステータスマニターを起動]**をクリックします。
PC 画面の右下にステータスマニターのイメージが表示されます。
- 5 マウスポインターをステータスマニターのイメージ上に移動すると、プリントシステムの状態およびプリンターポートに関する情報を含むメッセージが表示されます。
- 6 オプションの一覧を表示するには、システムトレイの**[ステータスマニター]**アイコンを右クリックします。(選択できる項目は、プリントシステムの機種によって異なります。)

[ステータスマニターを表示 / ステータスマニターを非表示]

ステータスマニターイメージの表示と非表示を切り替えます。

参考: ステータスマニターイメージを右クリックし、**[ステータスマニターを非表示にする]**をクリックしても非表示にできません。あるいは、5分間印刷動作がない場合、ステータスマニターは自動的に閉じます。

[Command Center RX]、[Command Center]、または[プリントシステムの設定]

ブラウザを開いて、プリントシステムのホームページを表示します。

参考: プリンターが USB で接続されている場合は、この機能は使用できません。プリンターの操作パネルから設定を行ってください。

[常に手前に表示]

常に開いているウィンドウの一番手前にステータスマニターを表示します。

[不透明度]

このオプションは、イメージを通して表示される背景の透明度をステータスマニターで調整できるようにします。20 ~ 100 の間で比率を選択します。

[ウィンドウ拡大]

選択すると、ステータスマニターイメージのサイズを拡大します。

[通知]

ステータスマニターのイベント通知、およびサウンドを選択するダイアログボックスを開きます。

[www.kyoceradocumentsolutions.com]

Web ブラウザーが起動し、京セラドキュメントソリューションズ株式会社のホームページが開きます。

[終了]

ステータスマニターを閉じます。

ステータスマニターの設定

[ステータスマニターの設定] ダイアログボックスで、サウンドや音声と一緒にプリントシステムのイベント通知を行うように設定できます。

- 1 システムトレイで**[ステータスマニター]**アイコンを右クリックします。
- 2 **[通知]** をクリックします。
- 3 **[イベントの通知を有効にする]** チェックボックスをオンにします。
- 4 **[ステータスマニター]** 警告を表示するイベントを選択します。

[カバーオープン]

[紙づまり]

[用紙切れ]

[スリープ]

[トナー切れ]

[トナー残量少]

[未接続]

[印刷完了]

[その他]

5 選択した警告にサウンドまたは音声を追加できます。

サウンドファイルを追加する

[音声合成を使用する] チェックボックスをオフにします。

[サウンドファイル] テキストボックスが使用可能になります。サウンドファイル(.wav)の場所を入力するか、または **[参照]** をクリックして、PCに保存されているサウンドファイルを選択します。

スピーチを追加する

[音声合成を使用する] チェックボックスをオンにします。

[読み上げるテキスト] テキストボックスに任意のテキストを入力します。Microsoft の音声合成ユーティリティによって入力したテキストが読み込まれ、音声によって再生されます。

サウンドファイルを選択、または音声で再生するテキストを入力後、テキストボックス下の矢印をクリックすると、サウンドファイルまたは音声を再生できます。

6 **[適用]** または **[OK]** をクリックします。

EMFスプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用されるスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションはスプールファイルに書き込み、プリンタードライバーは同時にスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンターがまだ文書を印刷している間でもユーザーはアプリケーションに素早く戻ることができます。

参考: **[EMF スプール]** は、**[KPD L 詳細設定]** ダイアログボックスで **[パススルーモード]** が選択されている場合は使用できません。

クライアントプロファイルの有効化

クライアント PC 上で保存されているプロファイル設定を、クライアントプロファイルと呼びます。ローカルプロファイルとサーバープロファイルのどちらを使用するかを選択できます。この機能は、クライアント/サーバー環境のクライアント PC 側で使用します。

サーバーからプロファイルを選択し、ドライバーで作成された印刷ジョブに適用するには、**[拡張機能]** タブで、**[クライアントプロファイルを有効にする]** チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

[クライアントプロファイルを有効にする] チェックボックスをオンにすると、クライアント側で作成したプロファイルが使用されます。

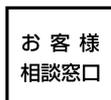
お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。